

令和4年度宮城県生活習慣病検診管理指導協議会
生活習慣病登録・評価部会

日 時 令和5年2月14日（火）
午後5時30分から午後6時30分まで
場 所 宮城県行政庁舎11階
第二会議室（Web会議）

次 第

1 開 会

2 挨 拶

3 部会長の選出

4 議 事

(1) 説 明

宮城県生活習慣病検診管理指導協議会及び部会について

【資料1】

(2) 報 告

生活習慣病の動向について

イ 令和3年人口動態統計の概況について

【資料2】

ロ 心疾患登録・脳卒中登録・がん登録について

【資料3～資料5】

(3) 協 議

現状から見える課題と指導事項（案）について

【資料6】

(4) その他

4 閉 会

<配布資料>

- 【資料1】 宮城県生活習慣病検診管理指導協議会及び部会
- 【資料2】 令和3年人口動態統計の概況
- 【資料3】 急性心筋梗塞調査報告書—令和3年分—
- 【資料4】 脳卒中登録 2021年
- 【資料5】 宮城県のがん罹患～宮城県がん登録平成31年，令和元年集計～
- 【資料6】 現状から見える課題と指導事項（案）

宮城県生活習慣病検診管理指導協議会
生活習慣病登録・評価部会委員名簿

(敬称略・五十音順)

委員氏名	所属・職名	備考
安藤 由紀子	宮城県医師会 常任理事	
井上 敬	みやぎ県南中核病院 脳卒中センター長・脳神経外科主任部長	
小坂 健	東北大学大学院歯学研究科 国際歯科保健学教授・副研究科長	
金村 政輝	宮城県立がんセンター研究所 がん疫学・予防研究部 部長	
安田 聡	東北大学大学院医学系研究科 循環器内科学分野 教授	

宮城県出席者名簿

事務局

氏名	所属・職名
狩野 裕一	健康推進課長
小原 由美子	同 技術副参事兼総括課長補佐
藤田 悦生	同 総括課長補佐
狩野 和枝	同 食育・栄養班 技術補佐(班長)
村上 めぐみ	同 がん対策班 技術補佐(班長)
柴 淳子	同 健康推進第一班 主幹(班長)
津田 道代	同 健康推進第二班 主幹(班長)
田村 裕子	同 健康推進第二班 技術主幹(副班長)
伊勢 織葉	同 がん対策班 主査(副班長)
佐々木 裕也	同 がん対策班 主事
船戸 一成	同 健康推進第二班 主事
千葉 佳奈	同 健康推進第二班 主事

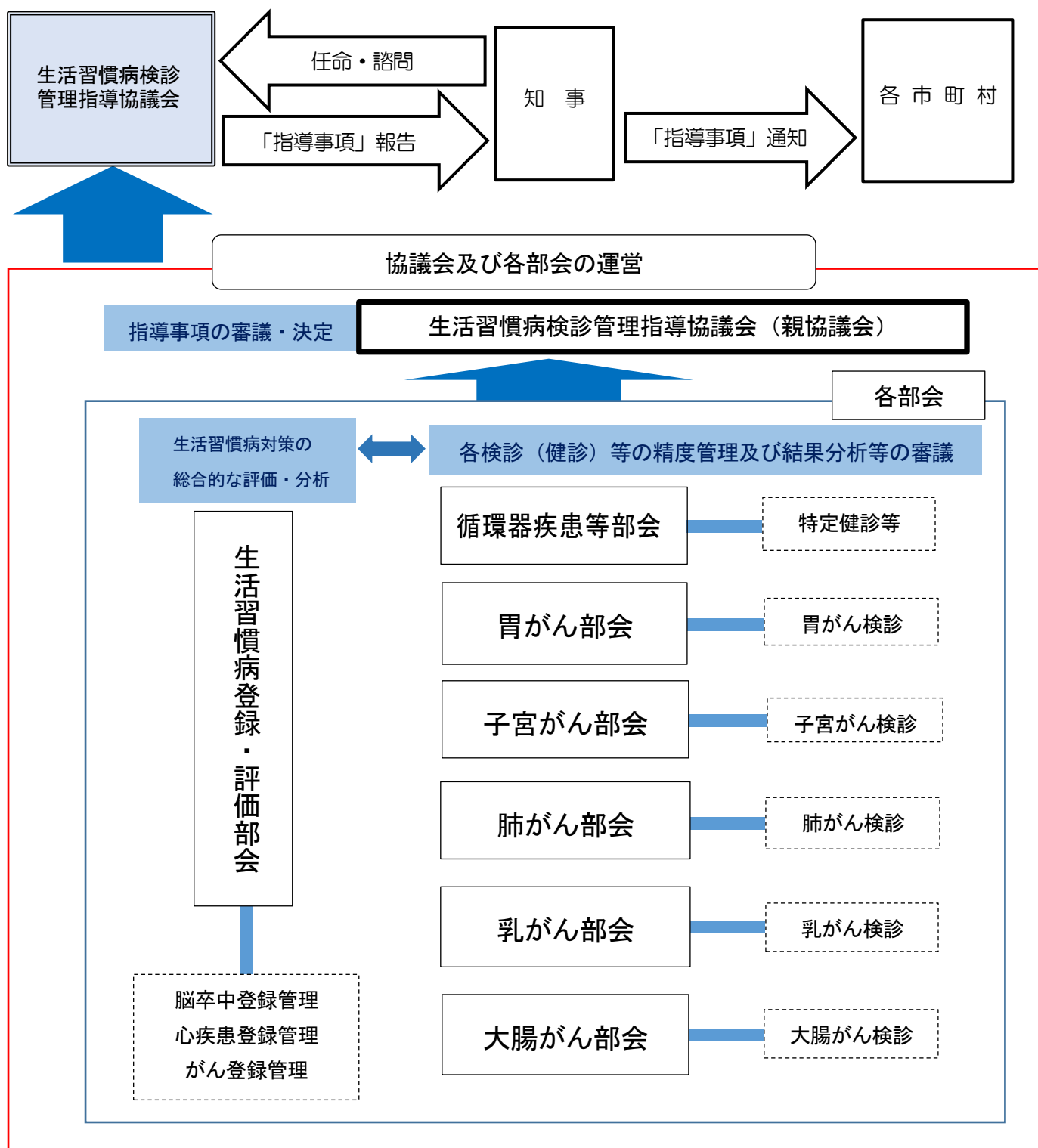
宮城県生活習慣病検診管理指導協議会及び部会について

＜協議会、部会等の位置付け＞

協議会及び各部会は、「宮城県生活習慣病検診管理指導協議会条例」及び「健康診査管理指導等事業実施のための指針（厚生労働省）」に基づき設置・運営。

趣 旨

生活習慣病の動向を把握し、また、検診の実施方法や精度管理の在り方等について審議し、市町村、医療保険者及び検診実施機関に対し指導すべき事項について知事に答申・報告する。



宮城県生活習慣病検診管理指導協議会委員

(任期：令和4年4月1日から令和6年3月31日まで)

委員氏名	所属・職名	備考
加藤 勝章	宮城県対がん協会がん検診センター所長	学識経験者 (検診機関代表)
佐藤 昌司	全国健康保険協会宮城支部企画総務部長	関係行政機関 (保険者)
相澤 清一	宮城県町村会副会長 (美里町長)	市町村長
佐藤 和宏	宮城県医師会会長	医療従事者 (医師会)
辻 一郎	東北大学大学院医学系研究科公衆衛生学分野 教授	学識経験者
富永 悌二	東北大学病院 病院長	医療従事者 (学識経験者)
菅原 武	宮城労働局労働基準部健康安全課長	関係行政機関 (職域)
加藤 邦治	仙台市健康福祉局長	関係行政機関
安田 聡	東北大学大学院医学系研究科循環器内科学分野 教授	学識経験者
増子 友一	宮城県国民健康保険団体連合会 常務理事	関係行政機関 (市町村国保)
山田 司郎	宮城県市長会 (名取市長)	市町村長

宮城県生活習慣病検診管理指導協議会専門部会委員名簿

(敬称略・五十音順)

1 胃がん部会

氏 名	所属・役職等	備考
加 藤 勝 章	宮城県対がん協会がん検診センター 所長	
小 池 智 幸	東北大学病院消化器内科 准教授	
田 中 直 樹	東北大学病院総合外科 講師	
正 宗 淳	東北大学大学院医学系研究科消化器病態学分野 教授	

2 子宮がん部会

氏 名	所属・役職等	備考
伊 藤 潔	東北大学災害科学国際研究所災害産婦人科学分野 教授	
岡 村 智佳子	宮城県産婦人科医会 常任理事	
佐々木 悦 子	宮城県医師会 常任理事	
山 田 秀 和	宮城県立がんセンター 院長	

3 肺がん部会

氏 名	所属・役職等	備考
佐 川 元 保	東北医科薬科大学医学部光学診療部 教授	
桜 田 晃	みやぎ県南中核病院呼吸器外科 主任部長	
高 橋 里 美	公益財団法人結核予防会 複十字センター 副所長	
宮 内 栄 作	東北大学大学院医学系研究科呼吸器内科学分野 助教	

4 乳がん部会

氏 名	所属・役職等	備考
石 田 孝 宣	東北大学大学院医学系研究科乳腺・内分泌外科学分野 教授	
伊 藤 賢 司	宮城県外科医会 会長	
鈴 木 昭 彦	東北医科薬科大学医学部乳腺内分泌外科 教授	
松 永 弦	宮城県産婦人科医会 副会長	

5 大腸がん部会

氏名	所属・役職等	備考
石川 一郎	宮城県医師会 常任理事	新
志賀 永嗣	東北大学大学院医学系研究科消化器病態学分野 助教	
渋谷 大助	社会保険診療報酬支払基金宮城支部 医療顧問	
三浦 康	宮城県立がんセンター 消化器外科診療科長	

6 循環器疾患等部会

氏名	所属・役職等	備考
片桐 秀樹	東北大学大学院医学系研究科糖尿病代謝内科学分野 教授	
齋木 佳克	東北大学大学院医学系研究科心臓血管外科学分野 教授	新
佐藤 昌司	全国健康保険協会宮城支部企画総務部長	
目時 弘仁	東北医科薬科大学医学部衛生学・公衆衛生学 教授	
安田 聡	東北大学大学院医学系研究科循環器内科学分野 教授	

7 生活習慣病登録・評価部会

氏名	所属・役職等	備考
安藤 由紀子	宮城県医師会 常任理事	
井上 敬	みやぎ県南中核病院脳卒中センター長	新
小坂 健	東北大学大学院歯学研究科 国際歯科保健学 教授	
金村 政輝	宮城県立がんセンター研究所 がん疫学・予防研究部 部長	
安田 聡	東北大学大学院医学系研究科循環器内科学分野 教授	

生活習慣病の死亡数及び死亡率・死因順位

宮城県の令和3年の総死亡数は25,897人で、人口10万人当たりの死亡率は1,141.3でした。死因順位は、第1位が悪性新生物6,969人、第2位が心疾患3,999人、第3位が老衰3,069人でした。

令和3年死因順位表(対前年比較)

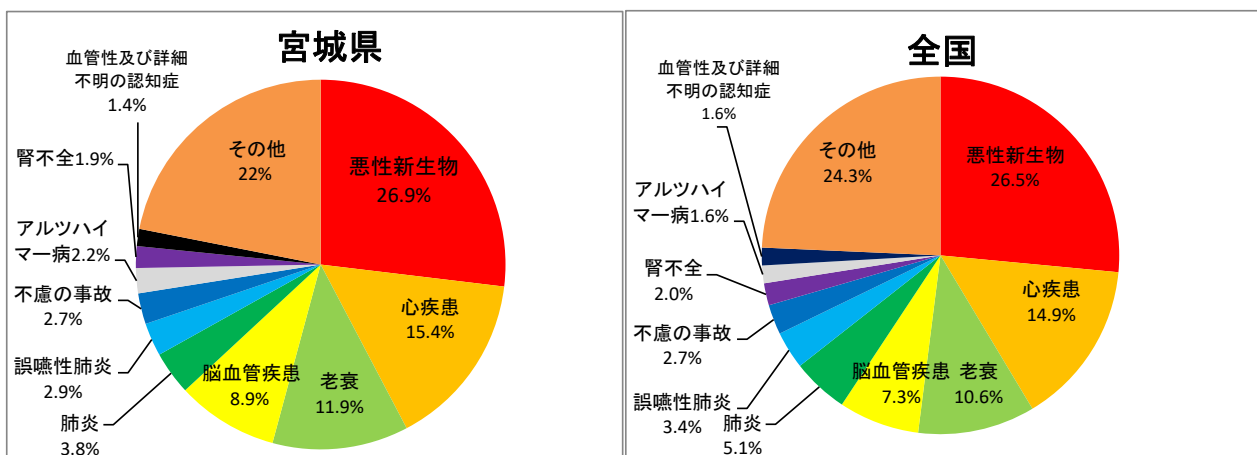
	令和3年					令和2年			令和3年/令和2年	
	死因順位	死因	死亡数(人)	死亡率(人口10万人対)	死亡総数に占める割合(%)	死因順位	死因	死亡数(人)	増減数(人)	対前年比
宮城県		全死亡総数	25,897	1,141.3	100.0%		全死亡総数	24,632	1,265	105.1
	第1位	悪性新生物	6,969	307.1	26.9%	第1位	悪性新生物	6,845	124	101.8
	第2位	心疾患	3,999	176.2	15.4%	第2位	心疾患	3,824	175	104.6
	第3位	老衰	3,069	135.3	11.9%	第4位	老衰	2,637	432	116.4
	第4位	脳血管疾患	2,312	101.9	8.9%	第3位	脳血管疾患	2,275	37	101.6
	第5位	肺炎	978	43.1	3.8%	第5位	肺炎	1,057	△79	92.5
	第6位	誤嚥性肺炎	763	33.6	2.9%	第7位	誤嚥性肺炎	695	68	109.8
	第7位	不慮の事故	694	30.6	2.7%	第6位	不慮の事故	659	35	105.3
	第8位	アルツハイマー病	579	25.5	2.2%	第8位	アルツハイマー病	534	45	108.4
	第9位	腎不全	502	22.1	1.9%	第9位	腎不全	445	57	112.8
第10位	自殺	392	17.3	1.5%	第11位	自殺	411	△19	95.4	
全国		全死亡総数	1,439,856	1,172.7	100.0%		全死亡総数	1,372,755	67,101	104.9
	第1位	悪性新生物	381,505	310.7	26.5%	第1位	悪性新生物	378,385	3,120	100.8
	第2位	心疾患	214,710	174.9	14.9%	第2位	心疾患	205,596	9,114	104.4
	第3位	老衰	152,027	123.8	10.6%	第3位	老衰	132,440	19,587	114.8
	第4位	脳血管疾患	104,595	85.2	7.3%	第4位	脳血管疾患	102,978	1,617	101.6
	第5位	肺炎	73,194	59.6	5.1%	第5位	肺炎	78,450	△5,256	93.3
	第6位	誤嚥性肺炎	49,488	40.3	3.4%	第6位	誤嚥性肺炎	42,746	6,742	115.8
	第7位	不慮の事故	38,355	31.2	2.7%	第7位	不慮の事故	38,133	222	100.6
	第8位	腎不全	28,688	23.4	2.0%	第8位	腎不全	26,948	1,740	106.5
	第9位	アルツハイマー病	22,960	18.7	1.6%	第9位	アルツハイマー病	20,852	2,108	110.1
第10位	血管性及び詳細不明の認知症	22,343	18.2	1.6%	第10位	血管性及び詳細不明の認知症	20,815	1,528	107.3	

出典 死亡数：厚生労働省「人口動態統計」保管統計表都道府県編死亡・死因第2表

死亡率：死亡数及び「人口推計」（総務省統計局）から算出

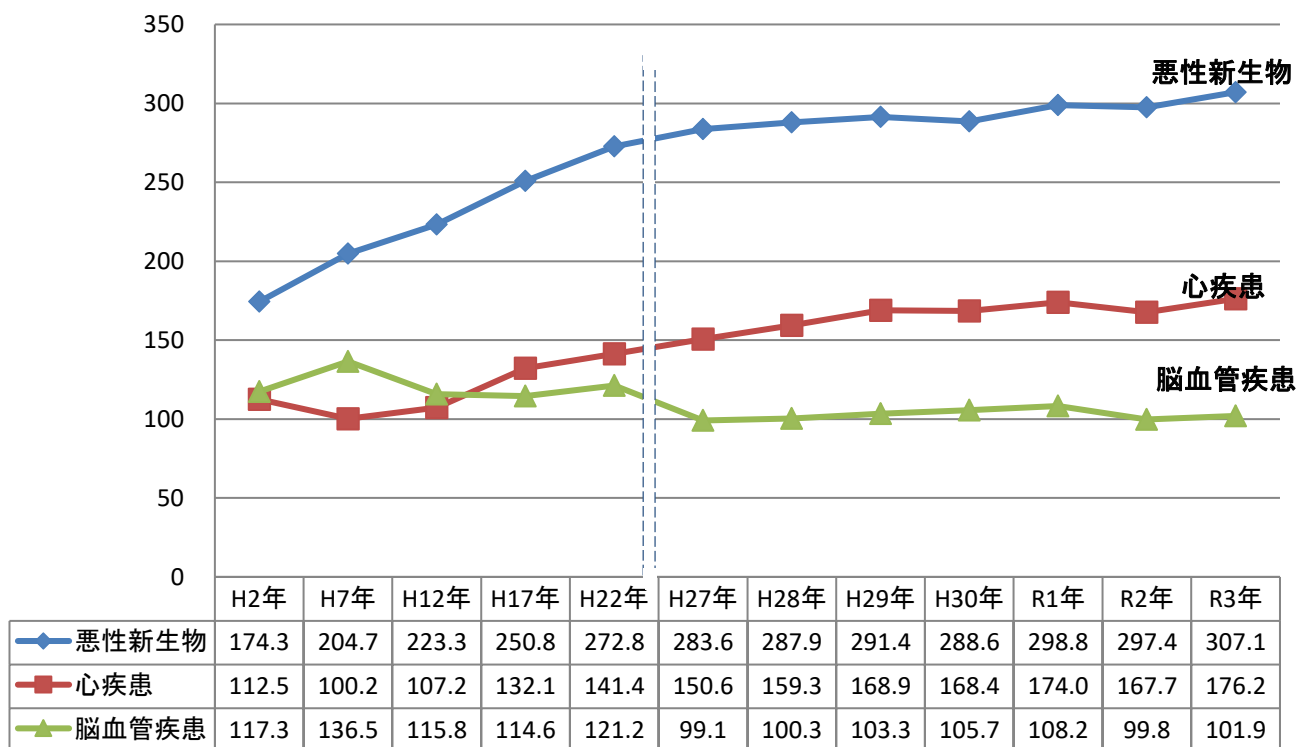
令和2年人口は国勢調査人口等基本集計から算出

死亡総数に占める割合(%)

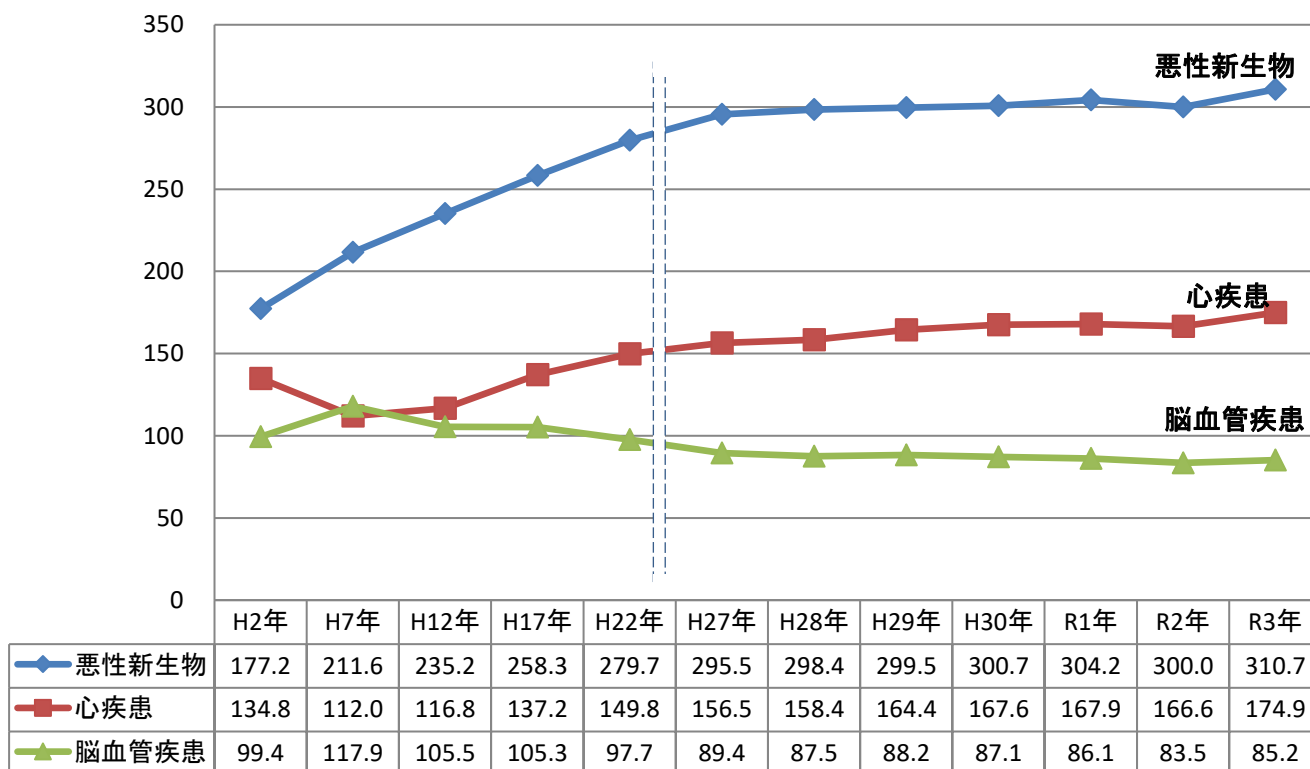


悪性新生物・心疾患・脳血管疾患の粗死亡率年次推移(人口10万対)

<宮城県>

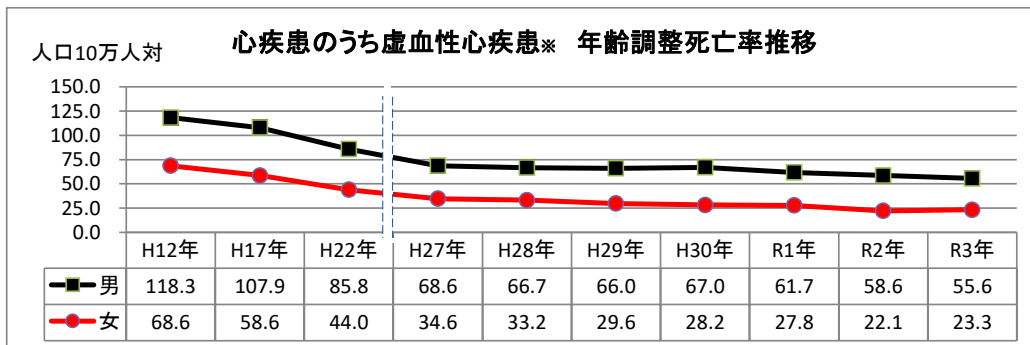
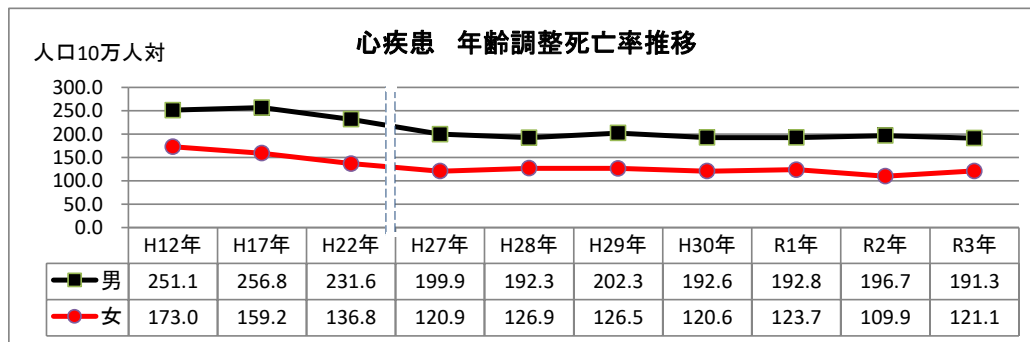
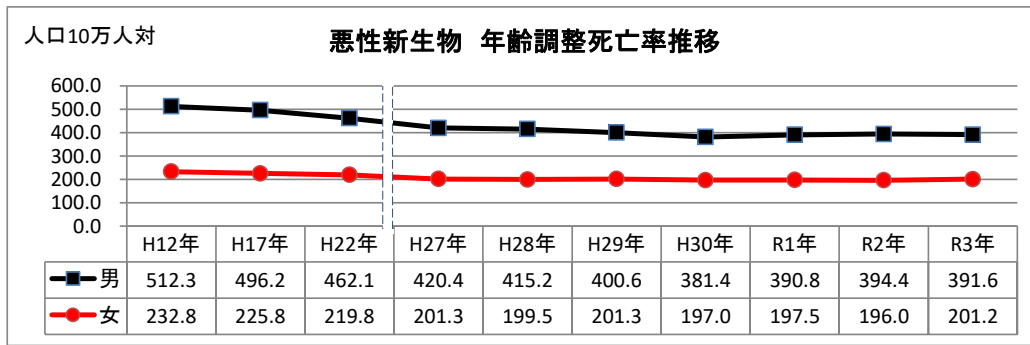


<全国>

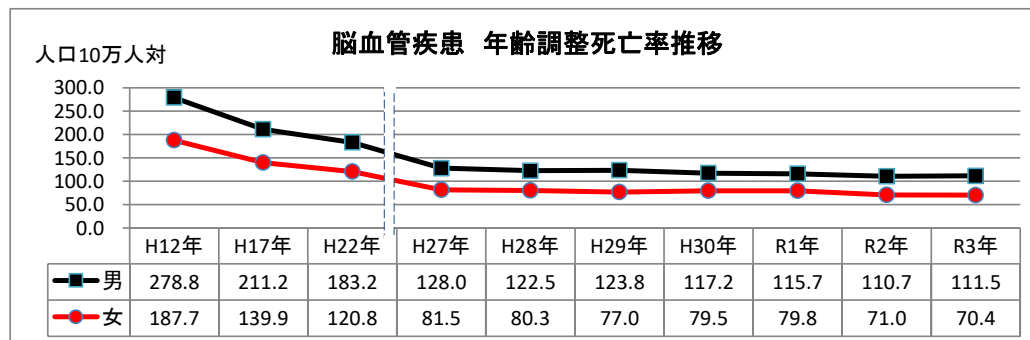


出典：死亡数：厚生労働省「人口動態統計」保管統計表都道府県編死亡・死因第2表
 死亡率：死亡数及び「人口推計」（総務省統計局）から算出から算出
 国勢調査年は死亡数及び国勢調査人口から算出

悪性新生物・心疾患・脳血管疾患の年齢調整死亡率年次推移 《宮城県》



※急性心筋梗塞及びその他の虚血性心疾患



出典

○平成12, 17, 22年
 年齢階級：「0～4」～「95歳以上」の20階級
 基準人口：平成27年モデル人口
 死亡数：人口動態統計
 人口：国勢調査（日本人人口）

○平成28, 29, 30年, 令和元, 3年
 年齢階級：「0～4」～「85歳以上」の18階級
 基準人口：平成27年モデル人口
 死亡数：人口動態統計
 人口：推計人口（日本人人口）

○平成27年, 令和2年
 年齢階級：「0～4」～「95歳以上」の20階級
 基準人口：平成27年モデル人口
 死亡数：人口動態統計
 人口：国勢調査（日本人人口）不詳按分人口

※令和4年11月時点で県が入手できる統計を基に算出しているため、後日、国が公表する数値とは一致しない場合があります。
 ※公表している統計のみで、県が独自に平成27年モデル人口を用いて年齢調整死亡率を算出できないため、一部代替手段で算出している年度があります。そのため、数値の増減を単純比較することはできません。

部位別がん死亡数及び割合

上段：死亡数（人） 下段：割合（％）
（令和3年）

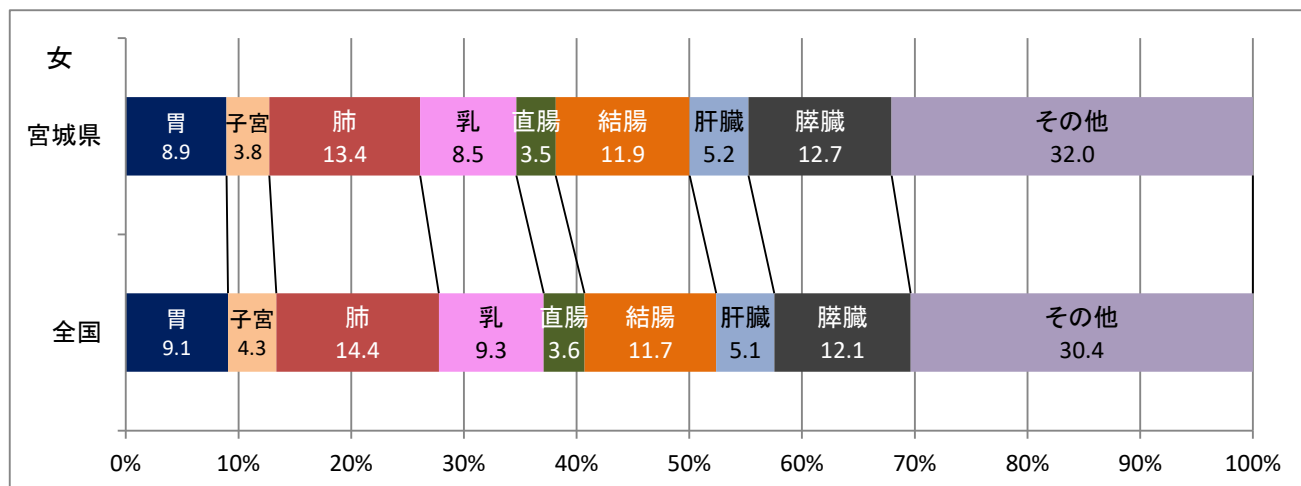
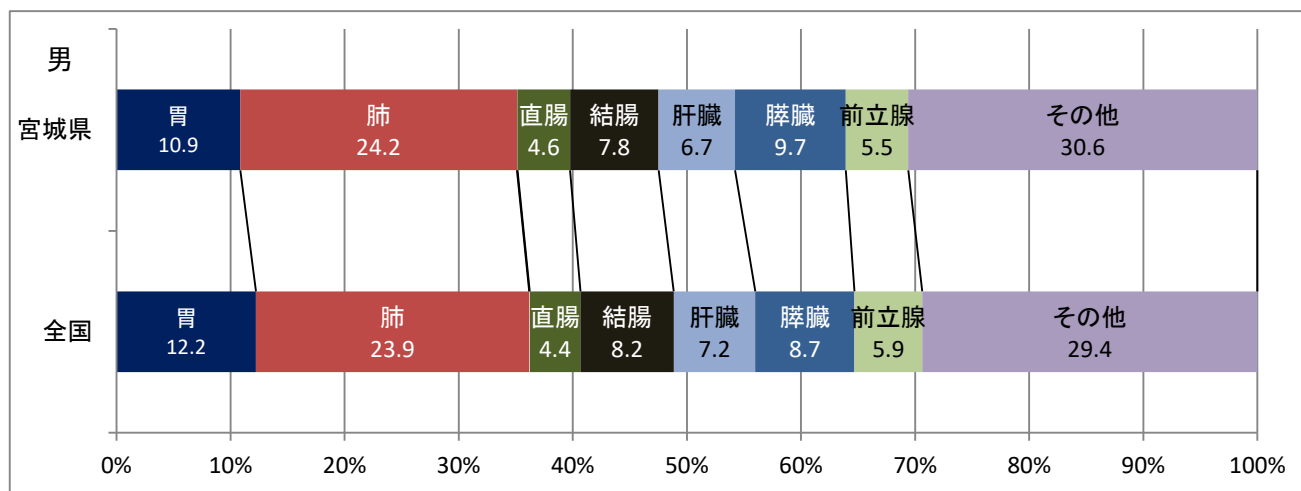
		全がん	胃がん	子宮がん	肺がん	乳がん	直腸がん	結腸がん	肝臓がん	膵臓がん	前立腺がん
宮城県	男	4,017 (100.0)	436 (10.9)	-	974 (24.2)	2 (0.0)	185 (4.6)	312 (7.8)	269 (6.7)	390 (9.7)	220 (5.5)
	女	2,952 (100.0)	264 (8.9)	112 (3.8)	395 (13.4)	252 (8.5)	103 (3.5)	351 (11.9)	154 (5.2)	375 (12.7)	-
	計	6,969 (100.0)	700 (10.0)	112 (1.6)	1,369 (19.6)	254 (3.6)	288 (4.1)	663 (9.5)	423 (6.1)	765 (11.0)	220 (3.2)
全国	男	222,467 (100.0)	27,196 (12.2)	-	53,278 (23.9)	105 (0.0)	9,897 (4.4)	18,183 (8.2)	15,913 (7.2)	19,334 (8.7)	13,217 (5.9)
	女	159,038 (100.0)	14,428 (9.1)	6,818 (4.3)	22,934 (14.4)	14,803 (9.3)	5,748 (3.6)	18,590 (11.7)	8,189 (5.1)	19,245 (12.1)	-
	計	381,505 (100.0)	41,624 (10.9)	6,818 (1.8)	76,212 (20.0)	14,908 (3.9)	15,645 (4.1)	36,773 (9.6)	24,102 (6.3)	38,579 (10.1)	13,217 (3.5)

出典）厚生労働省大臣官房統計情報部「人口動態統計」

令和3年に、宮城県においてがんで死亡した人は男性**4,017**人、女性**2,952**人で合計7,222人です。がんにより死亡全体を100とした場合の、部位別のがん死亡数では、肺がんによる死亡が1,369人（19.0％）で第1位となっています。

男女別では、男性では1位は肺がん974人（23.5％）、2位は胃がん436人（10.5％）、3位は膵臓がん390人（9.4％）です。女性では、1位は肺がん395人（12.8％）、2位は膵臓がん375人（12.2％）、3位は結腸がん351人（11.4％）です。

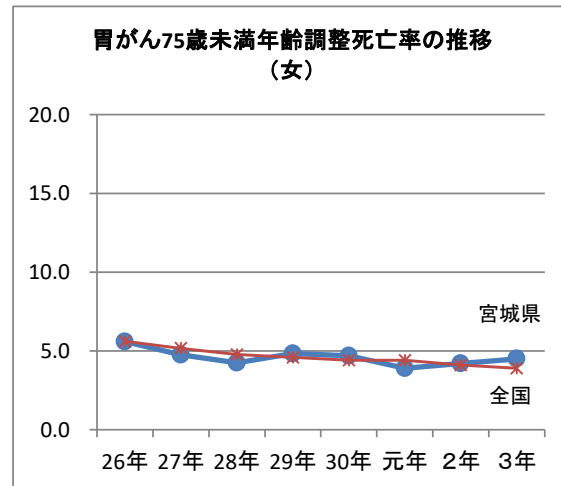
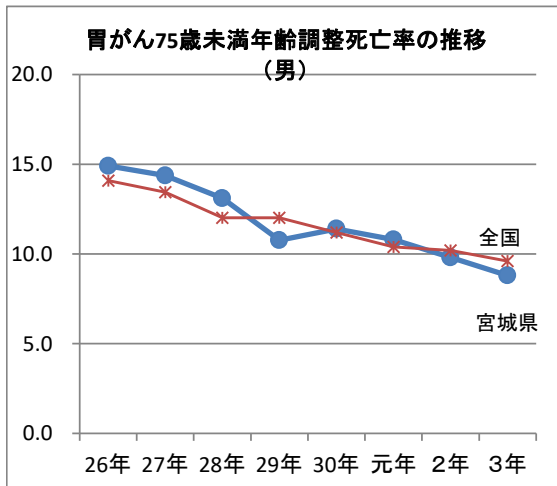
部位別がん死亡割合（％）（令和3年）



胃がんによる死亡数及び死亡率(人口10万対)の年次推移

	宮 城 県											
	計				男				女			
	死亡数	粗死亡率	年齢調整死亡率	75歳未満年齢調整死亡率	死亡数	粗死亡率	年齢調整死亡率	75歳未満年齢調整死亡率	死亡数	粗死亡率	年齢調整死亡率	75歳未満年齢調整死亡率
26年	842	36.4	15.6	10.1	569	50.4	24.6	14.9	273	23.0	8.5	5.6
27年	756	33.0	13.9	9.5	499	44.6	21.8	14.4	257	21.9	7.4	4.8
28年	836	35.9	14.3	8.5	569	50.4	22.9	13.1	267	22.6	7.3	4.2
29年	778	33.8	12.7	7.7	501	44.5	18.9	10.8	277	23.5	7.7	4.8
30年	729	31.8	12.1	8.0	471	41.9	18.3	11.4	258	22.0	7.1	4.7
元年	772	33.8	11.8	7.3	497	44.5	18.1	10.8	275	23.6	6.8	3.9
2年	729	31.7	11.6	6.9	478	42.6	17.7	9.8	251	21.3	6.7	4.2
3年	700	30.9	10.7	6.6	436	39.4	15.6	8.8	264	22.7	6.7	4.5

	全 国											
	計				男				女			
	死亡数	粗死亡率	年齢調整死亡率	75歳未満年齢調整死亡率	死亡数	粗死亡率	年齢調整死亡率	75歳未満年齢調整死亡率	死亡数	粗死亡率	年齢調整死亡率	75歳未満年齢調整死亡率
26年	47,903	38.2	15.6	9.7	31,483	51.6	24.1	14.1	16,420	25.5	9.0	5.6
27年	46,679	37.6	14.9	9.1	30,809	50.9	23.1	13.4	15,870	24.9	8.4	5.2
28年	45,527	36.1	14.4	8.3	29,851	48.5	22.5	12.0	15,676	24.3	8.2	4.8
29年	45,226	36.3	13.4	8.2	29,745	49.0	20.8	12.0	15,481	24.2	7.6	4.6
30年	44,192	35.6	12.8	7.7	28,843	47.7	19.6	11.2	15,349	24.1	7.3	4.4
元年	42,931	34.7	12.1	7.2	28,043	46.6	18.6	10.4	14,888	23.4	7.0	4.4
2年	42,319	33.5	11.9	7.0	27,771	45.3	18.4	10.2	14,548	22.5	6.8	4.1
3年	41,624	33.9	11.4	6.6	27,196	45.6	17.5	9.6	14,428	22.9	6.5	3.9

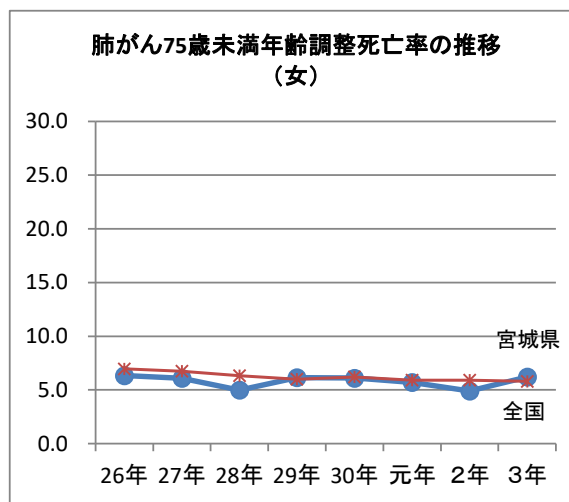
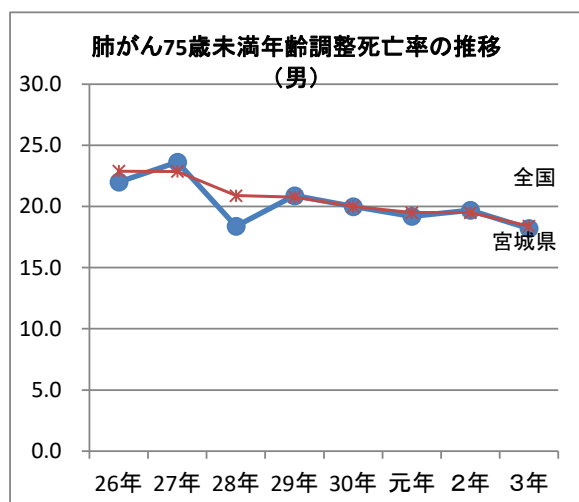


出典) 死亡数：厚生労働省大臣官房統計情報部「人口動態統計」保管統計表都道府県編死亡・死因第2表，全国編死因・第9表
 粗死亡率：死亡数及び日本人人口から算出
 年齢調整死亡率：死亡数，総人口及び昭和60年モデル人口から算出
 日本人人口：平成27年，令和2年（国勢調査年）は総務省「国勢調査人口等基本集計」（第4-3表）
 総人口：平成27年，令和2年（国勢調査年）は総務省「国勢調査人口等基本集計」（第4-3表）
 国勢調査年以外は総務省「人口推計」第10表（総人口）

肺がんによる死亡数及び死亡率(人口10万対)の年次推移

	宮 城 県											
	計				男				女			
	死亡数	粗死亡率	年齢調整死亡率	75歳未満年齢調整死亡率	死亡数	粗死亡率	年齢調整死亡率	75歳未満年齢調整死亡率	死亡数	粗死亡率	年齢調整死亡率	75歳未満年齢調整死亡率
26年	1,347	58.2	23.8	14.0	987	87.4	40.9	22.0	360	30.3	10.7	6.3
27年	1,339	58.4	23.7	14.7	996	88.9	40.9	23.6	343	29.3	10.2	6.1
28年	1,269	54.5	20.7	11.5	908	80.4	35.1	18.4	361	30.6	9.3	5.0
29年	1,362	59.1	22.0	13.3	982	87.1	36.7	20.9	380	32.3	10.3	6.1
30年	1,343	58.5	21.3	12.9	949	84.5	35.3	20.0	394	33.6	10.1	6.1
元年	1,407	61.6	21.2	12.3	989	88.6	35.0	19.2	418	35.8	10.1	5.7
2年	1,380	59.9	22.0	12.1	993	88.5	37.0	19.7	387	32.8	9.8	4.9
3年	1,369	60.3	21.1	12.0	974	88.0	34.7	18.2	395	34.0	10.1	6.2

	全 国											
	計				男				女			
	死亡数	粗死亡率	年齢調整死亡率	75歳未満年齢調整死亡率	死亡数	粗死亡率	年齢調整死亡率	75歳未満年齢調整死亡率	死亡数	粗死亡率	年齢調整死亡率	75歳未満年齢調整死亡率
26年	73,396	58.5	23.8	14.6	52,505	86.0	39.7	22.9	20,891	32.4	11.4	7.0
27年	74,378	59.8	23.6	14.5	53,208	88.0	39.4	22.9	21,170	33.2	11.2	6.7
28年	73,836	58.5	23.4	13.3	52,428	85.1	39.1	20.9	21,408	33.2	11.2	6.3
29年	74,120	59.5	21.9	13.1	53,002	87.4	36.6	20.8	21,118	33.0	10.3	6.0
30年	74,328	59.8	21.5	12.8	52,401	86.7	35.3	20.0	21,927	34.4	10.5	6.2
元年	75,394	60.9	21.3	12.5	53,338	88.6	35.1	19.5	22,056	34.7	10.3	5.9
2年	75,585	59.9	21.5	12.5	53,247	86.8	35.2	19.5	22,338	34.5	10.4	5.9
3年	76,212	62.1	21.0	11.9	53,278	89.3	34.2	18.4	22,934	36.3	10.4	5.8

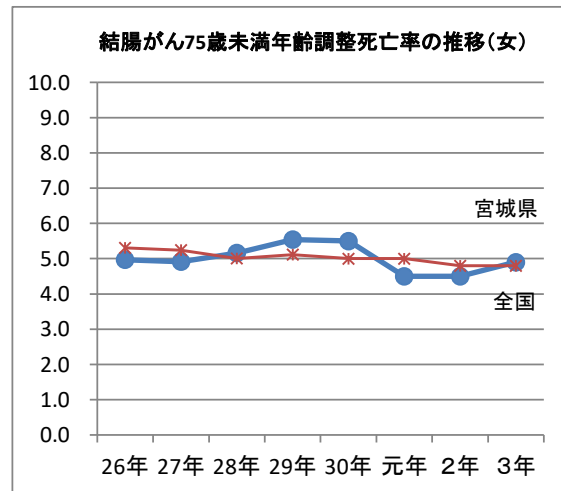
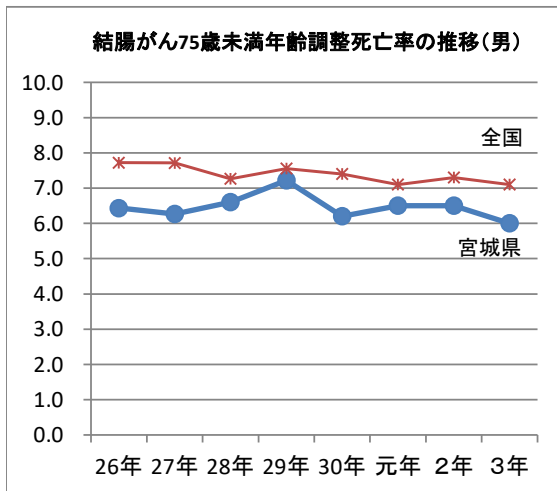


出典) 死亡数：厚生労働省大臣官房統計情報部「人口動態統計」保管統計表都道府県編死亡・死因第2表, 全国編死因・第9表
 粗死亡率：死亡数及び日本人人口から算出
 年齢調整死亡率：死亡数, 総人口及び昭和60年モデル人口から算出
 日本人人口：平成27年, 令和2年(国勢調査年)は総務省「国勢調査人口等基本集計」(第4-3表)
 総人口：平成27年, 令和2年(国勢調査年)は総務省「国勢調査人口等基本集計」(第4-3表)
 国勢調査年以外は総務省「人口推計」第10表(総人口)

結腸がんによる死亡数及び死亡率(人口10万対)の年次推移

	宮 城 県											
	計				男				女			
	死亡数	粗死亡率	年齢調整死亡率	75歳未満年齢調整死亡率	死亡数	粗死亡率	年齢調整死亡率	75歳未満年齢調整死亡率	死亡数	粗死亡率	年齢調整死亡率	75歳未満年齢調整死亡率
26年	593	25.6	9.9	5.7	261	23.1	11.0	6.4	332	28.0	9.0	5.0
27年	581	25.4	9.5	5.6	265	23.7	10.8	6.3	316	27.0	8.4	4.9
28年	637	27.3	10.3	5.8	292	25.8	11.6	6.6	345	29.2	9.2	5.2
29年	655	28.4	10.5	6.3	299	26.5	11.8	7.2	356	30.2	9.3	5.5
30年	643	28.0	9.9	5.8	295	26.3	10.9	6.2	348	29.7	9.1	5.5
元年	650	28.5	9.6	5.4	321	28.8	11.6	6.5	329	28.2	8.0	4.5
2年	638	27.7	9.4	5.5	307	27.3	11.3	6.5	331	28.1	7.9	4.5
3年	663	29.2	9.6	5.4	312	28.2	11.2	6.0	351	30.2	8.4	4.9

	全 国											
	計				男				女			
	死亡数	粗死亡率	年齢調整死亡率	75歳未満年齢調整死亡率	死亡数	粗死亡率	年齢調整死亡率	75歳未満年齢調整死亡率	死亡数	粗死亡率	年齢調整死亡率	75歳未満年齢調整死亡率
26年	33,297	26.5	10.6	6.5	16,478	27.0	12.8	7.7	16,819	26.1	8.8	5.3
27年	34,338	27.6	10.6	6.4	17,063	28.2	13.0	7.7	17,275	27.1	8.8	5.2
28年	34,519	27.4	10.7	6.1	17,114	27.8	13.1	7.3	17,405	27.0	8.9	5.0
29年	35,349	28.4	10.3	6.3	17,564	28.9	12.6	7.6	17,785	27.8	8.5	5.1
30年	35,414	28.5	10.2	6.2	17,467	28.9	12.3	7.4	17,947	28.2	8.4	5.0
元年	35,599	28.8	10.0	6.0	17,517	29.1	12.0	7.1	18,082	28.5	8.3	5.0
2年	36,204	28.7	10.1	6.0	17,965	29.3	12.3	7.3	18,239	28.1	8.3	4.8
3年	36,773	30.0	10.0	5.9	18,183	30.5	12.1	7.1	18,590	29.5	8.2	4.8

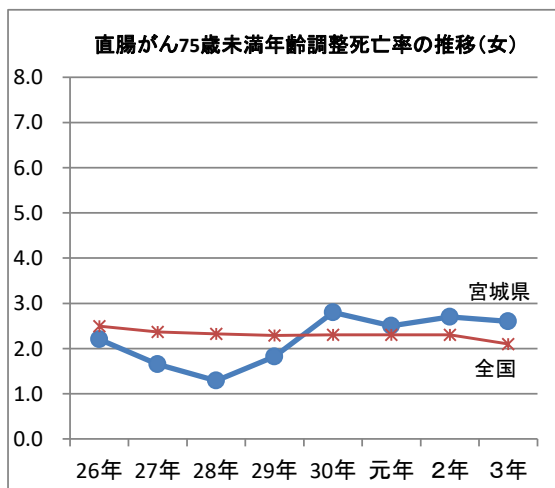
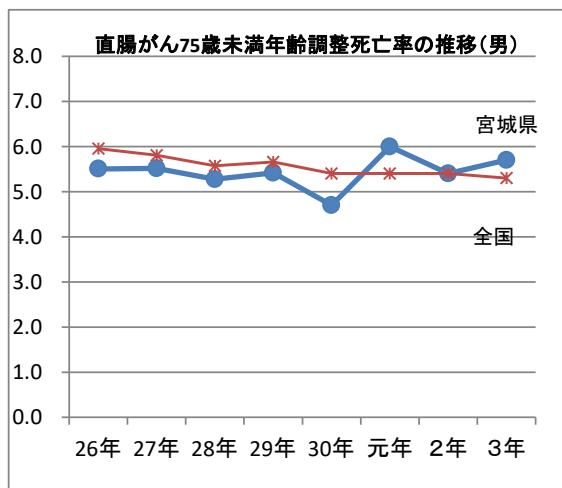


出典) 死亡数：厚生労働省大臣官房統計情報部「人口動態統計」保管統計表都道府県編死亡・死因第2表、全国編死因・第9表
 粗死亡率：死亡数及び日本人人口から算出
 年齢調整死亡率：死亡数、総人口及び昭和60年モデル人口から算出
 日本人人口：平成27年、令和2年(国勢調査年)は総務省「国勢調査人口等基本集計」(第4-3表)
 総人口：平成27年、令和2年(国勢調査年)は総務省「国勢調査人口等基本集計」(第4-3表)
 国勢調査年以外は総務省「人口推計」第10表(総人口)

直腸がんによる死亡数及び死亡率(人口10万対)の年次推移

	宮 城 県											
	計				男				女			
	死亡数	粗死亡率	年齢調整死亡率	75歳未満年齢調整死亡率	死亡数	粗死亡率	年齢調整死亡率	75歳未満年齢調整死亡率	死亡数	粗死亡率	年齢調整死亡率	75歳未満年齢調整死亡率
26年	266	11.5	5.3	3.8	160	14.2	7.6	5.5	106	8.9	3.4	2.2
27年	258	11.3	5.1	3.6	170	15.2	7.9	5.5	88	7.5	2.6	1.7
28年	264	11.3	4.9	3.2	175	15.5	7.8	5.3	89	7.5	2.4	1.3
29年	261	11.3	5.0	3.6	168	14.9	7.6	5.4	93	7.9	2.7	1.8
30年	266	11.6	5.0	3.8	158	14.1	6.7	4.7	108	9.2	3.7	2.8
元年	293	12.8	5.7	4.3	186	16.7	8.2	6.0	107	9.2	3.5	2.5
2年	274	11.9	5.3	4.0	165	14.7	7.3	5.4	109	9.2	3.6	2.7
3年	288	12.7	5.4	4.1	185	16.7	7.7	5.7	103	8.9	3.4	2.6

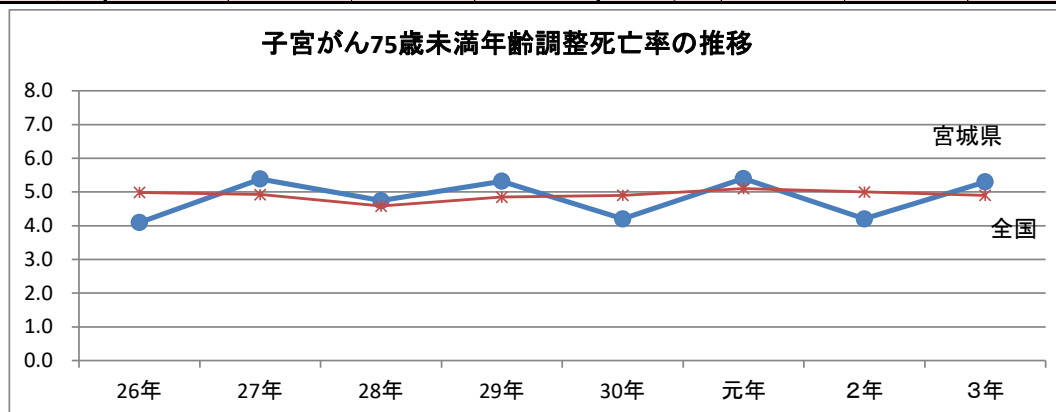
	全 国											
	計				男				女			
	死亡数	粗死亡率	年齢調整死亡率	75歳未満年齢調整死亡率	死亡数	粗死亡率	年齢調整死亡率	75歳未満年齢調整死亡率	死亡数	粗死亡率	年齢調整死亡率	75歳未満年齢調整死亡率
26年	15,188	12.1	5.7	4.2	9,699	15.9	8.2	6.0	5,489	8.5	3.5	2.5
27年	15,361	12.4	5.6	4.0	9,775	16.1	8.1	5.8	5,606	8.8	3.4	2.4
28年	15,575	12.3	5.7	3.9	9,907	16.1	8.3	5.6	5,668	8.8	3.5	2.3
29年	15,332	12.3	5.4	3.9	9,770	16.1	7.8	5.7	5,562	8.7	3.2	2.3
30年	15,244	12.3	5.2	3.8	9,631	15.9	7.6	5.4	5,613	8.8	3.2	2.3
元年	15,821	12.8	5.3	3.8	9,899	16.4	7.6	5.4	5,922	9.3	3.3	2.3
2年	15,584	12.4	5.3	3.8	9,753	15.9	7.6	5.4	5,831	9.0	3.3	2.3
3年	15,645	12.7	5.2	3.7	9,897	16.6	7.5	5.3	5,748	9.1	3.1	2.1



出典) 死亡数：厚生労働省大臣官房統計情報部「人口動態統計」保管統計表都道府県編死亡・死因第2表, 全国編死因・第9表
 粗死亡率：死亡数及び日本人人口から算出
 年齢調整死亡率：死亡数, 総人口及び昭和60年モデル人口から算出
 日本人人口：平成27年, 令和2年(国勢調査年)は総務省「国勢調査人口等基本集計」(第4-3表)
 総人口：平成27年, 令和2年(国勢調査年)は総務省「国勢調査人口等基本集計」(第4-3表)
 国勢調査年以外は総務省「人口推計」第10表(総人口)

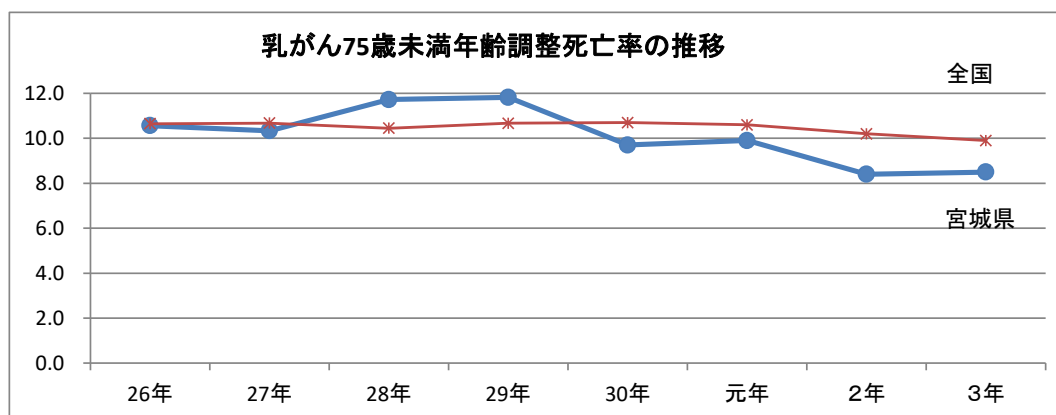
子宮がんによる死亡数及び死亡率(人口10万対)の年次推移

	宮 城 県				全 国			
	死亡数	粗死亡率	年齢調整死亡率	75歳未満年齢調整死亡率	死亡数	粗死亡率	年齢調整死亡率	75歳未満年齢調整死亡率
26年	99	8.3	4.7	4.1	6,429	10.0	5.7	5.0
27年	132	11.3	6.2	5.4	6,429	10.1	5.6	4.9
28年	112	9.5	5.5	4.7	6,345	9.8	5.5	4.6
29年	126	10.7	6.0	5.3	6,611	10.3	5.5	4.8
30年	113	9.6	4.9	4.2	6,800	10.7	5.6	4.9
元年	118	10.1	5.8	5.4	6,804	10.7	5.8	5.1
2年	114	9.7	5.1	4.2	6,808	10.5	5.7	5.0
3年	112	9.6	5.7	5.3	6,818	10.8	5.7	4.9



乳がんによる死亡数及び死亡率(人口10万対)の年次推移

	宮 城 県				全 国			
	死亡数	粗死亡率	年齢調整死亡率	75歳未満年齢調整死亡率	死亡数	粗死亡率	年齢調整死亡率	75歳未満年齢調整死亡率
26年	238	20.1	11.9	10.6	13,240	20.6	11.8	10.7
27年	229	19.5	11.4	10.3	13,584	21.3	11.9	10.7
28年	272	23.1	13.6	11.7	14,015	21.7	12.3	10.4
29年	281	23.7	13.0	11.8	14,384	22.3	12.0	10.7
30年	247	21.1	11.2	9.7	14,653	22.3	12.1	10.7
元年	246	21.1	11.3	9.9	14,839	23.4	12.1	10.6
2年	242	20.5	9.9	8.4	14,650	22.6	11.8	10.2
3年	252	21.7	10.0	8.5	14,803	23.5	11.6	9.9



出典) 死亡数：厚生労働省大臣官房統計情報部「人口動態統計」保管統計表都道府県編死亡・死因第2表，全国編死因・第9表
 粗死亡率：死亡数及び日本人人口から算出
 年齢調整死亡率：死亡数，総人口及び昭和60年モデル人口から算出
 日本人人口：平成27年，令和2年（国勢調査年）は総務省「国勢調査人口等基本集計」（第4-3表）
 総人口：平成27年，令和2年（国勢調査年）は総務省「国勢調査人口等基本集計」（第4-3表）
 国勢調査年以外は総務省「人口推計」第10表（総人口）

【心疾患】

宮城県における令和3年の心疾患による死亡数は男性1,898人、女性2,101人で、男性では、心不全が640人(心疾患全体に占める割合:33.7%)で最も多く、次いで不整脈及び伝導障害が487人(25.7%)、その他の虚血性心疾患が344人(18.1%)となっています。女性では、心不全が1,016人(48.4%)が最も多く、次いで不整脈及び伝導障害が458人(21.8%)、その他の虚血性心疾患が204人(9.7%)となっています。

心疾患の年齢調整死亡率及び死亡者の性・疾病別年次推移(単位:人)

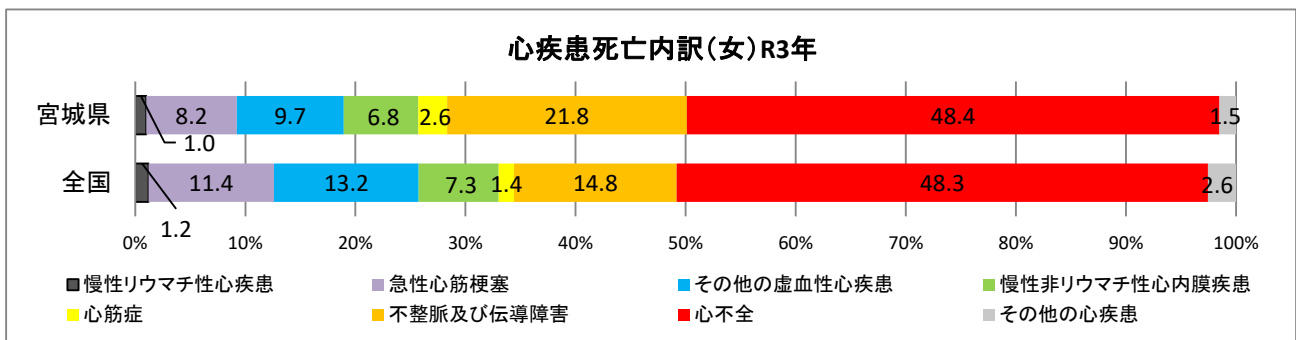
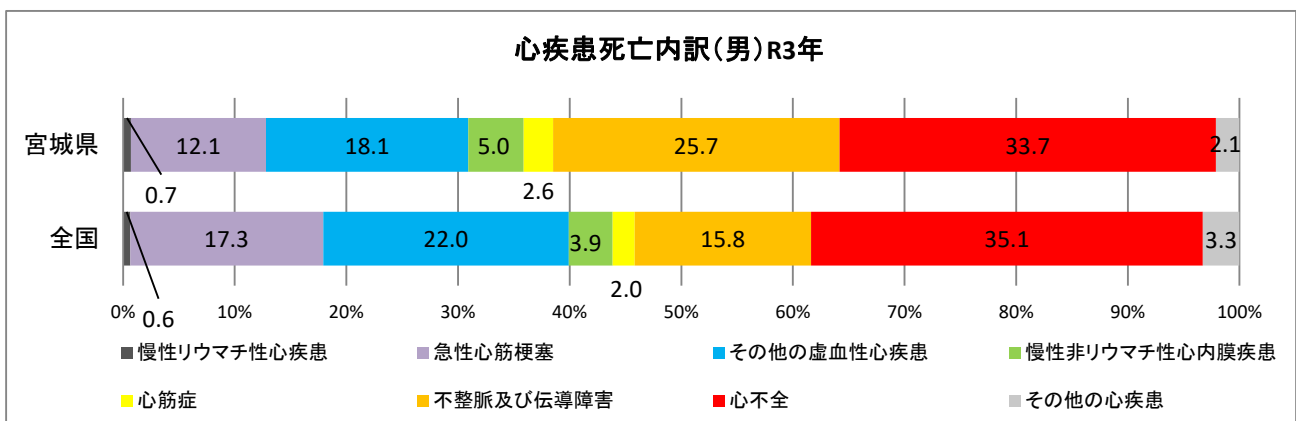
男性	R1	R2	R3	女性	R1	R2	R3
(宮城県)年齢調整死亡率	192.8	196.7	191.3	(宮城県)年齢調整死亡率	123.7	109.9	121.1
心疾患総数(人)	1,876	1,857	1,898	心疾患総数(人)	2,097	1,967	2,101
慢性リウマチ性心疾患	11	6	13	慢性リウマチ性心疾患	26	17	21
急性心筋梗塞	262	202	230	急性心筋梗塞	184	158	173
その他の虚血性心疾患	358	384	344	その他の虚血性心疾患	264	205	204
慢性非リウマチ性心内膜疾患	60	77	94	慢性非リウマチ性心内膜疾患	138	146	142
心筋症	54	41	50	心筋症	29	43	55
不整脈及び伝導障害	478	491	487	不整脈及び伝導障害	452	425	458
心不全	622	615	640	心不全	969	946	1,016
その他の心疾患	31	41	40	その他の心疾患	35	27	32
(全国)年齢調整死亡率	191.5	190.1	193.8	(全国)年齢調整死亡率	115.6	109.2	110.2
心疾患総数(人)	98,210	99,304	103,700	心疾患総数(人)	109,504	106,292	111,010
慢性リウマチ性心疾患	666	686	656	慢性リウマチ性心疾患	1,379	1,320	1,337
急性心筋梗塞	18,146	17,922	17,926	急性心筋梗塞	13,381	12,616	12,652
その他の虚血性心疾患	21,441	22,272	22,818	その他の虚血性心疾患	14,358	14,495	14,605
慢性非リウマチ性心内膜疾患	3,761	3,807	4,062	慢性非リウマチ性心内膜疾患	8,022	7,990	8,056
心筋症	2,174	2,049	2,058	心筋症	1,624	1,605	1,542
不整脈及び伝導障害	15,197	15,511	16,395	不整脈及び伝導障害	16,064	15,485	16,409
心不全	33,678	33,883	36,374	心不全	51,887	50,202	53,576
その他の心疾患	3,147	3,174	3,411	その他の心疾患	2,789	2,579	2,833

資料:死亡数:厚生労働省大臣官房統計情報部「人口動態統計」

年齢調整死亡率:※公表されている統計のみで、県が独自に平成27年モデル人口を用いて年齢調整死亡率を算出できないため、一部代替手段で算出している年度があります。そのため、数値の増減を単純比較することはできません。

(R1,R3)年齢階級:「0~4」~「85歳以上」の18階級,基準人口:平成27年モデル人口,死亡数:人口動態統計,人口:推計人口(日本人人口)より算出

(R2):年齢階級:「0~4」~「95歳以上」の20階級,基準人口:平成27年モデル人口,死亡数:人口動態統計,人口:国勢調査(日本人人口)不詳按分人口により算出



【脳血管疾患】

宮城県における令和3年の脳血管疾患による死亡数は男性1,125人、女性1,187人で、男性では、脳梗塞が548人(脳血管疾患全体に占める割合:48.7%)で最も多く、次いで脳内出血が446人(39.6%),くも膜下出血が89人(7.9%)となっています。女性では、脳梗塞が669人(56.4%)で最も多く、次いで脳内出血が363人(30.6%),くも膜下出血が127人(10.7%)となっています。

脳血管疾患の年齢調整死亡率及び死亡者の性・疾病別年次推移

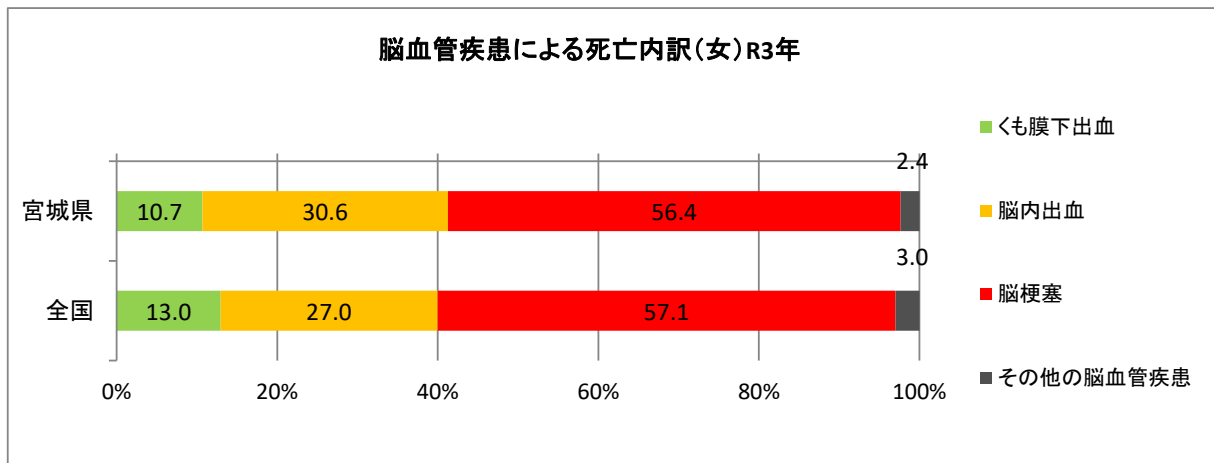
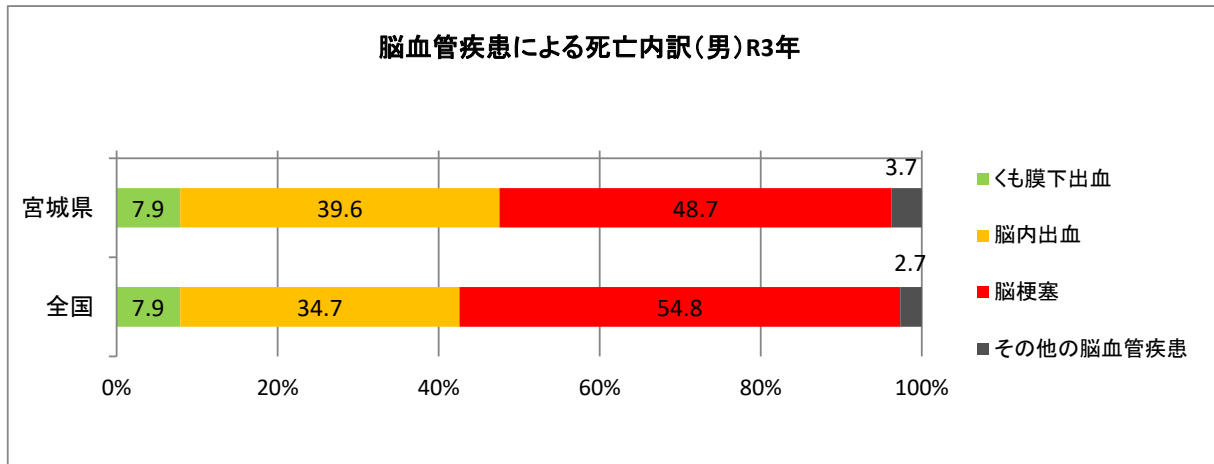
男性	R1	R2	R3	女性	R1	R2	R3
(宮城県)年齢調整死亡率	115.7	110.7	111.5	(宮城県)年齢調整死亡率	79.8	71.0	70.4
脳血管疾患総数(人)	1,152	1,090	1,125	脳血管疾患総数(人)	1,318	1,185	1,187
くも膜下出血	86	79	89	くも膜下出血	166	166	127
脳内出血	476	438	446	脳内出血	413	348	363
脳梗塞	562	534	548	脳梗塞	701	636	669
その他の脳血管疾患	28	39	42	その他の脳血管疾患	38	35	28
(全国)年齢調整死亡率	98.2	93.8	93.7	(全国)年齢調整死亡率	59.9	56.4	55.1
脳血管疾患総数(人)	51,768	50,390	51,594	脳血管疾患総数(人)	54,784	52,588	53,001
くも膜下出血	4,319	4,114	4,080	くも膜下出血	7,412	7,302	6,867
脳内出血	17,957	17,790	17,884	脳内出血	14,819	14,207	14,324
脳梗塞	28,172	27,218	28,251	脳梗塞	31,095	29,646	30,238
その他の脳血管疾患	1,320	1,268	1,379	その他の脳血管疾患	1,458	1,433	1,572

資料:死亡数:厚生労働省大臣官房統計情報部「人口動態統計」

年齢調整死亡率: ※公表されている統計のみで、県が独自に平成27年モデル人口を用いて年齢調整死亡率を算出できないため、一部代替手段で算出している年度があります。そのため、数値の増減を単純比較することはできません。

(R1,R3)年齢階級:「0～4」～「85歳以上」の18階級, 基準人口:平成27年モデル人口, 死亡数:人口動態統計, 人口:推計人口(日本人人口)により算出

(R2):年齢階級:「0～4」～「95歳以上」の20階級, 基準人口:平成27年モデル人口, 死亡数:人口動態統計, 人口:国勢調査(日本人人口)不詳按分人口により算出



急性心筋梗塞調査報告書

—令和3年分—

(第43刷)

宮城県心筋梗塞対策協議会

2022年10月

目 次

令和3年度のご報告	1
宮城県心筋梗塞対策協議会会員	2
調査方法	4
I 急性心筋梗塞（令和3年）の実態調査	5
1. 病院別患者数	5
2. 病院別患者数推移	6
3. 仙台地域医療圏の患者数	8
4. 年代ごとの男女別患者数	9
5. 発病から入院までの期間	10
6. 発症から6時間以内に入院した患者数	11
7. 入院時刻別患者数	12
8. 発症時刻別患者数	13
9. 救急車の利用状況と入院経路	13
10. 年代ごとの責任血管別患者数	14
11. 生死別在院日数	14
12. 病院別在院日数	15
13. リスクファクター別患者数	16
14. 年代別死亡数	16
15. 発症からの時間経過	17
16. 発症から再灌流までの期間	17
17. 年代ごとの男女別死亡数	18
18. 責任血管ごとの生死別患者数	18
19. 発症から心死亡までの期間	18
20. 死亡例と致命率	19
II 再灌流療法検討	20
1. 発症から入院までの時間別にみた再灌流療法の現状	20
2. 再灌流療法と心臓病死数	20
3. 最大CPK値	20

令和3年度のご報告

宮城県心筋梗塞対策協議会の活動では、大変お世話になっております。

昨年度より本会を引き継ぎました 東北大学循環器内科 安田聡 です。会員の皆様におかれましては平素より協議会にご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

本協議会では、急性心筋梗塞患者を扱う県下の主要循環器診療施設のほぼ全てに当たる45医療機関が一致協力し、本県で発生する急性心筋梗塞(AMI)症例を昭和54年から前向きに登録する事業を行っております。本協議会の登録事業は、県下で発生するAMI症例のほぼ全例の前向き登録と40年以上という長期間の登録という2つの意味で、全国的にも大変重要でかつユニークなAMIに関する臨床疫学研究となっています。

この度、令和3年度の調査結果がまとまりましたのでご報告申し上げます。

COVID-19感染症流行の波の中で本県の心筋梗塞診療がどのような影響を受けたのか、過去に蓄積されたデータと比較により分析が進んでいます。また令和4年4月には県の循環器病対策の方向性を示し、循環器病に関わる生活習慣や健康状態の改善、医療提供体制の整備等を更に推進するために「宮城県循環器病対策推進計画」が策定されました。この推進計画の中でも宮城県心筋梗塞対策協議会のデータが引用・活用されています。

コロナ禍の中、貴重なデータをご提供いただきました全ての参加施設の皆様に改めまして心から感謝申し上げます。

令和4年10月吉日

宮城県心筋梗塞対策協議会
会長 安田 聡

宮城県心筋梗塞対策協議会会員

会 長

安 田 聡 (東北大学病院循環器内科)

名誉会長

白 土 邦 夫 (齋 藤 病 院)

下 川 宏 明 (国際医療福祉大学大学院／
東北大学病院循環器内科)

会 員 (五十音順)

赤 井 健次郎 (石 卷 市 立 病 院)

秋 保 洋 (仙 台 市)

麻 喜 恒 雄 (医療法人 泉整形外科病院)

阿 部 康 之 (仙台北クリニック)

池 田 淳 (いけだ循環器クリニック)

石 出 信 正 (仙台徳洲会病院)

伊 藤 健 一 (伊藤内科クリニック)

伊 藤 健 太 (伊 藤 医 院)

伊 藤 喜 和 (塩 釜 市 立 病 院)

井 上 寛 一 (仙 塩 利 府 病 院)

猪 岡 英 二 (宏人会中央クリニック)

猪 岡 伸 一 (猪 岡 内 科 医 院)

岩 渕 薫 (大 崎 市 民 病 院)

牛 込 康 文 (牛 込 医 院)

海 野 金次郎 (医療法人仁泉会 なかだ)

遠 藤 智 之 (東北医科薬科大学病院)

及 川 仁 元 (イムス明理会病院仙台総合病院)

近 江 三喜男 (仙 台 市)

大 澤 寛 寿 (大 澤 内 科 医 院)

大 沢 上 (医療法人ならの社 たんぼほクリニック)

大 塚 敬 二 (齋 藤 病 院)

大 友 正 隆 (国 保 丸 森 病 院)

大 山 匡 (大 山 医 院)

尾 形 公 彦 (JCHO 仙 台 病 院)

尾 形 和 則 (気 仙 沼 市 立 病 院)

小 鷹 日出夫 (お だ か クリニック)

小田倉 弘 典 (土 橋 内 科 医 院)

小 幡 篤 (しばた協同クリニック)

柏 木 誠 (予防福祉クリニック)

片 平 美 明 (緑 の 里 クリニック)

加 藤 邦 夫 (仙 台 市)

加 藤 浩 (宮城県立がんセンター)

川 本 俊 輔 (東北医科薬科大学 心臓血管外科)

菅 野 裕 幸 (かんのリズムハートクリニック)

菊 地 雄 一 (みやぎ東部循環器科)

木 村 卓 (仙 台 市)

興 野 春 樹 (興 野 内 科 医 院)

工 藤 啓 (富 谷 中 央 病 院)

熊 坂 祝 久 (熊 坂 医 院)

黒 羽 正 男 (仙 台 中 央 病 院)

小 岩 喜 郎 (大 泉 記 念 病 院)

上 月 正 博 (公立大学法人山形県立保健医療大学)

後 藤 淳 (塩 釜 市 立 病 院)

小 丸 達 也 (東北医科薬科大学病院)

金 野 裕 司 (七 北 田 クリニック)

坂 本 正 寛 (泉 翔 の 里)

斎 木 佳 克 (東北大学心臓血管外科)

佐久間 俊 明 (千 葉 クリニック)

桜 井 信 (さくら循環器科・内科クリニック)

櫻 井 雅 浩 (仙 台 大 学)

佐々木 英 彦 (なとりんくうタウン 時計台クリニック)

佐 治 公 明 (佐治外科循環器科医院)

佐 藤 清 春 (仙台駅東クリニック)

佐藤昇一	(上愛子クリニック)	浪打成人	(仙台オープン病院)
佐藤荘太郎	(さとう内科循環器医院)	仁田新一	(仙台医健・スポーツ&こども専門学校)
篠崎毅	(仙台医療センター)	二瓶次郎	(二瓶内科胃腸科医院)
篠澤洋太郎	(新久喜総合病院 救急科)	橋口良一	(仙塩総合病院)
渋谷清貴	(坂総合病院)	花立安志	(花だて内科循環器科)
杉村彰彦	(仙台赤十字病院)	平本哲也	(栗原中央病院)
祐川博康	(石巻赤十字病院)	福本優作	(仙台徳洲会病院)
鈴木秀	(東北公済病院)	福地満正	(JR仙台病院)
鈴木潤	(鈴木内科医院)	藤井真也	(仙台循環器病センター)
鈴木忠泰	(気仙沼市)	三浦正悦	(穂波の郷クリニック)
藺部太郎	(笠神ハートクリニック)	三浦裕	(石巻市立病院)
高橋和彦	(高橋ハートクリニック)	蜜岡幹夫	(総合南東北病院)
竹内雅治	(大崎市民病院)	箕田昌道	(医療法人社団 箕田内科クリニック)
武澤良明	(仙台市)	宮澤佑二	(宮澤循環器科内科クリニック)
武田久尚	(仙台厚生病院)	目黒泰一郎	(仙台厚生病院)
田中元直	(結核予防会宮城支部複十字健診センター)	毛利平	(仙台市)
田林暁一	(仙台青葉学院短期大学)	本良いよ子	(大崎市民病院鳴子温泉分院)
立木楷	(医療法人社団 仁明会 恵仁ホーム)	八木哲夫	(仙台市立病院)
寺沢良夫	(一般財団法人宮城県予防医学協会)	矢作浩一	(栗原中央病院)
東郷暁	(守健診内科)	八巻正昭	(宮城県予防医学協会)
富岡智子	(みやぎ県南中核病院)	山崎武彦	(松島医療生活協同組合 松島海岸診療所)
富澤信夫	(山家内科医院)	山田亜樹	(やまだクリニック)
長島道夫	(長島内科医院)	山家智之	(東北大加齢研心臓病電子医学分野)
永沼滋	(吉岡まほろばクリニック)	和田有行	(みやぎ北部循環器科)
永沼徹	(永沼ハートクリニック)	渡部潔	(宮城厚生協会坂総合病院)
中目貴彦	(宮町通りクリニック)		

事務局

高橋潤 (東北大学病院循環器内科)
 羽尾清貴 (東北大学病院循環器内科)

(R4.10.1現在)

・ 調 査 方 法

1. 本調査では、心筋梗塞発症より3週間以内に収容した症例を対象とし令和3年1月1日から令和3年12月31日までの間に退院したものを集計した。
なお、軽快した時期における入院中の再発や退院後の再発は異なる症例とし、急性期における病巣拡大は同一症例とした。
2. データベースソフト Microsoft Access を用いた、オフラインによるデータ収集、または「AMI 調査用紙」で収集したデータを宮城県心筋梗塞対策協議会事務局内のコンピュータにて解析した。
3. 集計の際、記入もれや、疑問のある記入例については、各担当医に個別に連絡の上、訂正した。

〔実態調査部〕

I 急性心筋梗塞（令和3年）の実態調査

1. 病院別患者数

病院コード	病院名	患者数	死亡数	心死数	病床数 ※2020年度
01	気仙沼市立病院	50	5	4	340
02	登米市立登米診療所	-	-	-	-
03	大崎市市民病院	69	8	5	500
04	石巻赤十字病院	96	13	11	464
05	坂総合病院	54	6	5	357
06	JCHO 仙台病院(旧仙台社会保険病院)	14	1	1	428
07	東北労災病院	7	0	0	548
08	仙台オーブン病院	107	11	11	330
09	東北大循環器内科	57	9	4	54
10	東北大加齢研	-	-	-	5
11	東北大心臓血管外科	0	0	0	32
12	仙台市立病院	99	6	5	525
13	仙台医療センター	46	13	12	660
14	東北医科薬科大学病院	42	7	2	554
15	J R 仙台病院	1	1	1	197
16	仙台赤十字病院	-	-	-	389
17	守病	-	-	-	-
18	県立がんセンター	-	-	-	383
19	公立刈田総合病院	-	-	-	308
21	東北大消化器病態学	-	-	-	58
22	仙台循環器病センター	71	6	6	116
23	石巻市医師会	-	-	-	0
24	国保丸森病院	0	0	0	90
25	みやぎ県南中核病院	100	8	6	310
26	東北医科薬科大学若林病院(旧NTT東北病院)	-	-	-	111
27	東北公済病院	-	-	-	385
28	栗原中央病院	78	9	7	329
29	登米市立登米市民病院	-	-	-	166
30	仙塩病	-	-	-	143
31	七ヶ宿国保診療所	-	-	-	0
32	大泉記念病院	-	-	-	168
35	仙台徳洲会病院	39	15	8	315
36	光ヶ丘スペルマン病院	0	0	0	140
37	西多賀病	-	-	-	480
38	仙台厚生病院	344	27	19	409
39	塩釜市立病	-	-	-	161
40	斎藤病	2	0	0	179
41	石巻市立病	8	1	0	180
42	みやぎ東部循環器科	-	-	-	0
43	みやぎ北部循環器科	39	0	0	19
44	JCHO 仙台南病院(旧宮城社会保険病院)	-	-	-	199
45	総合南東北病	6	0	0	271
	計	1,329	146	107	

(17. 守病院は2020年閉院、20. 深谷病院は2007年度閉院)

3. 仙台地域医療圏の患者数

病院コード	病院名	青葉区	泉区	宮城野区	太白区	若林区	合計
01	気仙沼市立病院	0	0	0	0	0	0
02	登米市立登米診療所	-	-	-	-	-	0
03	大崎市民病院	0	0	0	0	0	0
04	石巻赤十字病院	0	0	1	0	0	1
05	坂総合病院	1	0	2	0	0	3
06	JCHO 仙台病院 (旧仙台社会保険病院)	4	3	0	2	3	12
07	東北労災病院	6	1	0	0	0	7
08	仙台オーブン病院	9	23	47	2	4	85
09	東北大循環器内科	16	6	3	10	9	44
10	東北大加齢研	-	-	-	-	-	0
11	東北大心臓血管外科	0	0	0	0	0	0
12	仙台市立病院	5	3	1	43	23	75
13	仙台医療センター	4	0	23	4	14	45
14	東北医科薬科大学病院	1	0	9	2	5	17
15	JR 仙台病院	0	0	0	0	1	1
16	仙台赤十字病院	-	-	-	-	-	0
17	守病	-	-	-	-	-	0
18	県立がんセンター	-	-	-	-	-	0
19	公立刈田総合病院	-	-	-	-	-	0
21	東北大消化器病態学	-	-	-	-	-	0
22	仙台循環器病センター	12	28	4	1	1	46
23	石巻市医師会院	-	-	-	-	-	0
24	国保丸森病院	0	0	0	0	0	0
25	みやぎ県南中核病院	0	0	0	1	0	1
26	東北医科薬科大学若林病院(旧NTT東北病院)	-	-	-	-	-	0
27	東北公済病院	-	-	-	-	-	0
28	栗原中央病院	0	0	0	0	0	0
29	登米市立登米市民病院	-	-	-	-	-	0
30	仙塩病	-	-	-	-	-	0
31	七ヶ宿国保診療所	-	-	-	-	-	0
32	大泉記念病院	-	-	-	-	-	0
35	仙台徳洲会病院	4	26	2	1	0	33
36	光ヶ丘スペルマン病院	0	0	0	0	0	0
37	西多賀病院	-	-	-	-	-	0
38	仙台厚生病院	94	16	20	74	20	224
39	塩釜市立病院	-	-	-	-	-	0
40	斎藤病院	0	0	0	0	0	0
41	石巻市立病院	0	0	0	0	0	0
42	みやぎ東部循環器科	-	-	-	-	-	0
43	みやぎ北部循環器科	0	0	0	0	0	0
44	JCHO 仙台南病院(旧宮城社会保険病院)	-	-	-	-	-	0
45	総合南東北病院	0	1	0	0	0	1
	計	156	107	112	140	80	595

注1：昭和58年 199名 昭和59年 207名 昭和60年 194名 昭和61年 237名 昭和62年 309名
 昭和63年 275名 平成元年 269名 平成2年 268名 平成3年 314名 平成4年 308名
 平成5年 323名 平成6年 301名 平成7年 312名 平成8年 333名 平成9年 337名
 平成10年 332名 平成11年 392名 平成12年 343名 平成13年 365名 平成14年 434名
 平成15年 378名 平成16年 386名 平成17年 385名 平成18年 442名 平成19年 437名
 平成20年 393名 平成21年 413名 平成22年 375名 平成23年 499名 平成24年 419名
 平成25年 484名 平成26年 423名 平成27年 457名 平成28年 496名 平成29年 471名
 平成30年 543名 令和元年 519名 令和2年 530名 令和3年 595名

4. 年代ごとの男女別患者数

a) 2021年

年 代	男 性	女 性	性別不明	合 計	割 合
20代未満	0	0	0	0	0%
20 代	3	0	0	3	0%
30 代	18	3	0	21	1.6%
40 代	70	10	0	80	6.0%
50 代	154	23	0	177	13.3%
60 代	236	37	1	274	20.6%
70 代	301	99	0	400	30.1%
80 代	166	110	1	277	20.8%
90才以上	29	55	0	84	6.3%
不明	11	2	0	13	1.0%
計	988	339	2	1,329	100%

b) 1979年～2020年分集計 ※累計者数を一部補正

年 代	男 性	女 性	性別不明	合 計
20代未満	17	6	0	23
20 代	50	8	1	59
30 代	528	42	17	587
40 代	2,289	237	94	2,620
50 代	5,121	658	189	5,968
60 代	9,411	1,242	331	10,984
70 代	6,562	3,211	330	10,103
80 代	3,311	2,702	238	6,251
90才以上	416	625	56	1,097
不 明	131	66	59	256
計	27,836	8,797	1,315	37,948

5. 発症から入院までの期間

a) 2021年

期 間	生存例	心死例	その他死例	計	%
入 院 中	20	8	3	31	2.3%
0 ～ 6 時 間	651	56	17	724	54.5%
～ 12 時 間	179	11	6	196	14.7%
～ 24 時 間	93	6	3	102	7.7%
～ 2 日	40	1	0	41	3.1%
～ 3 日	13	0	0	13	1.0%
～ 1 週 間	11	2	0	13	1.0%
～ 2 週 間	1	0	0	1	0.1%
15日以上または不明	175	23	10	208	15.7%
計	1,183	107	39	1,329	100%

b) 1979～2020年集計 ※累計者数を一部補正

期 間	例 数	%
0～6時間(含入院中)	21,327	56.2%
7～12時間	4,051	10.7%
13～24時間	3,614	9.5%
～2日	2,298	6.1%
～3日	911	2.4%
～7日	898	2.4%
～14日	486	1.3%
15日以上、記載なし	4,363	11.5%
計	37,948	100%

6. 発症から6時間以内に入院した患者数

病院 コード	病院名	発症6時間以内入院		入院中発症		入院 総症例数
		生存数	死亡数	生存数	死亡数	
01	気仙沼市立病院	18	3	0	0	50
02	登米市立登米診療所	-	-	-	-	-
03	大崎市市民病院	49	6	0	0	69
04	石巻赤十字病院	58	3	3	4	96
05	坂総合病院	18	3	1	1	54
06	JCHO仙台病院(旧仙台社会保険病院)	0	0	2	0	14
07	東北労災病院	0	0	0	0	7
08	仙台オーブン病院	59	5	1	0	107
09	東北大循環器内科	22	7	3	2	57
10	東北大加齢研	-	-	-	-	-
11	東北大心臓血管外科	0	0	0	0	0
12	仙台市立病院	56	4	5	0	99
13	仙台医療センター	26	8	0	5	46
14	東北医科薬科大学病院	16	3	2	2	42
15	JR仙台病院	0	0	0	0	1
16	仙台赤十字病院	-	-	-	-	-
17	守病	-	-	-	-	-
18	県立がんセンター	-	-	-	-	-
19	公立刈田総合病院	-	-	-	-	-
21	東北大消化器病態学	-	-	-	-	-
22	仙台循環器病センター	34	3	1	1	71
23	石巻市医師会	-	-	-	-	-
24	国保丸森病院	0	0	0	0	0
25	みやぎ県南中核病院	52	5	2	0	100
26	東北医科薬科大学若林病院(旧NTT東北病院)	-	-	-	-	-
27	東北公済病院	-	-	-	-	-
28	栗原中央病院	32	8	1	0	78
29	登米市立登米市民病院	-	-	-	-	-
30	仙塩病院	-	-	-	-	-
31	七ヶ宿国保診療所	-	-	-	-	-
32	大泉記念病院	-	-	-	-	-
35	仙台徳洲会病院	9	3	0	4	39
36	光ヶ丘スペルマン病院	0	0	0	0	0
37	西多賀病院	-	-	-	-	-
38	仙台厚生病院	172	11	19	1	344
39	塩釜市立病院	-	-	-	-	-
40	斎藤病院	0	0	1	0	2
41	石巻市立病院	0	0	0	1	8
42	みやぎ東部循環器科	-	-	-	-	-
43	みやぎ北部循環器科	18	0	1	0	39
44	JCHO仙台南病院(旧宮城社会保険病院)	-	-	-	-	-
45	総合南東北病院	5	0	0	0	6
	計	644	72	42	21	1,329
		716		63		

7. 入院時刻別患者数

a) 2021 年

時刻	例数	%
～ 9 時	248	18.7%
～ 12 時	267	20.1%
～ 18 時	495	37.2%
～ 24 時	259	19.5%
不明	60	4.5%
計	1,329	100%

b) 1979～2020 年集計 (%)

時刻 \ 年	79 年	80 年	81 年	82 年	83 年	84 年	85 年	86 年	87 年	88 年	89 年
0～8 時	13.8	10.0	11.6	17.1	16.3	14.1	15.8	10.7	15.8	19.0	16.4
9～12 時	44.2	39.7	36.5	33.5	33.3	34.9	30.9	24.2	33.2	28.7	29.5
13～17 時	26.5	30.6	31.2	26.6	28.1	26.8	30.2	26.5	30.0	25.3	26.4
18～24 時	13.8	16.5	19.3	21.7	19.7	18.8	19.9	23.5	20.6	24.2	21.0
記載なし	1.7	3.3	1.5	1.0	2.7	5.4	3.2	7.5	0.4	2.8	6.7
計	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100

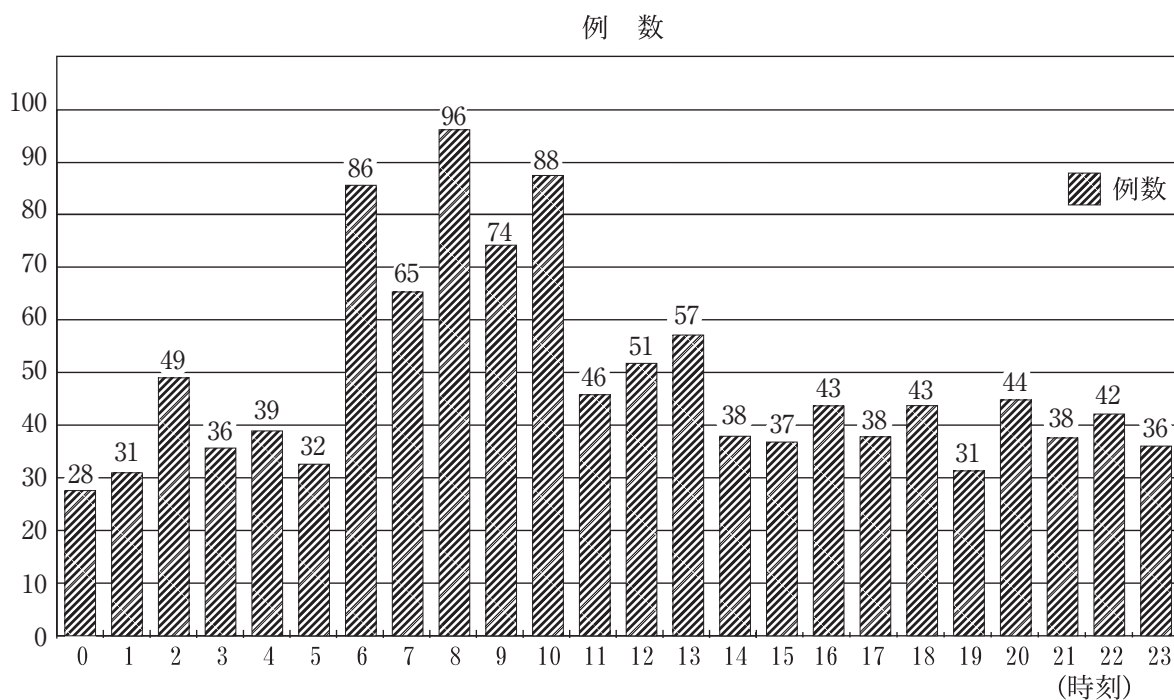
時刻 \ 年	90 年	91 年	92 年	93 年	94 年	95 年	96 年	97 年	98 年	99 年	00 年
0～8 時	16.9	20.2	21.7	11.8	14.0	14.3	16.0	18.0	11.4	17.9	17.3
9～12 時	25.5	31.3	32.5	30.2	30.0	31.5	29.4	28.2	33.5	33.4	31.5
13～17 時	30.7	26.2	26.4	29.0	28.9	28.1	28.8	28.8	29.9	28.8	27.9
18～24 時	20.9	22.2	18.9	22.2	22.6	21.7	22.8	23.4	24.9	16.5	19.4
記載なし	6.0	0.1	0.4	6.8	4.5	4.4	2.9	1.6	2.6	3.4	3.7
計	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100

時刻 \ 年	01 年	02 年	03 年	04 年	05 年	06 年	07 年	08 年	09 年	10 年	11 年
0～8 時	17.0	19.3	20.1	18.2	16.5	18.8	16.2	17.1	17.8	18.6	23.2
9～12 時	33.0	30.2	29.0	30.5	26.6	26.5	28.8	28.4	28.7	25.4	18.5
13～17 時	25.5	24.8	23.7	23.2	26.3	26.8	23.1	26.5	25.7	29.3	35.5
18～24 時	16.8	18.0	18.8	18.0	18.9	19.8	15.1	16.5	21.1	21.6	18.8
記載なし	7.6	7.8	8.4	10.1	11.7	8.1	16.8	11.5	6.8	5.2	3.9
計	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100

時刻 \ 年	12 年	13 年	14 年	15 年	16 年	17 年	18 年	19 年	20 年
0～8 時	18.1	18.1	19.8	21.3	22.5	21.4	21.7	21.7	19.6
9～12 時	20.6	19.3	20.3	22.2	19.9	20.3	18.9	19.4	17.5
13～17 時	37.3	36.1	40.4	37.6	36.0	37.2	38.2	38.5	38.0
18～24 時	19.2	22.8	17.9	18.4	20.4	20.2	19.7	19.4	18.6
記載なし	4.9	3.7	1.5	0.5	1.2	0.9	1.4	1.0	6.2
計	100	100	100	100	100	100	100	100	100

8. 発症時刻別患者数

時 刻	例 数	時 刻	例 数
0 時台	28	13 時台	57
1	31	14	38
2	49	15	37
3	36	16	43
4	39	17	38
5	32	18	43
6	86	19	31
7	65	20	44
8	96	21	38
9	74	22	42
10	88	23	36
11	46	不 明	161
12	51	計	1,329



9. 救急車の利用状況と入院経路

入院方法	例 数	%
救急車利用	958	72.1%
内、直接来院	640	66.8%
内、前医紹介	318	33.2%
救急車利用なし	371	27.9%
内、直接来院	212	57.1%
内、前医紹介	159	42.9%

10. 年代ごとの責任血管別患者数

部 位	30代以下	40代	50代	60代	70代	80代	90才以上	計	%
# 1	3	7	14	30	48	29	11	142	10.8%
# 2	0	5	12	26	51	18	4	116	8.8%
# 3	0	13	11	31	33	19	6	113	8.6%
# 4	0	1	6	10	13	8	2	40	3.0%
# 5	0	2	7	8	21	17	3	58	4.4%
# 6	7	10	42	54	74	62	17	266	20.2%
# 7	4	17	36	53	57	39	11	217	16.5%
# 8	1	1	4	1	3	4	2	16	1.2%
# 9	1	3	4	7	8	3	4	30	2.3%
# 10	0	0	1	1	1	1	0	4	0.3%
# 11	1	5	6	9	22	14	3	60	4.6%
# 12	2	1	6	2	13	5	1	30	2.3%
# 13	0	5	12	17	21	14	2	71	5.4%
# 14	2	1	2	5	7	6	1	24	1.8%
# 15	1	1	5	4	2	1	1	15	1.1%
H L	0	2	0	1	0	1	1	5	0.4%
そ の 他	0	1	4	7	10	6	2	30	2.3%
狭窄なし	2	4	1	4	2	2	0	15	1.1%
不 明	0	1	4	4	14	28	13	64	4.9%
計	24	80	177	274	400	277	84	1,316	100%

※年齢不明：13

11. 生死別在院日数

在院期間	生存例	心死例	その他死例	計	%
0 ～ 2 日	23	37	5	65	4.9%
3 ～ 6 日	86	14	5	105	7.9%
7 ～ 13 日	502	5	2	509	38.3%
14 ～ 20 日	313	11	1	325	24.5%
21 ～ 30 日	112	6	5	123	9.3%
31 ～ 60 日	87	8	3	98	7.4%
61 ～ 90 日	24	2	2	28	2.1%
91 ～ 180 日	6	1	1	8	0.6%
半 年 以 上	1	0	0	1	0.1%
不 明	29	23	15	67	5.0%
計	1,183	107	39	1,329	100%

12. 病院別在院日数

病 院 コード	病院名	0～ 2日	3～ 6日	7～ 13日	14～ 20日	21～ 30日	31～ 60日	61～ 90日	91～ 180日	半年 以上	不明	計
01	気仙沼市立病院	2	3	24	9	6	4	1	0	0	1	50
02	登米市立登米診療所	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
03	大崎市民病院	0	1	30	19	9	2	0	0	0	8	69
04	石巻赤十字病院	5	10	36	29	8	0	1	0	0	7	96
05	坂総合病院	2	1	17	17	4	6	0	1	0	6	54
06	JCHO 仙台病院(旧仙台社会保険病院)	0	0	4	5	1	1	2	0	0	1	14
07	東北労災病院	0	1	0	2	1	1	1	1	0	0	7
08	仙台オープン病院	9	17	42	25	7	5	1	1	0	0	107
09	東北大循環器内科	3	7	10	13	4	8	3	0	0	9	57
10	東北大加齢研	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
11	東北大心臓血管外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12	仙台市立病院	2	9	28	27	13	14	3	1	0	2	99
13	仙台医療センター	3	4	8	13	5	7	2	0	0	4	46
14	東北医科薬科大学病院	0	3	10	12	7	2	2	1	0	5	42
15	JR 仙台病院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
16	仙台赤十字病院	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
17	守 病 院	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
18	県立がんセンター	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
19	公立刈田総合病院	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
21	東北大消化器病態学	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
22	仙台循環器病センター	2	3	30	21	6	6	1	0	0	2	71
23	石巻市医師会	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
24	国保丸森病院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
25	みやぎ県南中核病院	3	20	43	14	3	6	1	1	1	8	100
26	東北医科薬科大学若林病院(旧NTT東北病院)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
27	東北公済病院	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
28	栗原中央病院	11	4	22	23	9	7	0	0	0	2	78
29	登米市立登米市民病院	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
30	仙 塩 病 院	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
31	七ヶ宿国保診療所	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
32	大泉記念病院	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
35	仙台徳洲会病院	6	4	8	6	6	1	5	2	0	1	39
36	光ヶ丘スペルマン病院	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13
37	西多賀病院	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
38	仙台厚生病院	0	13	166	82	31	27	5	0	0	7	331
39	塩釜市立病院	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
40	斎藤病院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
41	石巻市立病院	0	0	2	3	2	1	0	0	0	0	8
42	みやぎ東部循環器科	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
43	みやぎ北部循環器科	4	5	25	4	1	0	0	0	0	0	39
44	JCHO 仙台南病院(旧宮城社会保険病院)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
45	総合南東北病院	0	0	4	1	0	0	0	0	0	1	6
	計	65	105	509	325	123	98	28	8	1	67	1,329

13. リスクファクター別患者数

年 齢	総患者数	高血圧	糖尿病	高CHO血症	高LDL血症	高TG血症	高尿酸血症	タバコ
40代以下	104	68	29	40	30	14	10	71
(割合)	100%	65.4%	27.9%	38.5%	28.8%	13.5%	9.6%	68.3%
50代	177	125	74	80	63	37	19	101
(割合)	100%	70.6%	41.8%	45.2%	35.6%	20.9%	10.7%	57.1%
60代	274	204	102	110	74	51	24	150
(割合)	100%	74.5%	37.2%	40.1%	27.0%	18.6%	8.8%	54.7%
70代	400	309	165	155	83	56	33	169
(割合)	100%	77.3%	41.3%	38.8%	20.8%	14.0%	8.3%	42.3%
80代	277	226	107	106	41	23	33	81
(割合)	100%	81.6%	38.6%	38.3%	14.8%	8.3%	11.9%	29.2%
90代以上	84	74	24	31	9	6	9	7
(割合)	100%	88.1%	28.6%	36.9%	10.7%	7.1%	10.7%	8.3%
合計	1316	1006	501	522	300	187	128	579
(割合)	100%	76.4%	38.1%	39.7%	22.8%	14.2%	9.7%	44.0%

(割合：リスクファクターを有する患者数／年代別総患者数)

※年齢不明：13

14. 年代別死亡数

年 代	生存例	心死例	その他死例	総患者数
40代以下	99	3	2	104
(割合)	95.2%	2.9%	1.9%	100%
50代	163	8	6	177
(割合)	92.1%	4.5%	3.4%	100%
60代	257	12	5	274
(割合)	93.8%	4.4%	1.8%	100%
70代	357	34	9	400
(割合)	89.3%	8.5%	2.3%	100%
80代	232	36	9	277
(割合)	83.8%	13.0%	3.2%	100%
90代以上	63	14	7	84
(割合)	75.0%	16.7%	8.3%	100%

15. 発症からの時間経過

a) 全体（入院中発症例を除く）

	全 体			左記①～③のデータが揃ってる症例計 932 件		
	中央値	最短	最長	中央値	最短	最長(日数)
①発症から来院まで	2 時間 27 分	5 分	11 日と 22 時間 33 分	2 時間 22 分	5 分	11 日と 22 時間 33 分
②発症から 冠動脈造影まで	3 時間 53 分	17 分	33 日と 6 時間 30 分	3 時間 45 分	17 分	18 日と 22 時間
③発症から再灌流まで	4 時間 15 分	22 分	40 日と 3 時間 24 分	4 時間 17 分	22 分	40 日と 3 時間 24 分

b) 発症から再灌流までが 24 時間以内の症例に限定（885 件）

	全 体			左記①～③のデータが揃ってる症例計 864 件		
	中央値	最短	最長	中央値	最短	最長(時間)
①発症から来院まで	2 時間 10 分	5 分	22 時間 56 分	2 時間 10 分	5 分	22 時間 56 分
②発症から 冠動脈造影まで	3 時間 25 分	17 分	23 時間 55 分	3 時間 27 分	17 分	23 時間 55 分
③発症から再灌流まで	3 時間 59 分	22 分	23 時間 55 分	4 時間 1 分	22 分	23 時間 55 分

16. 発症から再灌流までの期間

期 間	生存例	心死例	その他死例	計	%
～ 6 時間	562	47	21	630	47.4%
～ 12 時間	170	2	2	174	13.1%
～ 24 時間	94	3	1	98	7.4%
～ 2 日	39	3	0	42	3.2%
～ 3 日	14	0	0	14	1.1%
～ 7 日	9	0	0	9	0.7%
～ 14 日	2	0	0	2	0.2%
15 日以上または不明	293	52	15	360	27.1%
計	1,183	107	39	1,329	100%

17. 年代ごとの男女別死亡数

年 代	男性生存数	女性生存数	男性心死数	女性心死数	男 性 その他死数	女 性 その他死数	合 計
20 代以下	3	0	0	0	0	0	3
30 代	18	3	0	0	0	0	21
40 代	66	9	3	0	1	1	80
50 代	143	20	6	2	5	1	177
60 代	224	32	9	3	3	2	273
70 代	269	88	25	9	7	2	400
80 代	144	87	18	18	4	5	276
90 才以上	25	38	4	10	0	7	84
計	892	277	65	42	20	18	1,314

※性別不明：2 ※年齢不明：13

18. 責任血管ごとの生死別患者数

部位	生存例	心死例	その他死	合 計
#1	135	7	3	145
#2	110	6	2	118
#3	108	3	2	113
#4	39	1	0	40
#5	45	11	2	58
#6	233	24	12	269
#7	203	10	5	218
#8	15	0	1	16
#9	28	1	2	31
#10	4	0	0	4
#11	55	4	2	61
#12	28	2	0	30
#13	69	2	0	71
#14	24	0	0	24
#15	14	0	1	15
H そ 狭 不	L の な し 明	5 27 13 28	0 3 2 31	5 30 15 66
計	1,183	107	39	1,329

19. 発症から心死亡までの期間

	心 死 例
12 時 間 未 満	20
24 時 間 未 満	11
48 時 間 未 満	8
72 時 間 未 満	9
5 日 未 満	14
10 日 未 満	8
そ れ 以 上	24
不 明	13
計	107

20. 死亡例と致命率

	昭54	昭55	昭56	昭57	昭58	昭59	昭60	昭61	昭62	昭63	平1	平2	平3	平4	平5
男性心死亡	27	27	46	66	45	53	49	54	53	57	49	61	46	40	42
女性心死亡	9	15	19	36	30	26	26	26	45	31	41	34	36	35	34
不明															
計	36	42	65	102	75	79	75	80	98	88	90	95	82	75	76
全症例	181	242	337	391	442	447	443	532	696	600	647	664	668	750	752
男性	139	176	254	278	318	325	306	371	501	421	452	485	471	547	529
女性	42	66	83	113	124	122	137	161	195	179	195	179	197	203	220
不明															3
致命率(%)	19.9	17.4	19.3	26.1	17.0	17.7	16.9	15.0	14.1	14.7	13.9	14.3	12.3	10.0	10.1

	平6	平7	平8	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	平20
男性心死亡	46	71	58	42	33	46	35	46	45	46	38	30	46	48	46
女性心死亡	23	51	29	28	18	34	25	29	35	40	30	28	34	39	36
不明															1
計	69	122	87	70	51	80	60	75	80	86	68	58	80	87	83
全症例	784	883	819	893	788	969	931	1,004	1,167	1,184	1,080	1,022	1,098	1,261	1,092
男性	571	626	592	637	573	701	678	707	848	847	737	710	759	889	780
女性	203	257	225	256	215	268	253	297	319	337	323	281	280	331	271
不明	10	0	2	0	0	0	0	0	0	0	20	31	59	41	41
致命率(%)	8.8	13.8	10.6	7.8	6.5	8.3	6.4	7.5	6.9	7.3	6.3	5.7	7.3	6.9	7.6

	平21	平22	平23	平24	平25	平26	平27	平28	平29	平30	令1	令2	令3	合計
男性心死亡	57	65	57	38	53	61	56	76	67	79	74	52	65	2,191
女性心死亡	43	33	28	23	28	32	35	42	34	32	49	42	42	1,385
不明	4	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	10
計	104	101	85	61	81	93	91	118	101	111	123	96	107	3,586
全症例	1,092	1,135	1,084	1,044	1,159	1,115	1,106	1,157	1,166	1,252	1,265	1,234	1,329	37,905
男性	730	725	807	810	935	886	830	889	888	973	968	906	988	27,563
女性	323	302	277	234	224	229	276	268	278	279	297	320	339	9,978
不明	39	108	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	2	364
致命率(%)	9.5	8.9	7.8	5.8	7.0	8.3	8.2	10.2	8.7	8.9	9.7	7.8	8.1	9.5

II 再灌流療法の検討

1. 発症から入院までの時間別にみた再灌流療法の現状

	IV-T のみ	IV-T+ rescue PCI	IC-T のみ	IC-T+ rescue PCI	Primary PCI	(POBA のみ)	(BMS)	(DES)	(その他)	再灌流 なし
発症 3 時間未満	6	0	0	0	387	(41)	(1)	(333)	(11)	37
6 時間 未 満	2	0	0	0	296	(26)	(0)	(260)	(8)	18
12 時間 未 満	0	0	0	0	189	(16)	(0)	(165)	(9)	12
24 時間 未 満	1	1	0	0	91	(14)	(0)	(73)	(4)	9
48 時間 未 満	0	0	0	0	32	(3)	(0)	(28)	(0)	7
72 時間 未 満	1	0	0	0	11	(4)	(0)	(7)	(0)	3
それ 以 上	1	1	0	0	7	(3)	(0)	(3)	(1)	5
不 明	0	0	0	0	158	(12)	(1)	(140)	(4)	38

経静脈的冠動脈血栓溶解療法 (IV-T)、経皮的冠動脈血栓溶解療法 (IC-T)、経皮的冠動脈形成術 (PrimaryPCI)

2. 再灌流療法と心臓病死数

	生存例	心死例	心死率	その他死例
IV-T のみ	6	4	40.0%	1
IV-T+rescuePCI	2	0	0.0%	0
IC-T のみ	0	0	-	0
IC-T+rescuePCI	0	0	-	0
PrimaryPCI	1,070	69	6.1%	32
(POBA のみ)	(106)	(10)	(8.6%)	(3)
(BMS)	(2)	(0)	(0.0%)	(0)
(DES)	(926)	(56)	(5.7%)	(27)
(その他)	(33)	(3)	(8.3%)	(1)
再灌流なし	93	30	24.4%	6
計	1,171	103	8.1%	39

3. 最大CPK値

CPK 値	例 数	%
2,000 未満	855	64.3%
4,000 未満	262	19.7%
6,000 未満	114	8.6%
6,000 以上	87	6.5%
不明 (記載なし)	11	0.8%
計	1,329	100%

急性心筋梗塞調査報告書
—令和3年分—（第43刷）

発行日 2022年10月
発行 東北大学病院循環器内科

〒980-8574 宮城県仙台市青葉区星陵町1番1号
電話番号 022-717-7153
F A X 022-717-7156

印刷 宮城文化協会
〒981-0932 宮城県仙台市青葉区木町5番29号

〔この報告書の無断転載を禁じます〕

宮城県脳卒中発症登録 2021 年

公益財団法人宮城県対脳卒中協会

みやぎ県南中核病院 脳卒中センター長・脳神経外科主任部長

井上敬

2015年までの登録内容

1. 症例氏名もしくはID
2. 性別
3. 年齢
4. 生年月日
5. 入院月日
6. 病型
7. 入院時意識障害度
8. 退院時ADL
9. 市町村

2016年以後の症例登録項目

1. 症例ID(2021年から削除)
2. 性別
3. 年齢
4. 生年月日(2021年から削除)
5. 入院月日
6. 病型
7. 脳梗塞分類
8. 脳梗塞治療
9. くも膜下出血治療
10. 脳内出血治療
11. 血管奇形治療
12. もやもや病治療
13. 発症前抗血栓薬
14. 入院時意識障害度
15. 退院時ADL
16. 市町村

登録協力施設(順不同)

1. 東北大学高度救命センター
2. 広南病院
3. 仙台医療センター
4. 仙台市立病院
5. 仙台徳洲会病院脳神経外科
6. 大崎市立病院脳神経外科
7. 古川星陵病院脳神経外科(2022年未提出)
8. 公立気仙沼病院脳神経外科(2022年未提出)
9. 石巻日赤病院
10. 仙石病院
11. 坂総合病院(2022年未提出)
12. 赤石病院
13. 南東北病院脳神経外科
14. 宮城病院脳神経外科
15. みやぎ県南中核病院
16. 公立刈田病院脳神経内科(2022年未提出)
17. 東北医科薬科大学
18. 東北労災病院脳卒中科
19. 仙台東脳神経外科病院
20. 泉病院脳卒中科
21. イムス仙台病院脳神経外科

Modified Rankin Scale (mRS)

0. まったく症候がない
1. 症候はあっても明らかな障害はない：日常の勤めや活動は行える
2. 軽度の障害： 発症以前の活動がすべて行えるわけではないが、自分の身の回りのことは介助なしに行える
3. 中等度の障害： 何らかの介助を必要とするが、歩行は介助なしに行える
4. 中等度から重度の障害： 歩行や身体的要求には介助が必要である
5. 重度の障害： 寝たきり、失禁状態、常に介護と見守りを必要とする
6. 死亡

従前のごとく、2021 年 1 月-12 月の期間に、宮城県内の病院に入院した脳卒中症例を集計した。宮城県内で脳卒中症例が入院すると想定される施設は 21 施設あるが（P2 登録協力施設）、今年度は 17 施設から 5883 例が登録された。

表 1 に施設毎の登録数を示す。登録総数は微増であるが、登録施設が 18 施設から 17 施設に減少したことを加味すると実際の発症数は明らかに増加していると考えられる。脳卒中疾患は決して過去の疾患ではなく、また既に予防法が確立し、その手段が奏功している状態とは考えられない。施設ごとの推移では、広南病院が 300 例以上増加しており、脳卒中症例の集約化が進んでいると考えられる。

表 2 に市町村ごとの発症数を示す。今年度から郡による区分をなくし、すべて市町村で分類した。発症数そのものには特段の変化は見られなかった。このことから大規模施設への症例集約化が想定される。

表 3 に 2021 年の施設毎の、表 4 に市町村毎の病型別症例数を示す。また図 1-3 に、脳卒中三大類型である、脳梗塞・脳内出血・クモ膜下出血毎にわけたグラフを示す。脳梗塞は 100 例以上入院している施設が多数見受けられる。脳内出血も同様に 50-100 例前後の症例を有する施設が多い。その一方でくも膜下出血症例は広南病院、大崎市民病院、仙台医療センター、石巻日赤病院で県内症例の 78%を締めており、症例集約化が最も著明な疾患と考えられる。

表 5 に市町村毎の収容施設を示す。これを二次医療圏毎に、患者住所と入院施設との関係を整理したのが表 6、シェーマで示したのが図 4 である。大崎栗原医療圏、石巻登米気仙沼医療圏はほぼ医療圏での治療が行われている。しかし仙南医療圏からは 570 例の患者のうち 149 例、26%の患者が仙台医療圏に入院している。脳卒中は速やかな治療が望まれる疾患であり、脳卒中・循環器病対策基本法においても、二次医療圏ごとに高度な脳卒中治療が行われる組織・人員を整備することが要求されている。仙南医療圏には脳卒中専門医が 1 人しか常勤しておらず、そのことが仙南医療圏から仙台医療圏への過度な患者流出が起きているものと予想される。仙南医療圏への早急かつ十分な人員配置を行うことが望まれる。

表 7 は主要病型毎の年次登録数、表 8 はその割合を性別に示す。また図 5 は 2007 年と 2021 年の病型毎の登録数をグラフ化した。2007 年に比べ 2021 年は脳梗塞の症例数が大幅に増加しているのがわかる。くも膜下出血、脳内出血は僅かな減少にとどまっている。脳卒中に占めるくも膜下出血、脳内出血の割合は減少しているが、決して疾患そのものが減少しているとは言えない状況である。

図 6-8 は 2021 年のくも膜下出血、脳内出血、脳梗塞の年齢分布を示す。発症年齢中央値はくも膜下出血 66 歳、脳内出血は 72 歳、脳梗塞は 78 歳であった。グラフからも明らかなように、くも膜下出血、脳内出血に比べ、脳梗塞では 75 歳以上の後期高齢者の総数・割合がともに高く、超高齢社会を反映した結果であると考えられる。

図 9-11 にくも膜下出血、脳内出血、脳梗塞の 2007 年からの男女別平均年齢の推移を示す。傾向としては特段の変化はみられない。脳内出血、脳梗塞において、2007 年に比べ発症年齢は明らかに高齢化している。背景人口も高齢化していることを加味すると、このデータからも脳卒中発症・再発予防が効果的に行われているとは考えられない。

次に、くも膜下出血、脳内出血、脳梗塞それぞれの疾患別に背景因子・転帰を解析した結果を示す。

○くも膜下出血

図 12 に治療法毎の年齢分布を、図 13 に入院時意識障害と治療法との関係を示す。保存的治療が有意に高齢であったが、血管内治療・開頭術では年齢、入院時意識障害に有意差はみられなかった。以前は、血管内治療は高齢者で重症例に多く施行されていたが、現在ではくも膜下出血根治術の第一選択となっているためと考えられる。

図 14、15 に退院時 ADL と年齢・入院時意識障害との関係を示した。高齢者で入院時 ADL が低い症例で、それぞれ転帰が不良であった。表 9 にはこれらの因子を含め、治療法・性別・発症前抗血栓療法の有無を多変量解析した結果を示す。その結果、治療法による転帰の差は認められなかった。年齢・入院時意識障害が独立した転帰不良因子であった。

○脳内出血

図 16 に脳内出血に対する治療法の割合を示した。以前は開頭血腫除去術が治療の主体を占めていた時代もあったが現在では開頭血腫除去術が占める割合は7%程度であった。図 17 には脳内出血の治療法と退院時転帰を示した。必ずしも手術症例の転帰が良いわけではないことが示された。また脳室ドレナージのみを施行した症例の転帰は不良であった。これらのことから、脳内出血の手術適応は慎重に判断されなくてはならないと思われる。表 10 には脳内出血の退院時転帰と性別・年齢・治療法・発症前抗血栓薬の有無・入院時 JCS との関係が多変量解析した結果を示す。脳内出血の退院時転帰に影響する因子は年齢と入院時 JCS のみであった。脳内出血の治療は保存的治療が85%を占めており、必要時に外科的治療が施行されるシステムを整備しておけば、すべての症例で脳神経外科医がその治療を担う必要はないと判断される。また、ここには示さなかったが、脳内出血の転帰は施設毎のばらつきが大きく、このことから脳卒中専門医・脳卒中センターの適切な配置が望まれる。

○脳梗塞

図 18 に脳梗塞分類ごとの発症年齢を示した。分散分析で有意差があることを確認の上、各分類の有意差を確認した。アテローム血栓性、心原性塞栓はラクナ梗塞に比べ有意に高齢であった。

図 19 に一過性脳虚血発作の退院時 mRS を示す。一過性脳虚血発作は脳梗塞の前兆ともいわれ、発作から短期間に脳梗塞をきたす症例があることが知られている。適切な治療介入がなされないと重篤な後遺症が残る可能性のある疾患である。28%の症例で mRS が 2 以上となっており、今後の検討が必要な分野である。ここには示さないが、一過性脳虚血発作の転帰も施設毎のばらつきが多く、適切な脳卒中専門医・脳卒中センターの配置が重要と思われる。

図 20 に脳梗塞治療の割合を示す。88%の症例が従来の薬物療法のみを選択されていた。tPA および血栓回収療法が施行された症例はそれぞれ 5%、3% であった。開頭減圧術は 2021 年には 14 例が施行されたのみであった。図 21 には 2016 年からの tPA および血栓回収療法施行数（上段）および全脳梗塞症例数に対する割合（下段）を示す。症例数は増加傾向にあるものの、その割合は決して増えてはいない。脳梗塞における血管内治療の重要性は今後も高まっていくことが予想される。宮城県内でも各二次医療圏毎の適切な脳神経血管内治療専門医の配置が望まれる。

表 11 に脳梗塞症例の退院時 ADL に及ぼす因子の多変量解析結果、図 22 に治療法毎の退院時 ADL を示す。高齢であるほど、入院時意識障害が強いほど退院時転帰が不良であった。また脳梗塞治療法も転帰予測因子であり、tPA に加え血栓回収療法を行った群が最も転帰良好で、ついで従来治療群であった。このことから、脳梗塞治療に対する血管内治療の重要性が伺える。

図 22 に発症前抗血栓療法の内容を示す。初発・再発のデータが無いために詳細は不明であるが、多様な抗血栓療法が行われていた。各施設のばらつきが多い項目でもあり、今後の検討が必要である。ただし、くも膜下出血、脳内出血においては発症前抗血栓療法の有無は多変量解析において、入院時意識障害や転帰への影響は認められなかった。

まとめ

本登録研究の 2021 年分結果から下記のことが明らかとなった。

- 宮城県内の脳卒中発症は増加していること
- 特に脳梗塞が増加し高齢者の割合が多いこと
- くも膜下出血では治療施設の集約化がすすんでいること
- 仙南医療圏から仙台医療圏への患者流入が過剰なこと
- 内科治療・血管内治療・外科治療が行える施設・人員の配置が不均衡であること
- 脳内出血に対する開頭血腫除去術、脳室ドレナージ術は患者転帰を改善しないこと
- 脳内出血治療、抗血栓療法の内容などにおいて施設間のばらつきが大きいこと
- 一過性脳虚血発作の転帰が予想以上に悪く改善の余地があること
- tPA、血栓回収療法が十分行われているとは言えない状況であること

一方、本登録事業を臨床的・科学的に有意義なものとするためにはいくつか改善が必要な点がある。

- 年末に前年のデータを集計している点
 - 脳卒中領域において 2 年前のデータの有効性は限定的

- データ入力者のモチベーション低下
- 参加施設減少
- データ入力方法が未整備で用語の統一がなされていないこと
 - 女性/F、加療/治療、脳出血/脳内出血など

今後の方針

- 前向き前例登録
- MMWIN やファイルメーカークラウド、Japan Neurosurgical Database などのクラウドデータベース活用
- AI を用いた治療方針決定システム構築
 - 症例データ（年齢・性別・疾患など）を入力し、過去データベースから最適治療を提案する
- 他施設と比較することによる自施設の現状
 - 自施設の治療方針が適切か
- 脳卒中専門医・脳卒中センター配置の適正化
 - 人事権者や行政トップ、施設整備部門への提言
 - 高規格道路・ヘリポートの設置提案
- 入力件数に応じたインセンティブ・入力作業の外部委託
 - 予算申請

表 1 参加施設別症例登録数 (2007~2021)

登録参加施設	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
東北大学病院			103	154	145	121	91	145	111	134	128	120	142	111	112
大崎市民病院	273	407	365	418	532	515	538	540	586	564	639	633	638	602	591
総合南東北病院	355	379	395	316	279	284	314	303	345	249	290	291	274	278	325
泉病院	338	239	234	194	205	150			229	235		156	183	156	188
仙台医療センター	597	575	548	505	496	555	552	534	579	612	596	616	566	587	575
赤石病院	113			71	56				15	30	23	30	31	40	38
石巻赤十字病院	244	246	246	292	328	296	290	276	491	532	492	546	573	628	561
坂総合病院			68	46	37	35	63	138	208	189	195				
広南病院	1063	1080	1193	1308	1135	1209	1044	1120	1219	1101	1121	1080	1023	1034	1360
仙台市立病院	215	183			146	144	124	110	109	89	124	110	102	111	118
古川星陵病院	291	288	187	205	189	169	129	147	175	129	140				
宮城病院			171	136	173	155	109	110	70	94	27	72	60	50	25
気仙沼市立病院	169	129	179	191	205		173	182	210		153			131	
刈田病院	85	59	58	69	45	55	45	35	2						
仙石病院		107					403	412	376	400	408	384	352	341	384
仙台徳州会病院	0	159	301		400	312	281		144			199	220	267	219
みやぎ県南中核病院	413	353	391	493	394	460	419	421	453	476	423	444	414	476	445
東北医科薬科大学病院									156	146	145	157	201	217	227
東北労災病院									21	41	41	63	63	50	58
仙台東脳神経外科病院									694	739	782	642	670	672	573
イムス明理会仙台病院												91	81	93	84
総計	4156	4204	4439	4398	4735	4460	4575	4473	6193	5760	5727	5634	5593	5844	5883

表 2 市町村別発症登録数年次推移 (2007~2021)

市町村	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
仙台市	1640	1683	1674	1474	1888	1899	1503	1402	2374	2135	1921	2315	2190	2223	2418
栗原市	82	113	101	122	119	130	119	142	142	124	140	107	104	124	121
気仙沼市	129	113	166	183	191	11	168	173	195	12	159	22	28	237	25
登米市	85	86	99	125	157	161	179	149	177	210	183	200	226	151	189
大崎市	286	356	269	290	336	318	352	330	370	367	404	312	318	305	309
富谷市										72	62	88	73	95	85
石巻市	196	251	181	208	250	199	393	375	512	531	553	550	524	530	564
東松島市	22	39	34	31	27	26	95	120	130	142	138	131	124	134	143
塩竈市	104	41	78	86	78	49	86	93	194	202	201	128	161	184	176
多賀城市	58	49	61	77	61	43	67	70	171	177	171	117	103	150	171
名取市	181	169	198	184	166	157	158	135	160	157	201	171	152	161	159
岩沼市	132	161	132	118	131	108	130	128	133	107	120	120	121	122	132
白石市	87	71	74	106	87	112	106	86	72	95	83	90	93	108	116
角田市	107	88	119	121	93	112	108	114	117	109	106	119	104	109	82
加美郡	93	105	75	111	100	111	84	95	128	105	128	79	91	111	
色麻町															16
加美町															58
遠田郡	62	92	72	70	87	87	121	117	131	115	150	143	146	35	
涌谷町															38
美里町															74
本吉郡	43	24	20	27	20	9	32	23	46	18	29	21	31	25	
南三陸町															34
牡鹿郡	15	25	12	14	13	11	17	20	21	37	23	24	32	84	
女川町															24
黒川郡	103	115	139	77	157	113	94	69	185	92	67	91	73	77	
大和町															43
大郷町															21
大衡村															3
宮城郡	93	45	82	98	97	33	66	104	165	202	255	155	201	202	
松島町															52
利府町															79
七ヶ浜町															66
柴田郡	307	279	274	311	258	346	263	268	299	293	251	261	303	278	
大河原町															70
村田町															34
柴田町															143
川崎町															28
刈田郡	39	32	52	56	32	43	43	35	35	45	35	41	6	43	

蔵王町																38
七ヶ宿町																3
亘理郡	105	107	213	193	190	119	154	165	140	143	131	161	141	135		
亘理町																103
山元町																42
伊具郡	56	40	57	80	70	60	49	54	54	53	51	40	42	49		
丸森町																56
県外	116	117	253	236	220	210	188	206	241	217	148	145	195	171	153	
不明	15	3	4		7				1		17	3	11	1	12	
総計	4156	4204	4439	4398	4835	4460	4575	4473	6193	5760	5727	5634	5593	5844	5883	

表 3 登録施設と登録病型(2021)

施設名	病型							合計
	脳梗塞	脳内出血	くも膜下出血	一過性脳虚血発作	血管奇形	もやもや病	その他	
イムス明理会	57	15	4	7	1	0	0	84
みやぎ県南中核	325	89	14	14	3	0	0	445
広南病院	754	81	135	0	18	33	339	1360
仙台医療センター	347	147	51	21	9	0	0	575
宮城病院	20	4	0	1	0	0	0	25
南東北病院	261	41	11	5	6	1	0	325
石巻赤十字病院	354	125	40	10	1	0	31	561
赤石病院	31	7	0	0	0	0	0	38
仙石病院	303	50	15	13	3	0	0	384
仙台市立病院	0	98	15	0	3	1	1	118
仙台東脳神経外科病院	455	78	8	29	3	0	0	573
仙台徳洲会病院	165	51	0	3	0	0	0	219
泉病院	164	20	0	4	0	0	0	188
大崎市民病院	327	149	64	21	0	2	28	591
東北医科薬科大学病院	161	35	8	11	11	1	0	227
東北大学病院	54	46	11	1	0	0	0	112
東北労災病院	50	7	0	1	0	0	0	58
合計	3828	1043	376	141	58	38	399	5883

表 4 市町村別病型(2021)

市町村	病型							合計
	脳梗塞	脳内出血	くも膜下出血	もやもや病	一過性脳虚血発作	血管奇形	その他	
塩竈市	107	47	10	1	9	1	1	176
加美町	32	12	7	1	0	0	6	58
角田市	59	16	4	0	1	0	2	82
丸森町	40	10	5	0	1	0	0	56

岩沼市	101	17	7	1	1	1	4	132
気仙沼市	14	2	4	1	0	3	1	25
宮城県外	41	17	11	11	3	6	64	153
栗原市	59	33	16	0	1	2	10	121
山元町	33	3	1	0	0	0	5	42
七ヶ宿町	2	1	0	0	0	0	0	3
七ヶ浜町	48	11	3	1	3	0	0	66
柴田町	107	27	5	0	2	0	2	143
女川町	17	3	0	0	0	1	3	24
松島町	34	12	1	0	2	1	2	52
色麻町	11	3	1	0	0	0	1	16
石巻市	389	100	33	1	13	2	26	564
仙台市	1608	410	133	11	53	27	176	2418
川崎町	22	2	0	0	0	0	4	28
蔵王町	25	9	2	0	2	0	0	38
村田町	24	2	5	0	2	1	0	34
多賀城市	116	31	16	0	3	2	3	171
大河原町	54	7	7	0	1	0	1	70
大郷町	16	3	1	0	0	0	1	21
大衡村	1	1	1	0	0	0	0	3
大崎市	180	66	31	3	17	0	12	309
大和町	29	7	2	0	0	2	3	43
登米市	95	47	18	1	8	2	18	189
東松島市	104	22	10	0	1	0	6	143
南三陸町	27	6	0	0	0	0	1	34
白石市	81	17	8	0	4	4	2	116
美里町	46	17	6	1	1	0	3	74

不明	10	2	0	0	0	0	0	12
富谷市	53	17	3	2	1	0	9	85
名取市	95	29	14	0	1	1	19	159
涌谷町	23	8	2	1	2	1	1	38
利府町	49	14	5	0	5	0	6	79
陸前高田市	1	0	0	0	0	0	2	3
亘理町	75	12	4	2	4	1	5	103
合計	3828	1043	376	38	141	58	399	5883

図1：施設毎の脳梗塞症例数

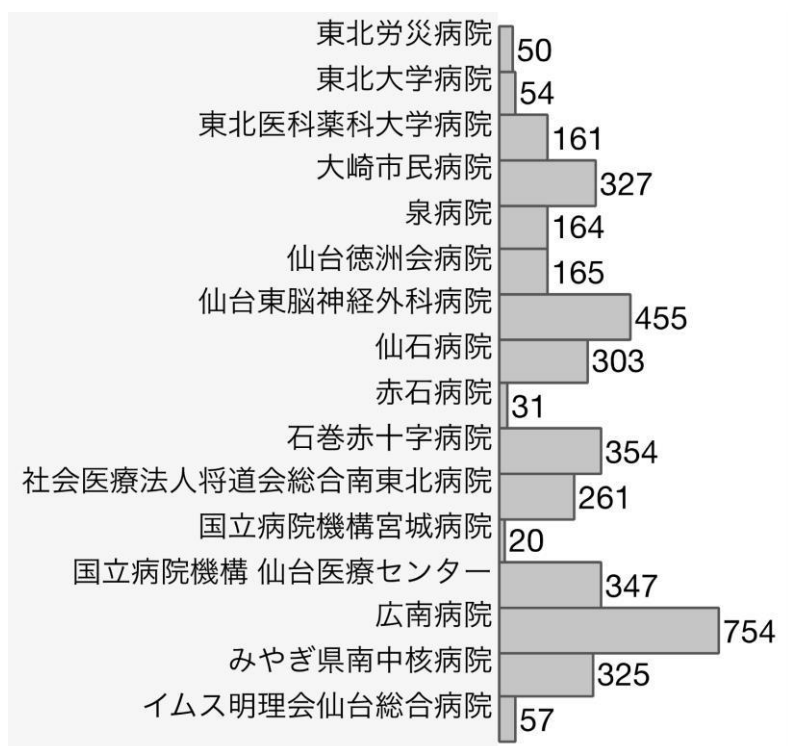


図2：施設毎の脳内出血症例数

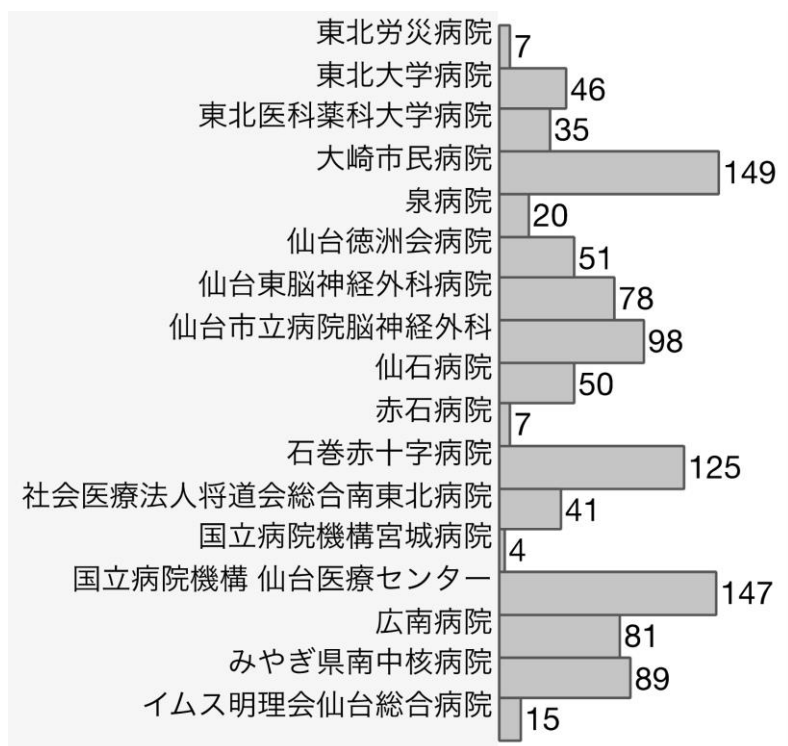


図3：施設毎のくも膜下出血症例数

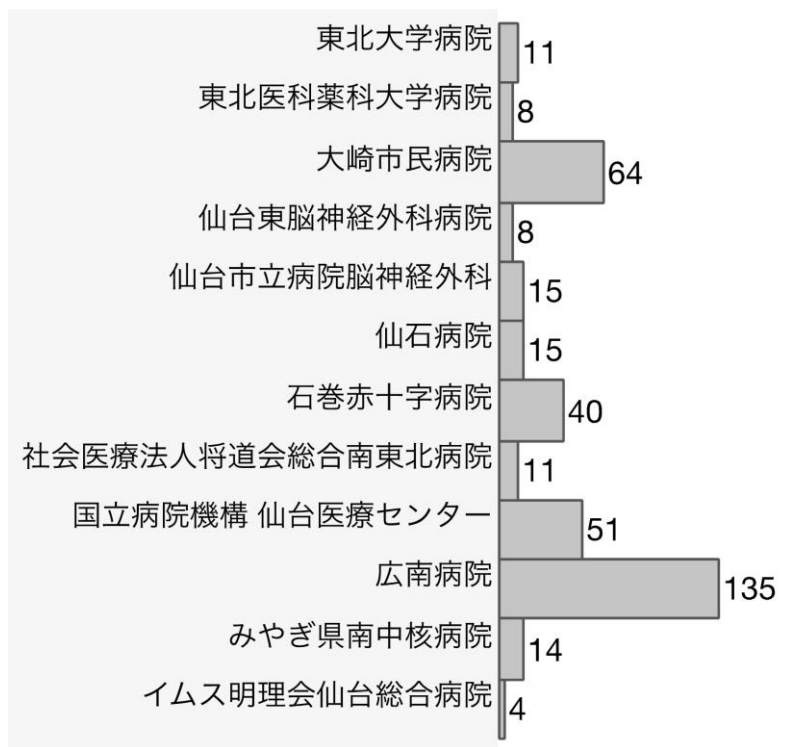


表 5 市町村別登録施設（治療施設）（2021）

市町村	イムス	中核 みやぎ県南	広南病院	センター 仙台医療	宮城病院	南東北病院	石巻日赤	赤石病院	仙石病院	仙台市立	仙台東脳外	仙台徳洲会	泉病院	大崎市民	東北医科薬科	東北大学病院	東北労災
塩竈市	0	0	15	44	0	0	1	12	0	1	60	0	0	0	40	3	0
加美町	0	0	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	53	1	0	0
角田市	0	58	11	1	0	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
丸森町	0	46	6	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
岩沼市	0	4	22	2	2	94	0	0	0	3	1	0	0	0	3	1	0
気仙沼市	0	0	8	7	0	0	8	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0
栗原市	0	0	11	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	10 9	0	0	0
山元町	1	1	8	1	8	22	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
七ヶ宿町	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
七ヶ浜町	0	0	10	12	0	0	0	10	0	1	20	1	0	0	12	0	0
柴田町	0	84	12	1	0	46	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
女川町	0	0	0	0	0	0	15	0	8	0	0	0	0	0	1	0	0
松島町	0	0	6	10	0	0	1	3	10	0	17	0	0	0	5	0	0
色麻町	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14	0	0	0
石巻市	0	0	16	3	0	2	31 9	0	21 6	0	1	0	0	3	3	1	0
仙台市	79	10	88 1	389	1	15	2	0	3	95	32 8	17 9	18 7	5	97	91	56
川崎町	0	16	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
蔵王町	0	36	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
村田町	0	28	5	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

多賀城市	0	0	26	42	0	0	0	0	0	1	67	1	0	1	30	3	0
大河原町	0	57	12	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大郷町	0	0	2	2	0	0	0	0	0	2	5	5	0	4	1	0	0
大衡村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0
大崎市	0	0	10	5	0	0	3	0	2	0	4	0	1	28 0	1	3	0
大和町	0	0	11	2	0	0	0	0	0	0	12	13	0	4	1	0	0
登米市	1	0	13	1	0	0	11 3	0	22	0	0	0	0	39	0	0	0
東松島市	0	1	5	1	0	0	49	0	84	0	0	0	0	0	3	0	0
南三陸町	0	0	1	0	0	0	25	0	8	0	0	0	0	0	0	0	0
白石市	0	93	15	2	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
美里町	0	0	2	0	0	0	6	0	15	0	0	0	0	51	0	0	0
富谷市	0	0	19	22	0	0	1	0	0	1	22	17	0	1	1	1	0
名取市	0	1	76	10	0	55	0	0	0	8	0	0	0	0	5	3	1
涌谷町	0	0	1	0	0	0	7	0	16	0	0	0	0	14	0	0	0
利府町	0	0	14	11	0	0	0	3	0	0	33	2	0	0	14	2	0
陸前高田市	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
亶理町	0	5	19	3	5	64	0	0	0	5	0	0	0	0	1	0	1
宮城県外	2	2	10 2	0	8	8	11	0	0	1	0	1	0	10	6	2	0
不明	1	0	0	0	0	0	0	10	0	0	0	0	0	0	0	1	0

表 6 施設・症例の医療圏別症例数

		症例の医療圏						合計	入院 数-発 生数
		石巻登米 気仙沼	仙台	仙南	大崎 栗原	宮城県外	不明		
施設の医療圏	石巻登米気仙沼	867	18	0	49	11	0	945	-34
	仙台	69	3493	149	46	133	12	3902	+35
	仙南	1	21	421	0	2	0	445	-125
	大崎栗原	42	18	0	521	10	0	591	-25
	合計	979	3550	570	616	156	12	5883	2

図 4 医療圏別症例数（上段：入院数、下段：患者居住地）

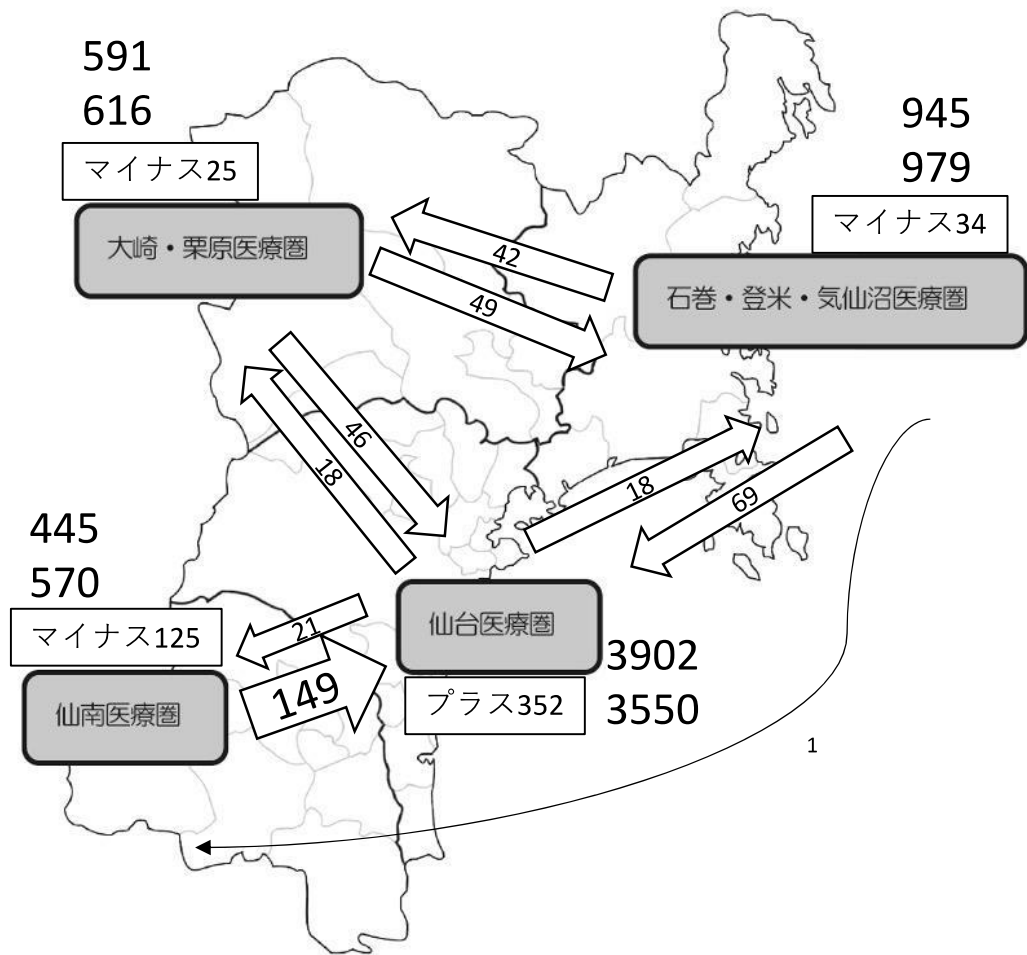


表 7 2007~2021 病型別発症登録数推移

全体															
年	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
くも膜下出血	438	446	400	415	450	421	431	423	473	436	427	433	423	426	376
血管奇形	16	60	44	63	41	50	30	45	55	150	136	101	94	86	58
脳内出血	1093	1043	872	862	1162	1026	1084	983	1243	1114	1187	1196	1027	1156	1043
脳梗塞	2439	2610	2707	2498	2697	2517	2619	2597	3732	3532	3422	3686	3669	3635	3828
モヤモヤ病	11	21	21	27	5	2	4	1	9	12	40	90	57	84	38
その他	159	24	395	533	480	440	407	424	681	516	513	128	323	457	399
総計	4156	4204	4439	4398	4835	4460	4575	4473	6193	5760	5725	5634	5593	5844	5883
女性															
くも膜下出血	300	300	270	275	300	288	281	301	306	294	287	318	285	290	252
血管奇形	5	23	17	24	14	23	14	19	19	81	83	54	52	49	26
脳内出血	504	437	385	360	501	460	465	429	546	515	533	542	469	529	499
脳梗塞	943	1027	1032	961	1082	982	1113	1037	1443	1462	1415	1515	1517	1459	1633
モヤモヤ病	11	11	14	17	3	2	2	1	5	9	25	60	37	60	29
その他	99	11	197	260	215	220	224	231	326	299	273	51	193	257	212
計	1862	1809	1915	1897	2115	1975	2099	2018	2645	2660	2616	2540	2553	2644	2707
男性															
くも膜下出血	138	146	130	140	150	133	150	122	167	142	140	115	138	136	124
血管奇形	11	37	27	39	27	27	16	26	36	69	53	47	42	37	32
脳内出血	589	606	487	502	661	566	619	554	697	599	654	654	558	627	544
脳梗塞	1496	1583	1675	1537	1615	1535	1505	1560	2289	2070	2007	2171	2152	2176	2195
モヤモヤ病		10	7	10	2		2	0	4	3	15	30	20	24	9
その他	60	13	198	273	265	225	183	193	355	217	240	77	130	200	187
計	2294	2395	2524	2501	2720	2485	2475	2455	3548	3100	3109	3094	3040	3200	3176

表 8 2007~2020 性別疾患構成の経年変化

女性	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
くも膜下出血	16.1%	16.6%	14.1%	14.5%	14.2%	14.6%	12.1%	14.9%	11.6%	11.6%	11.0%	12.5%	11.2%	11.0%	9.3%
血管奇形	0.3%	1.3%	0.9%	1.3%	0.7%	1.2%	0.8%	0.9%	0.7%	3.9%	3.2%	2.1%	2.0%	1.9%	0.96%
脳内出血	27.1%	24.2%	20.1%	19.0%	23.7%	23.3%	21.3%	21.3%	20.6%	24.6%	20.4%	21.3%	18.4%	20.0%	18.4%

脳梗塞	50.6 %	56.8 %	53.9 %	50.7 %	51.2 %	49.7 %	53.8 %	51.4 %	54.6 %	69.8 %	54.1 %	59.6 %	59.4 %	55.2 %	60.3
モヤモヤ病	0.6%	0.6%	0.7%	0.9%	0.1%	0.1%	0.1%	0.0%	0.2%	0.4%	1.0%	2.4%	1.4 %	2.3 %	1.1
その他	5.3%	0.6%	10.3 %	13.7 %	10.2 %	11.1 %	11.9 %	11.4 %	12.3 %	14.3 %	9.0%	2.0%	7.6 %	9.7 %	7.8

男性	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
くも膜下出血	6.0%	6.1%	5.2%	5.6%	5.5%	5.4%	5.5%	5.0%	4.7%	5.9%	4.5%	3.7%	5.4 %	5.1 %	3.9
血管奇形	0.5%	1.5%	1.1%	1.6%	1.0%	1.1%	0.7%	1.1%	1.0%	2.9%	1.7%	1.5%	1.6 %	1.4 %	1.0
脳内出血	25.7 %	25.3 %	19.3 %	20.1 %	24.3 %	22.8 %	25.0 %	22.6 %	19.6 %	19.3 %	21.1 %	21.1 %	21.9 %	23.7 %	17.1
脳梗塞	65.2 %	66.1 %	66.4 %	61.5 %	59.4 %	61.8 %	60.8 %	63.5 %	64.5 %	66.8 %	64.7 %	70.2 %	84.3 %	82.3 %	69.1
モヤモヤ病	0.0%	0.4%	0.3%	0.4%	0.1%	0.0%	0.1%	0.0%	0.1%	0.1%	0.5%	1.0%	0.8 %	0.9 %	0.28
その他	2.6%	0.5%	7.8%	10.9 %	9.7%	9.1%	7.9%	7.9%	10.0 %	7.0%	10.4 %	2.5%	5.1 %	7.6 %	5.8

図5：2007年と2021年の比較

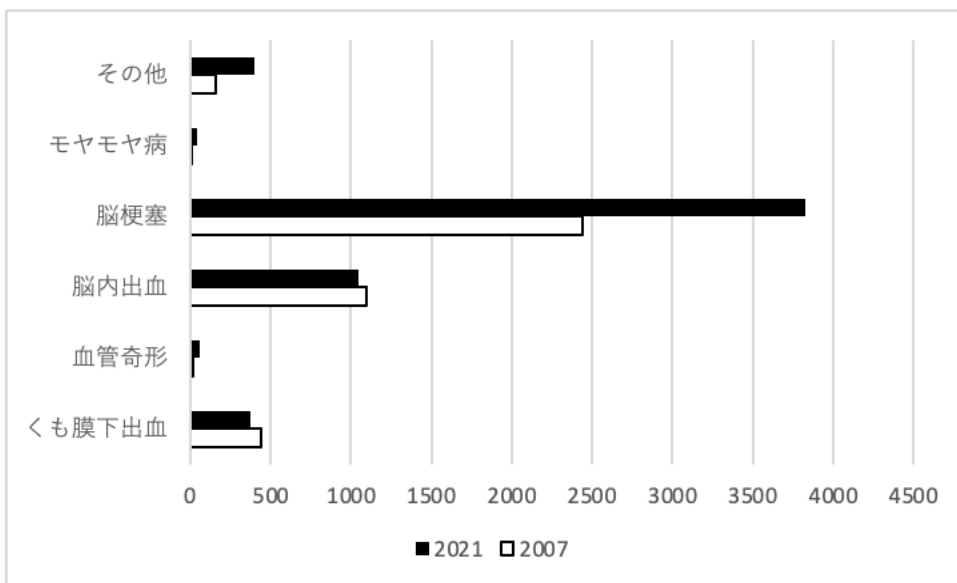
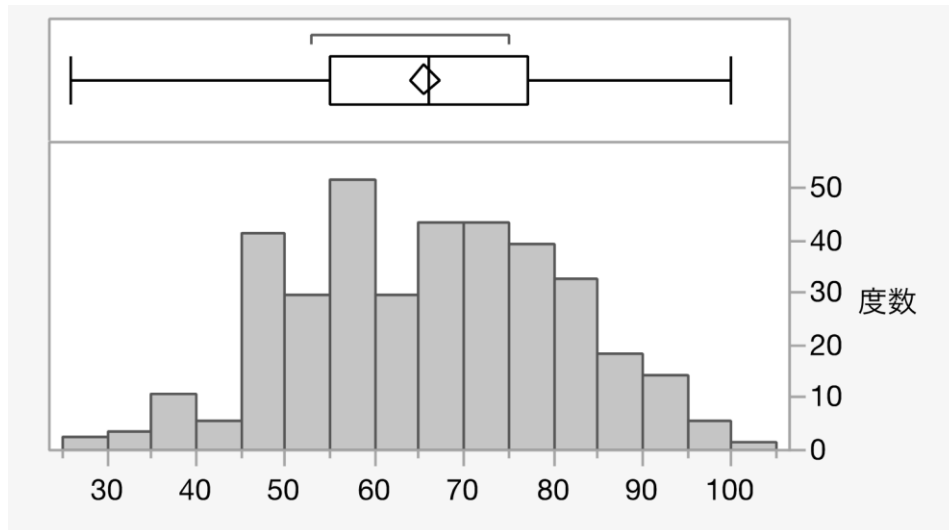
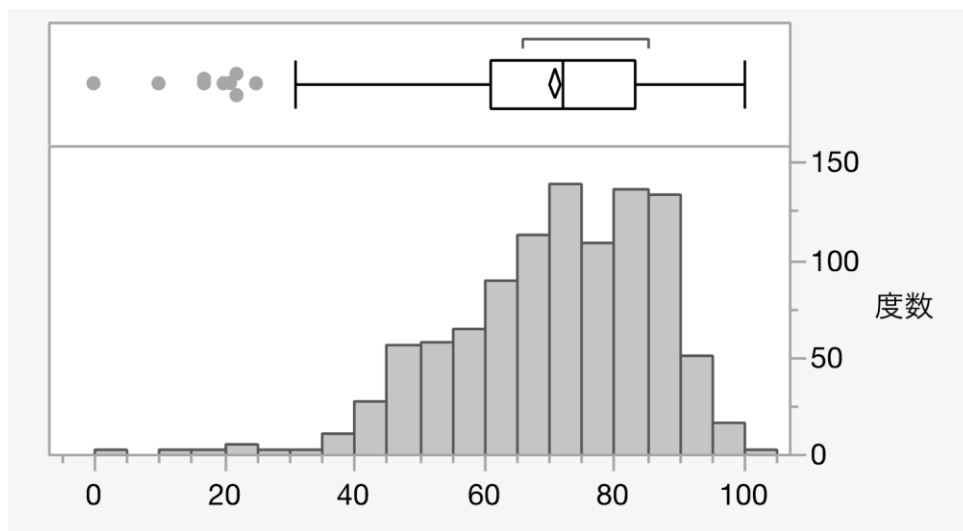


図 6 : 2021 年のくも膜下出血年齢分布



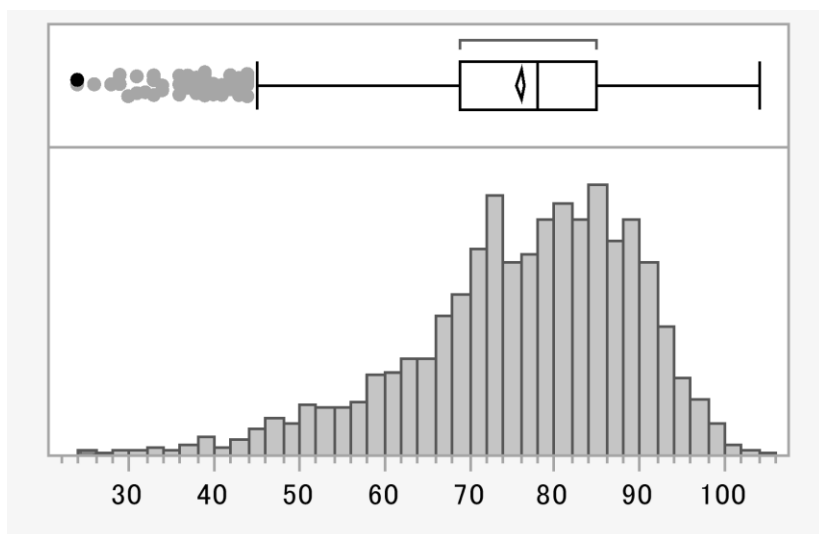
100.0%	最大値	100
99.5%		98.34
97.5%		93
90.0%		86
75.0%	四分位点	77
50.0%	中央値	66
25.0%	四分位点	55
10.0%		47
2.5%		36
0.5%		26.83
0.0%	最小値	26

図 7 : 2021 年の脳内出血年齢分布



100.0%	最大値	100
99.5%		97
97.5%		93.925
90.0%		88
75.0%	四分位点	83
50.0%	中央値	72
25.0%	四分位点	61
10.0%		49
2.5%		41
0.5%		20.015
0.0%	最小値	0

図 8 : 2021 年の脳梗塞年齢分布



100.0%	最大値	104
99.5%		99
97.5%		95.825
90.0%		91
75.0%	四分位点	85

50.0%	中央値	78
25.0%	四分位点	69
10.0%		59
2.5%		46
0.5%		36
0.0%	最小値	24

図9 くも膜下出血 2007~2021 平均発症年齢推移

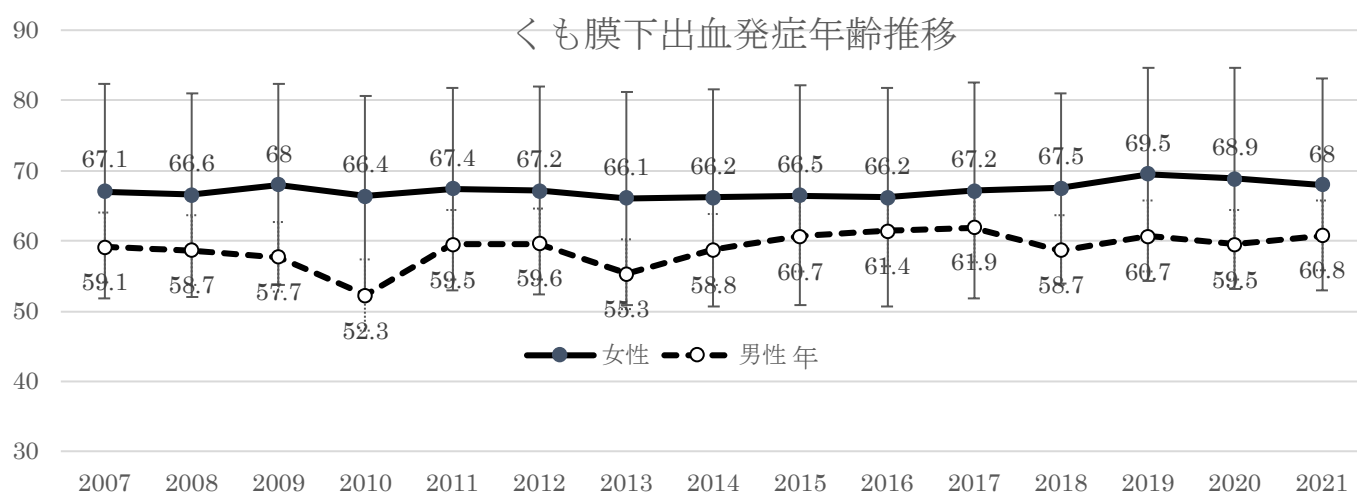


图 10 脑内出血 2007~2021 平均発症年齢推移

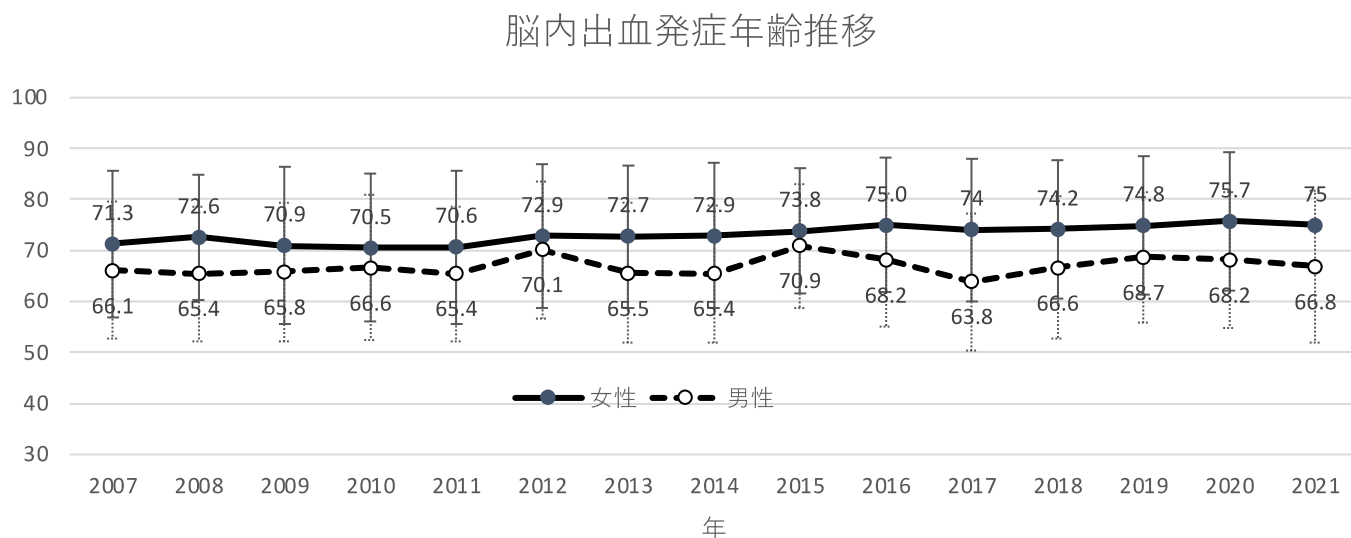
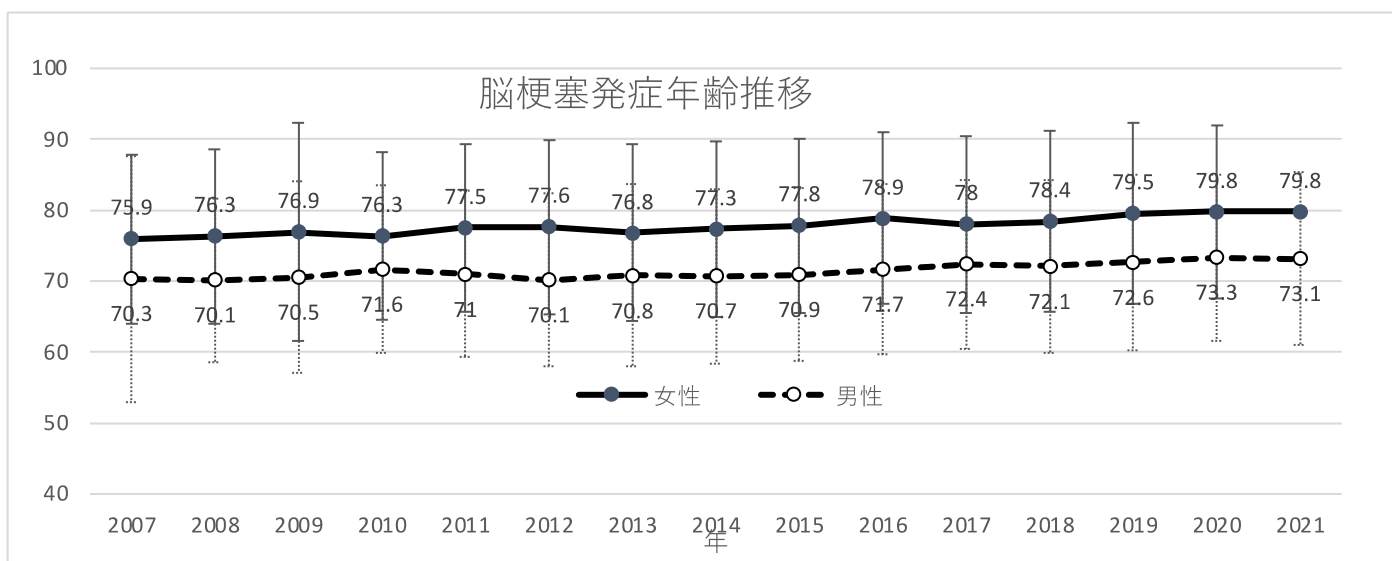


图 11 脑梗塞 2007~2021 平均発症年齢推移



くも膜下出血

図 12 くも膜下出血：治療法毎の年齢分布

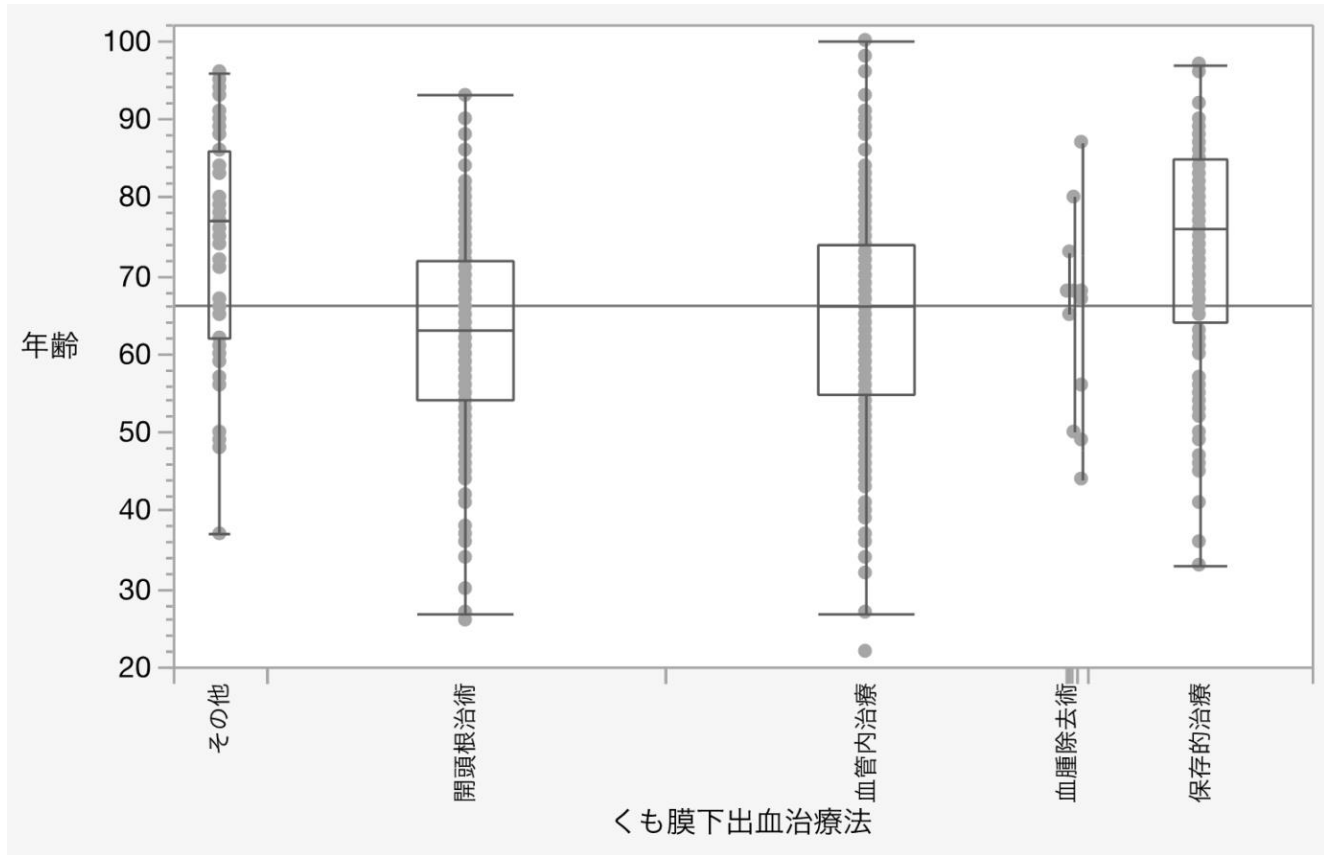


図 13 くも膜下出血：入院時意識障害と治療法

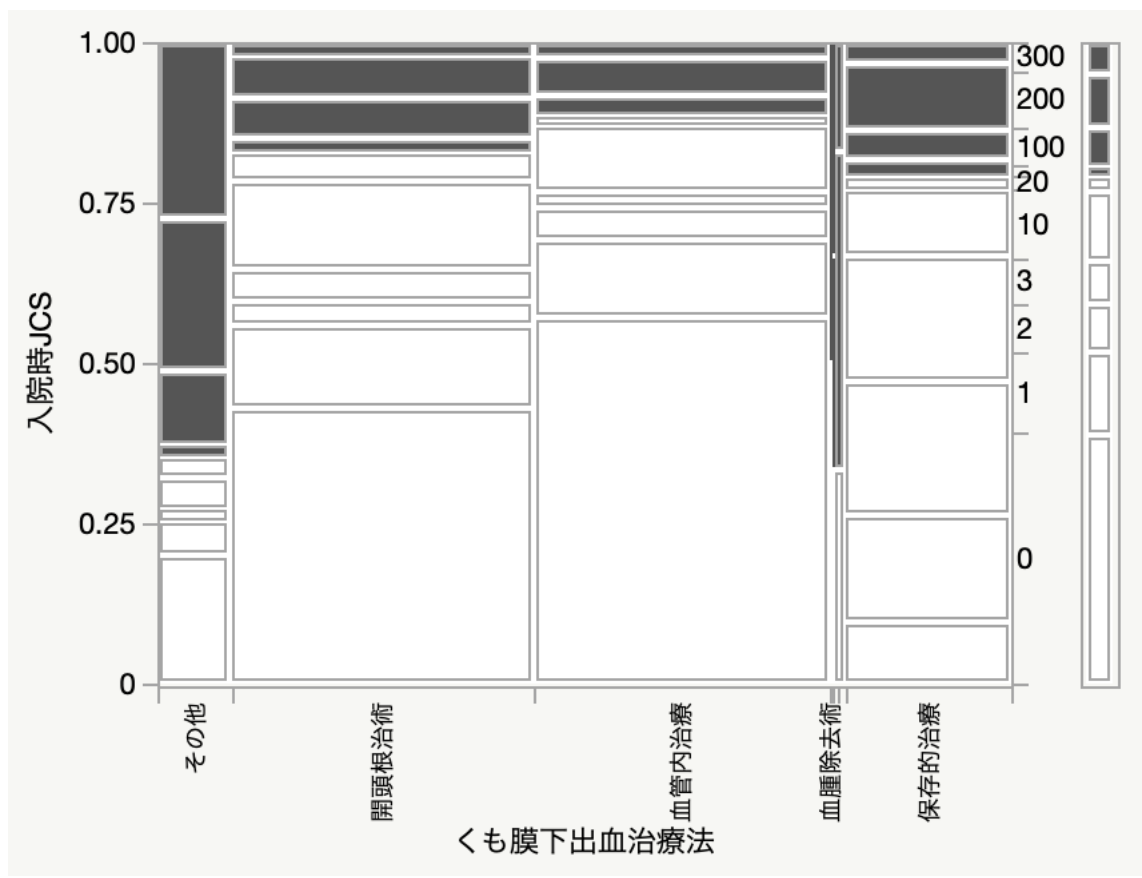


図 14 くも膜下出血 退院時 ADL と平均年齢

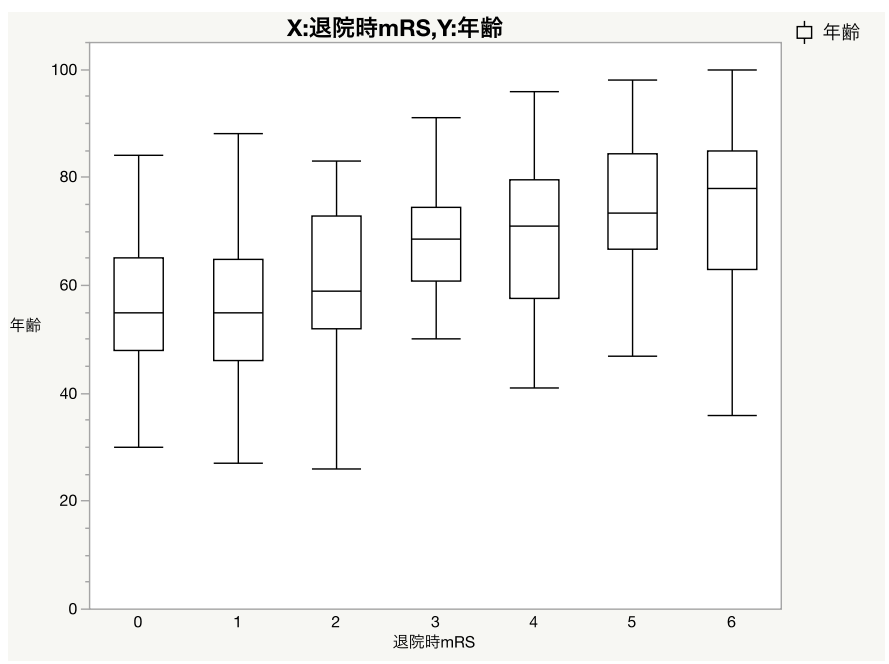


図 15 くも膜下出血 退院時 ADL と入院時 JCS

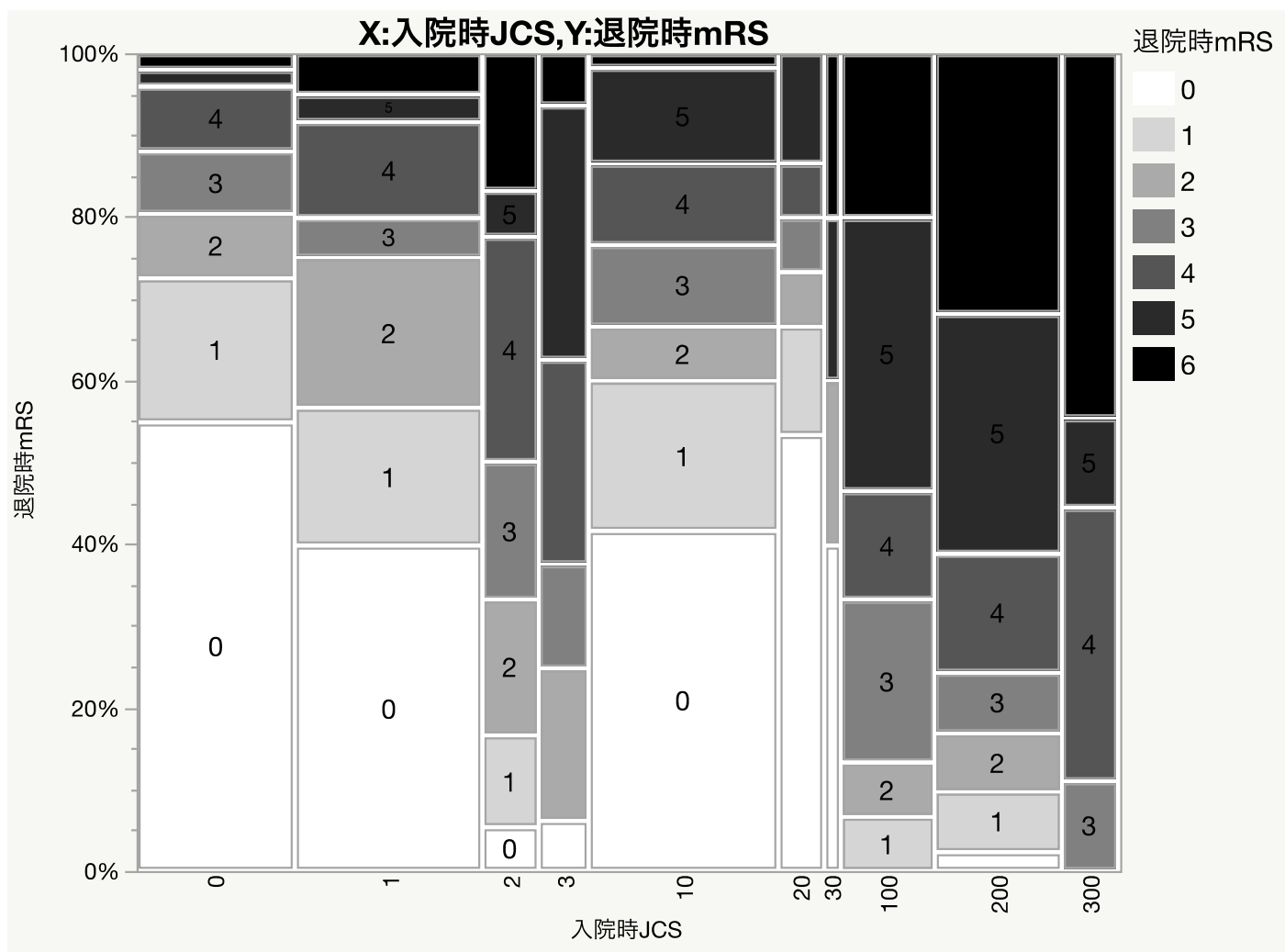


表 9 くも膜下出血：退院時 ADL に及ぼす因子の多変量解析 (効果に対する尤度比検定)

要因	パラメータ数	自由度	尤度比カイ ² 乗	p値(Prob>ChiSq)
発症前抗血栓療法	3	3	3.57981359	0.3106
くも膜下出血治療法	3	3	3.67622319	0.2986
年齢	1	1	18.2574415	<.0001*
性別	1	1	1.82535228	0.1767
入院時JCS	9	9	38.0719442	<.0001*

脳内出血

図 16 脳内出血：治療法ごとの割合

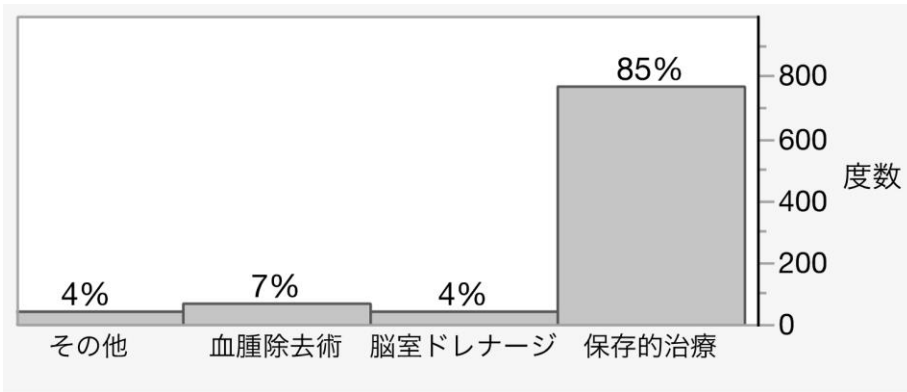


図 17 脳内出血：治療法と転帰

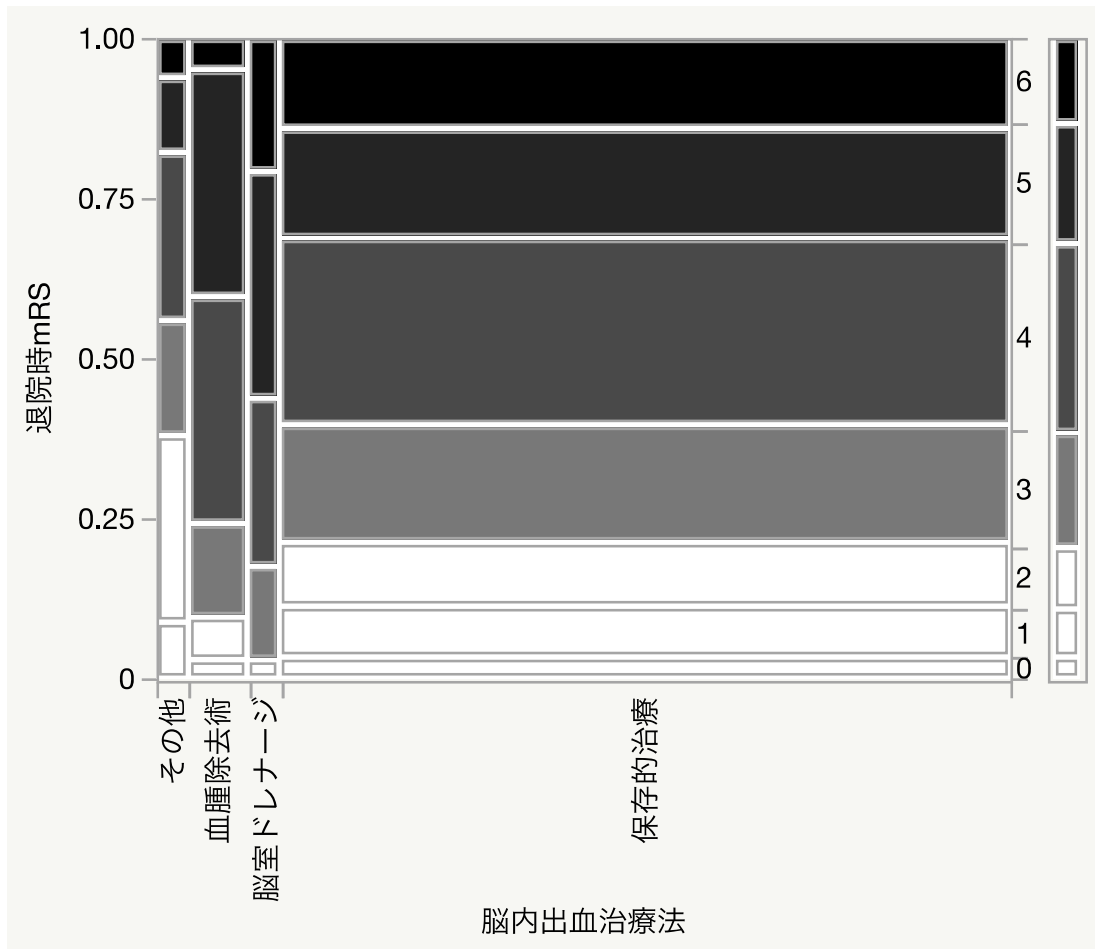
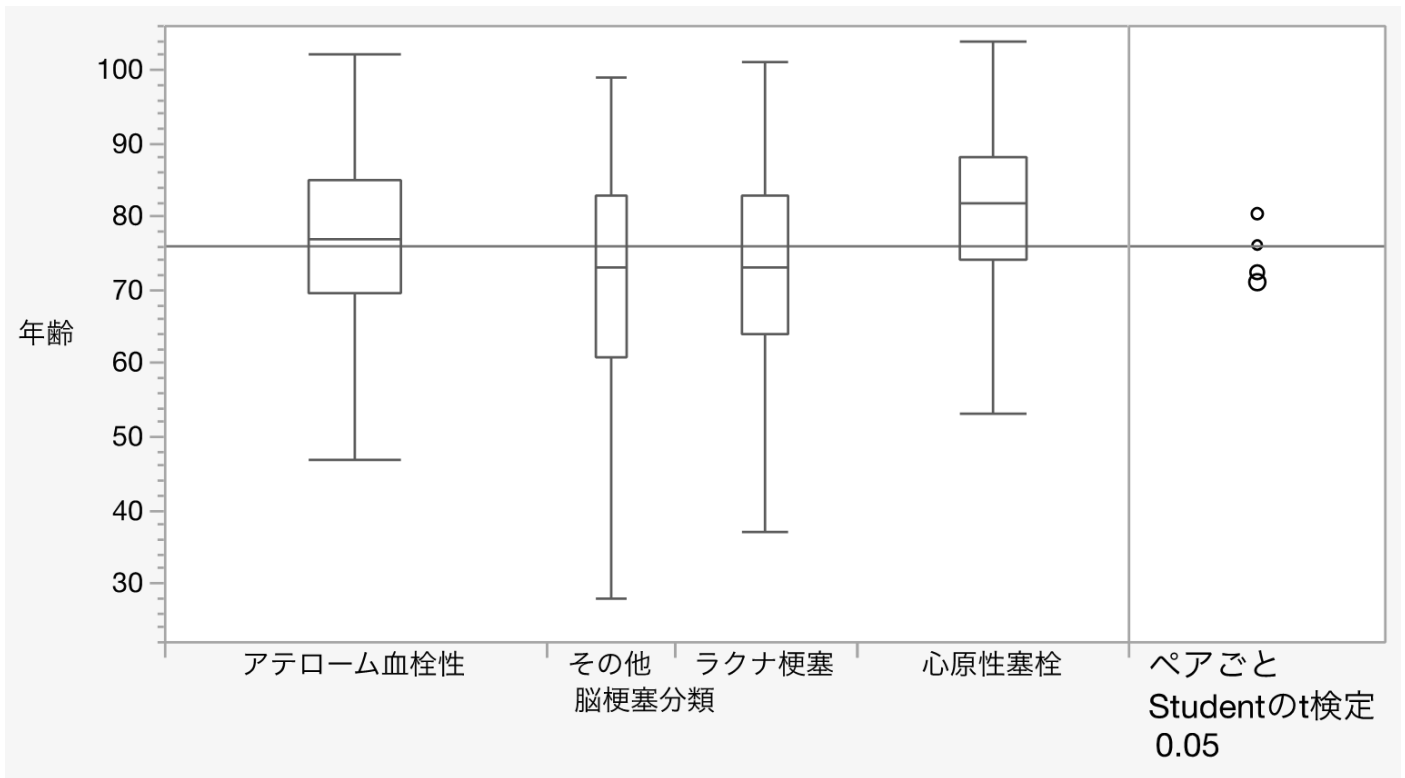


表 10 脳内出血：退院時 ADL に及ぼす因子の多変量解析（効果に対する尤度比検定）

要因	パラメータ数	自由度	尤度比カイ ² 乗	p値(Prob>ChiSq)
性別	1	1	2.67912716	0.1017
年齢	1	1	42.4101741	<.0001*
脳内出血治療法	3	3	2.2014551	0.5317
発症前抗血栓療法	9	9	15.1016362	0.0882
入院時JCS	9	9	414.251817	<.0001*

脳梗塞

図 18 脳梗塞：病型と発症年齢



水準	- 水準	差	差の標準誤差	下側信頼限界	上側信頼限界	p値
心原性塞栓	その他	9.339459	0.6836998	7.99898	10.67994	<.0001*
心原性塞栓	ラクナ梗塞	7.989100	0.6154060	6.78252	9.19568	<.0001*
アテローム血栓性	その他	5.056422	0.6515282	3.77902	6.33383	<.0001*
心原性塞栓	アテローム血栓性	4.283037	0.5089471	3.28518	5.28089	<.0001*
アテローム血栓性	ラクナ梗塞	3.706063	0.5794550	2.56996	4.84216	<.0001*
ラクナ梗塞	その他	1.350359	0.7376899	-0.09598	2.79670	0.0673

図 19 脳梗塞：一過性脳虚血発作の退院時転帰 (mRS)

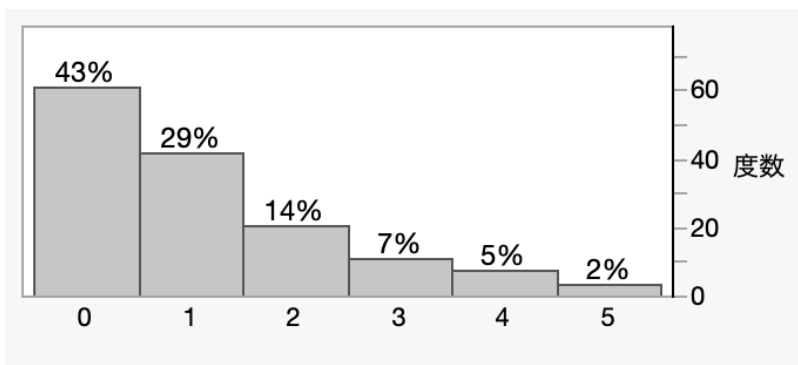
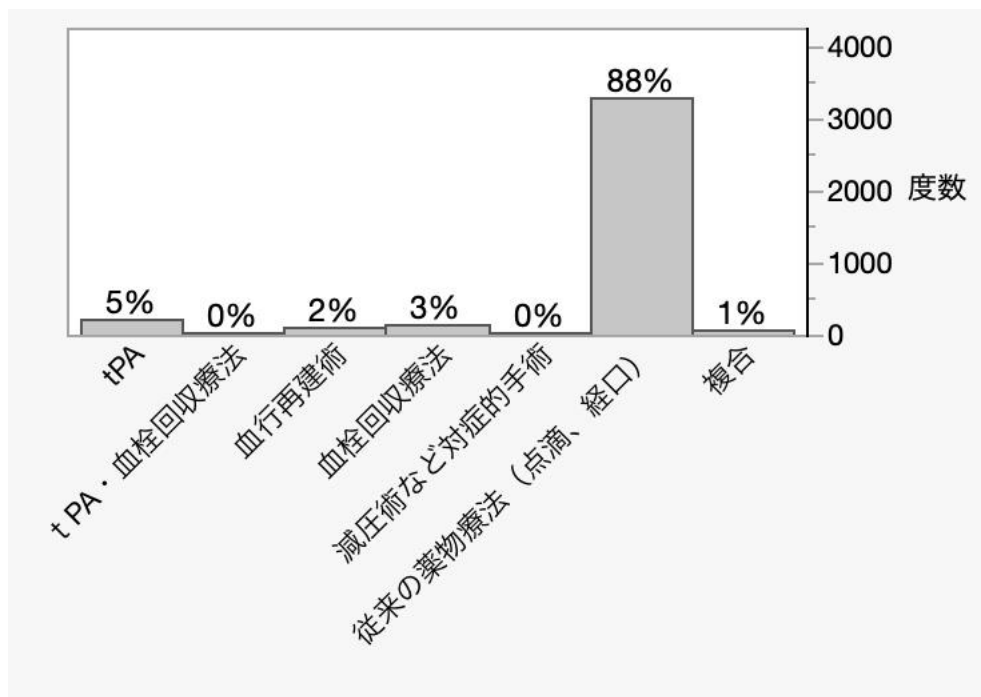


図 20 脳梗塞：脳梗塞治療の割合



水準	度数	割合
tPA	175	0.04758
t PA・血栓回収療法	15	0.00408
血行再建術	74	0.02012
血栓回収療法	120	0.03263
減圧術など対症的手術	14	0.00381
従来の薬物療法 (点滴、経口)	3237	0.88010
複合	43	0.01169
合計	3678	1.00000

図 21 脳梗塞：tPA・血栓回収（EVT）症例数および割合の年次推移

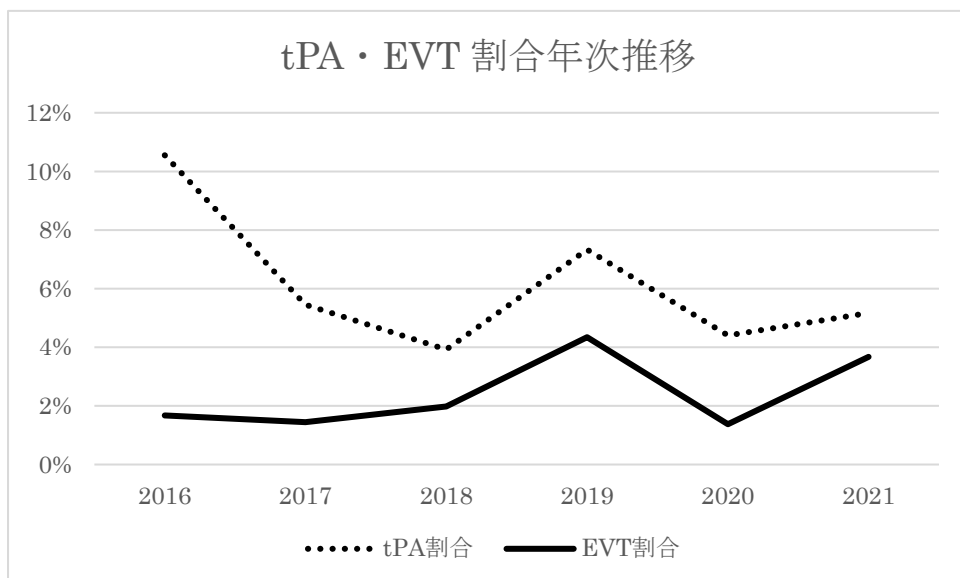
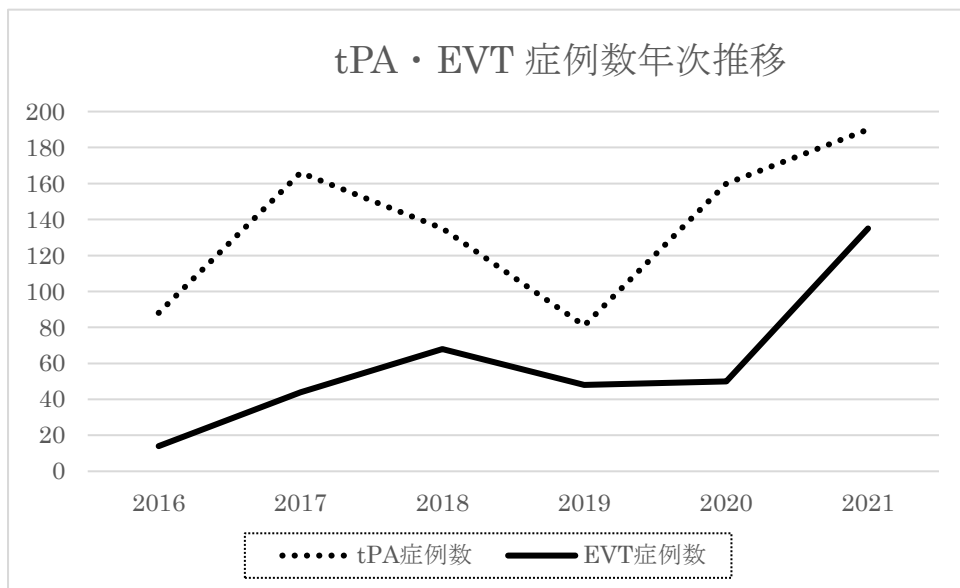


表 11 脳梗塞：退院時転帰に及ぼす因子の多変量解析結果

要因	パラメータ数	自由度	尤度比カイ2乗	p値(Prob>ChiSq)
性別	1	1	1.06474955	0.3021
年齢	1	1	195.047765	<.0001*
脳梗塞分類	3	3	5.70184044	0.1271
入院時JCS	9	9	657.14862	<.0001*
脳梗塞治療法	6	6	50.8864465	<.0001*
発症前抗血栓療法	11	11	13.6283951	0.2542

図 22 脳梗塞：脳梗塞治療毎の退院時転帰

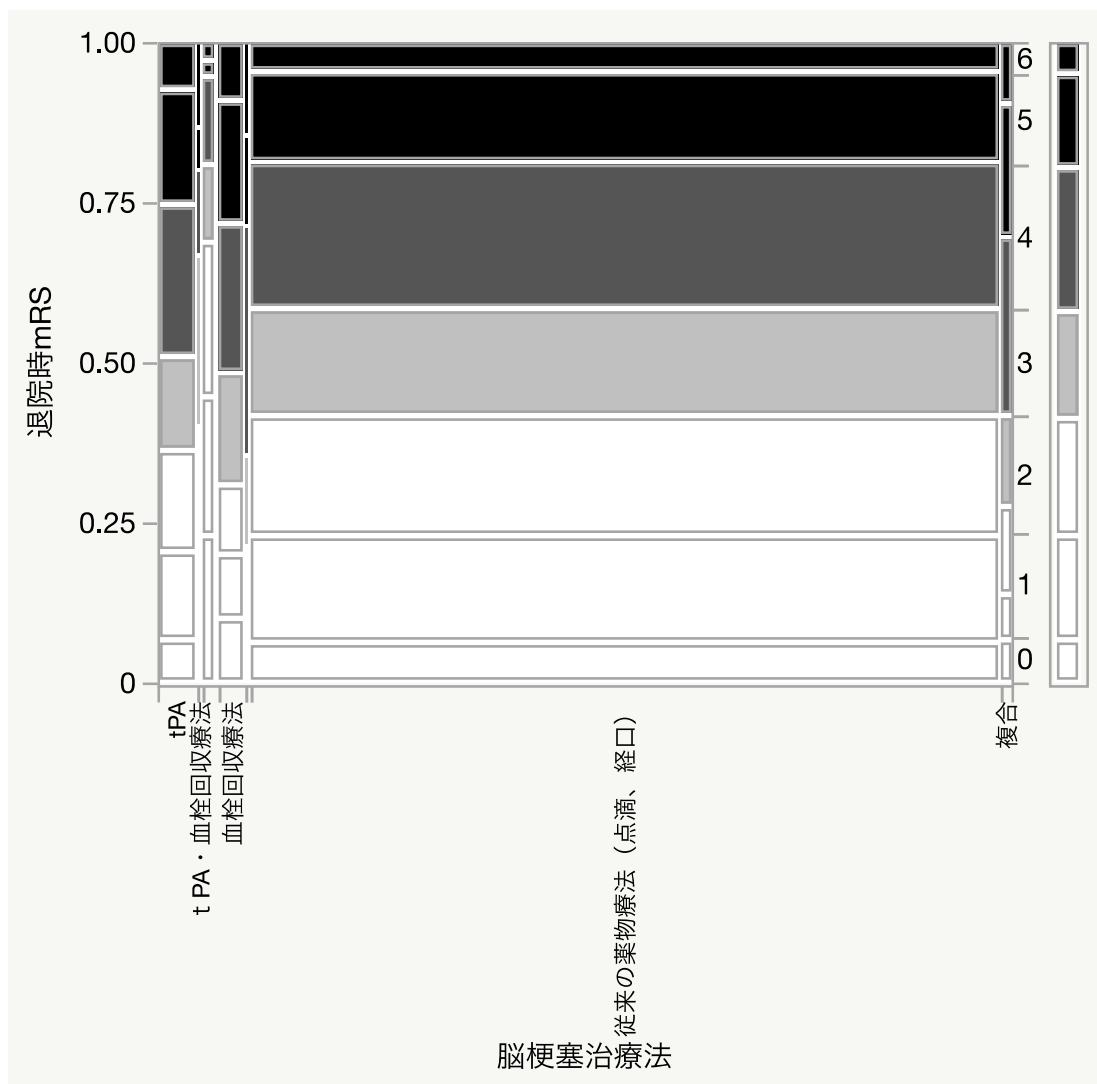
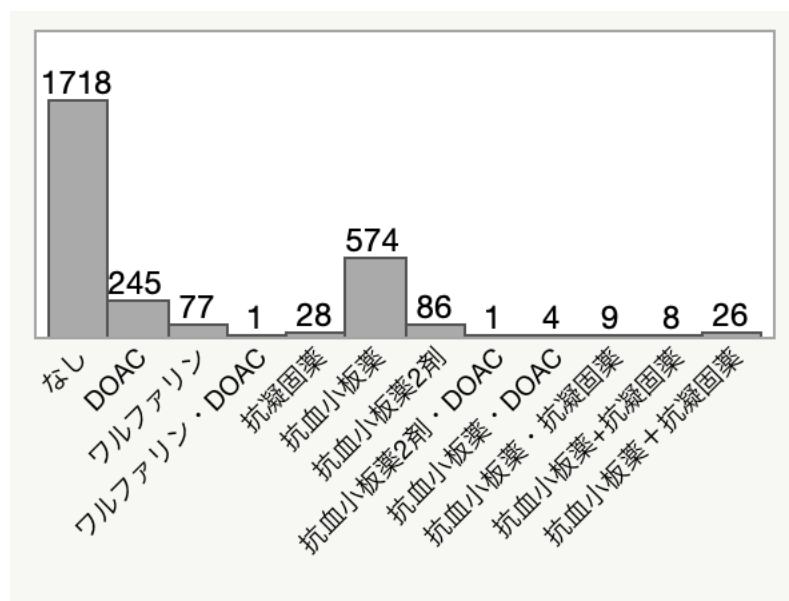


図 23 脳梗塞：発症前抗血栓療法



全国がん登録 届出件数(令和4年12月31日現在)

医療機関(50音順)	R2年	R3年	R4年	備考
	H31・R1年症例	R2年症例	R3年症例	
JR仙台病院	163	167	187	
青葉病院	0	0	0	
赤石病院	79	66	73	
旭山病院	0	0	0	
石越病院	0	0	0	
石巻市立牡鹿病院	9	6	11	
石巻市立病院	475	475	376	
石巻赤十字病院	1,976	2,061	1,959	地域がん診療連携拠点病院
泉ヶ丘クリニック	0	0	0	
泉整形外科病院	4	1	2	
一般財団法人 片倉病院	20	16	13	
一般財団法人 佐藤病院	57	43	45	
一般財団法人 宮城県成人病予防協会附属仙台循環器病センター	139	135	70	
一般財団法人 広南会 広南病院	161	201	129	
伊藤病院	0	0	0	
猪苗代病院	0	0	0	R3.11.30閉院
医療法人安達同済会 同済病院	10	14	9	
医療法人永仁会 永仁会病院	190	208	203	
医療法人啓仁会 石巻ロイヤル病院	76	92	76	
医療法人財団弘慈会 石橋病院	7	18	24	
医療法人財団明理会 イムス明理会仙台総合病院	48	59	17	
医療法人社団葵会 葵会仙台病院	2	2	2	
医療法人社団健育会 石巻健育会病院	42	57	35	
医療法人社団常仁会 東泉堂病院	0	0	0	
医療法人社団清靖会 PFC HOSPITAL	0	0	0	R2.09.29名称変更
医療法人社団北社会 船岡今野病院	1	6	5	
医療法人浄仁会 大泉記念病院	60	85	78	
医療法人徳洲会 仙台徳洲会病院	307	301	273	
医療法人宏人会 木町病院	2	0	0	
医療法人ひろせ会 広瀬病院	39	15	28	
医療法人寶樹会 仙塩総合病院	46	28	28	
医療法人寶樹会 仙塩利府病院	146	128	144	
医療法人本多友愛会 仙南中央病院	3	2	1	
医療法人松田会 エバーグリーン病院	8	7	9	
医療法人松田会 松田病院	66	88	85	
医療法人翠十字 社都千愛病院	20	14	17	
医療法人吉田報恩会 春日療養園	0	0	0	
岩切病院	29	25	20	
大崎市民病院	2,023	1,992	2,122	地域がん診療連携拠点病院
大崎市民病院岩出山分院	69	97	95	
大崎市民病院鹿島台分院	58	55	63	
大崎市民病院鳴子温泉分院	12	13	28	
大友病院	4	5	-	R2.09.01診療所へ移行
岡本病院	1	5	1	
小島病院	0	2	0	
貝山中央病院	4	3	4	
鹿島記念病院	0	0	0	
金上病院	46	52	29	
川崎こころ病院	0	0	0	
河原町病院	55	14	4	
国見台病院	0	0	0	
栗原市立栗駒病院	31	33	26	
栗原市立栗原中央病院	331	340	365	
栗原市立若柳病院	93	59	66	
気仙沼市立病院	474	352	329	
気仙沼市立本吉病院	36	30	35	
公益財団法人仙台市医療センター 仙台オーブン病院	1,210	1,166	1,141	
公益財団法人宮城厚生協会 泉病院	13	5	9	
公益財団法人宮城厚生協会 坂総合病院	659	570	677	
公益財団法人宮城厚生協会 長町病院	48	50	44	
公益財団法人宮城厚生協会 古川民主病院	29	22	26	
公立加美病院	74	66	80	
公立刈田総合病院	222	173	106	
公立黒川病院	156	142	127	
国民健康保険川崎病院	50	44	53	

全国がん登録 届出件数(令和4年12月31日現在)

医療機関(50音順)	R2年	R3年	R4年	備考
	H31・R1年症例	R2年症例	R3年症例	
国立療養所 東北新生園	0	1	2	
こころのホスピタル・古川グリーンヒルズ	1	0	0	
こだまホスピタル	0	0	0	
齋藤病院	62	49	36	
蔵王町国民健康保険蔵王病院	0	0	0	
佐藤病院	0	0	0	
自衛隊仙台病院	3	2	2	
塩竈市立病院	232	208	261	
スズキ記念病院	10	22	7	
精神科病院仙南サナトリウム+	0	0	0	
星陵あすか病院	46	43	52	
仙石病院	253	326	437	
仙台エコー医療療育センター	3	0	0	
仙台厚生病院	1,843	1,733	1,733	
仙台市立病院	1,198	1,247	1,350	
仙台整形外科病院	10	4	9	
仙台赤十字病院	415	319	262	
仙台中央病院	0	0	0	
仙台富沢病院	9	6	10	
仙台中江病院	11	16	18	
仙台東脳神経外科病院	25	19	15	
仙台リハビリテーション病院	0	0	0	
仙南病院	25	30	24	
総合南東北病院	371	344	380	
台原高柳病院	0	0	0	
てんかん病院ベーター	0	0	0	
東北医科薬科大学 名取守病院	1	0	-	R2.08.31閉院
東北医科薬科大学病院	1,441	1,486	1,742	地域がん診療連携拠点病院(R3.4~)
東北医科薬科大学若林病院	128	149	133	
東北会病院	0	0	1	
東北公済病院	882	842	784	
東北大学病院	3,999	3,651	4,016	都道府県がん診療連携拠点病院
東北福祉大学せんだんホスピタル	0	0	0	
徳永整形外科病院	0	0	0	
独立行政法人国立病院機構 仙台医療センター	1,894	1,814	1,910	地域がん診療連携拠点病院
独立行政法人国立病院機構 仙山西多賀病院	23	33	29	
独立行政法人国立病院機構 宮城病院	50	38	39	
独立行政法人地域医療機能推進機構 仙台病院	359	360	349	
独立行政法人地域医療機能推進機構 仙台南病院	267	255	247	
独立行政法人労働者健康安全機構 東北労災病院	1,196	1,136	1,213	地域がん診療連携拠点病院
富谷中央病院	32	29	39	
登米市立登米市民病院	312	326	397	
登米市立豊里病院	37	36	50	
登米市立米谷病院	53	57	67	
内科佐藤病院	55	108	67	
中嶋病院	54	67	88	
名取熊野堂病院	2	3	0	
西仙台病院	32	54	31	
野崎病院	7	21	26	
早坂愛生会病院	6	8	19	
光ヶ丘スペルマン病院	346	295	336	
光ヶ丘保養園	0	0	0	
泌尿器科泉中央病院	129	103	112	
古川星陵病院	296	250	246	
平成眼科病院	0	0	0	
真壁病院	36	26	35	
松島病院	21	9	2	
丸森町国民健康保険丸森病院	20	24	48	
三浦病院	59	41	35	
美里町立南郷病院	10	15	23	
三峰病院	0	0	0	
緑ヶ丘病院	0	0	0	
南三陸病院	55	81	79	
南浜中央病院	0	0	0	
みやぎ県南中核病院	980	852	927	地域がん診療病院

全国がん登録 届出件数(令和4年12月31日現在)

医療機関(50音順)	R2年	R3年	R4年	備考
	H31・R1年症例	R2年症例	R3年症例	
宮城県立がんセンター	1,983	1,993	2,032	都道府県がん診療連携拠点病院
宮城県立こども病院	15	16	15	
宮城県立循環器・呼吸器病センター	0	-	-	H31.03.31閉院
宮城県立精神医療センター	0	0	0	
宮城中央病院	8	12	0	
宮城利府掖済会病院	72	51	56	
杜のホスピタル・あおば	0	0	0	
安田病院	1	2	2	
涌谷町国民健康保険病院	85	80	106	
小計(がん診療連携拠点病院8施設)	15,492 (52.8%)	14,985 (52.9%)	15,921 (54.4%)	
計	29,346 (100%)	28,302 (100%)	29,248 (100%)	

宮城県のがん罹患

～宮城県がん登録平成31年・令和元年集計～

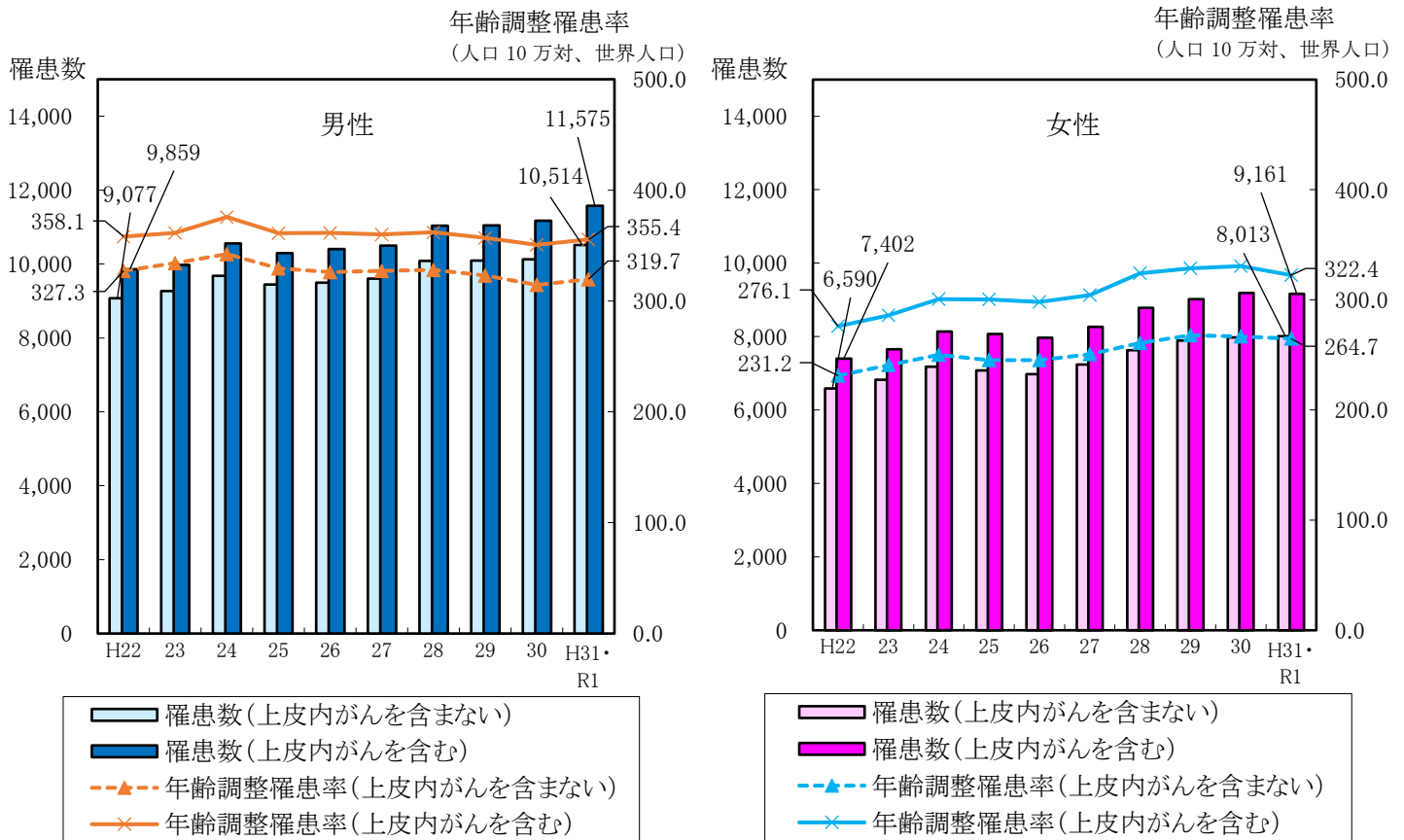
平成31年・令和元年の1年間のがん罹患数は男女合計で約21,000件

宮城県のがん登録は、昭和34年（1959年）から開始されており、その集計結果は、がん対策の立案・評価に役立てられています。平成28年（2016年）からは、がん登録等の推進に関する法律が施行され、国が整備した全国共通のシステムによる全国がん登録が開始されました。

宮城県におけるがん罹患数（図1）は、男性10,514件、女性8,013件、上皮内がんを含めると、男性11,575件、女性9,161件の計20,736件でした。人口10万人当たりの年齢調整罹患率は、男性319.7、女性264.7、上皮内がんを含めると、男性355.4、女性322.4でした。近年は、男女ともに大きな変動はなく、ほぼ横ばいの状態です。

精度指標については、死亡情報のみの症例および遡り調査でがんが確認された症例（DCI）の割合は2.0%、死亡情報のみの症例（DCO）の割合は1.3%、死亡数と罹患数の比（MI比）は0.37で、これまでと同様に高い精度で登録されていました。

図1. がんの罹患数・年齢調整罹患率の推移



男性は大腸、胃、肺、前立腺の順に多く、女性は乳房、大腸、胃、肺、子宮の順に多い

部位別のがん（上皮内がんを含む）の罹患割合（図2）を見ると、男性では、大腸、胃、肺、前立腺の順に多く、この4つの部位で全体の6割を超えました。女性では、乳房、大腸、胃、肺、子宮の順に多く、この5つの部位で全体の6割を超えました。

一方、宮城県における最新のがん死亡数（令和2年）は、男性3,982人、女性2,863人でした。部位別の死亡割合（図3）を見ると、男性では、肺、胃、大腸、膵臓、肝臓の順に多く、この5つの部位で全体の6割を超えました。また、女性では、大腸、肺、膵臓、胃、乳房の順に多く、この5つの部位で全体の約6割を占めました。

年齢階級別で多いがんが異なる

年齢階級別での罹患状況（表2）を見ると、男性は、大腸が30歳から69歳で最も多く、70歳以上では胃が最も多くなっていました。大腸と胃以外では、肺が多くなっていました。

女性は、15歳から39歳では子宮が最も多く、40歳から69歳は乳房、70歳以上は大腸が最も多くなっていました。子宮、乳房及び大腸以外では、肺が多くなっていました。

15歳から39歳までのいわゆるAYA世代（AYAはAdolescent & Young Adultの略で、思春期・若年成人を指す。）では、他の年代とは傾向が異なり、男性では、白血病、甲状腺、皮膚、大腸、口腔・咽頭、腎臓、悪性リンパ腫が多く、女性では、甲状腺、卵巣が多くなっていました。また、15歳未満では、白血病や悪性リンパ腫などの血液の腫瘍及び脳腫瘍が男女に共通して多くなっていました。

検診で発見されたがんの割合は21～35%

検診（がん検診、健康診断、人間ドック）で発見されたがんの割合（表1）を見ると、最も高いのが子宮頸部で35.8%、最も低いのが肺で21.4%でした。

表1に示したがんは、いずれも、罹患、死亡ともに多いがんであり、がん検診を受診することにより、そのがんが死亡する危険性が減少することが科学的に証明されています。今後、検診で発見されるがんの割合が増え、がんによる死亡の減少につながることを期待されています。

表1. 検診で発見されたがんの割合（平成31年・令和元年）

部位	ICD-10	割合 (%)
胃	C16	26.5
大腸 *	C18-C20 D010-D012	27.8
肺 *	C33-C34 D021-D022	21.4
乳房（女性） *	C50 D05	28.0
子宮頸部 *	C53 D06	35.8

*上皮内がんを含む

市町村別罹患数

第3期宮城県がん対策推進計画（平成30年3月策定）に基づき、市町村別罹患数をお示しします（付表1及び2）。

図2. 部位別がん罹患割合（平成31年・令和元年）

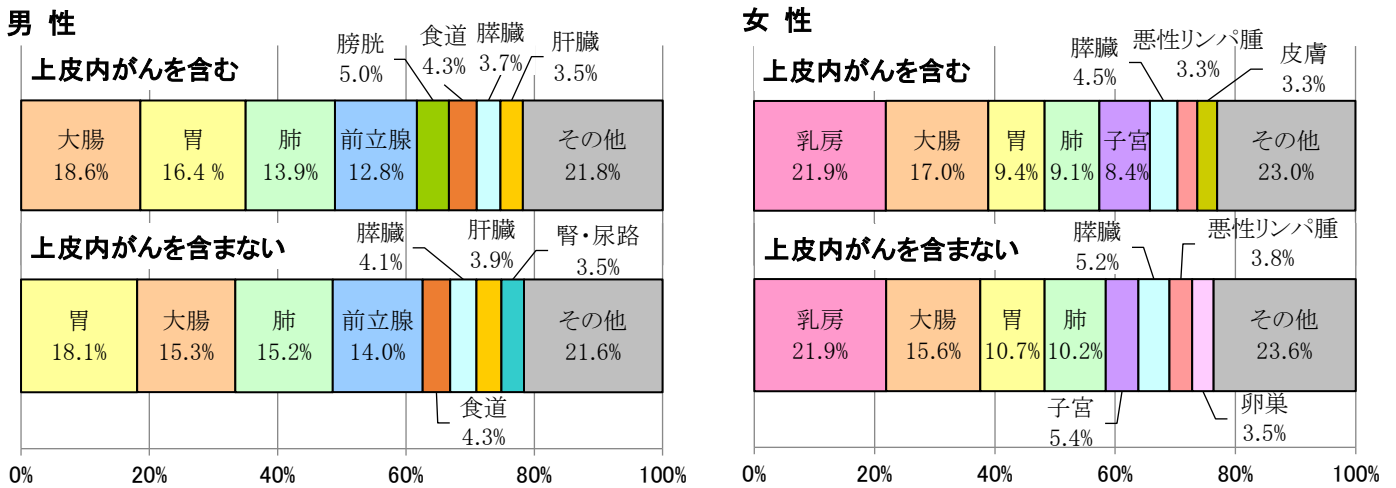


図3. 部位別がん死亡割合（令和2年）

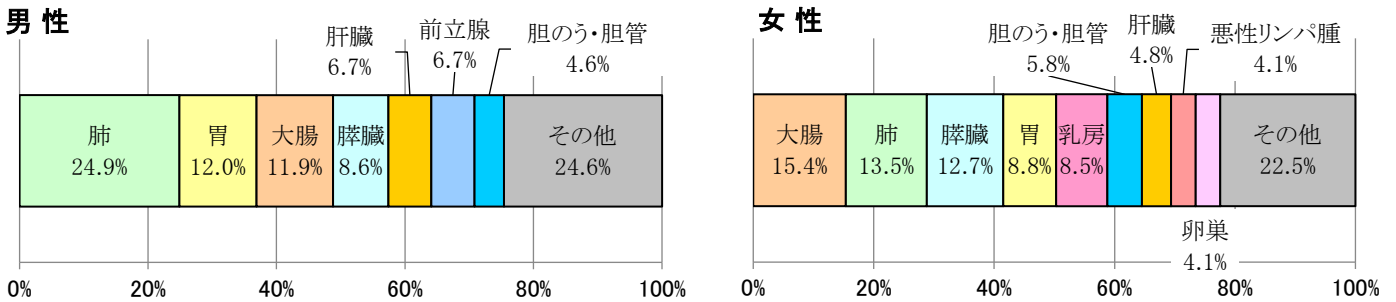


表2. 年齢階級別にみたがん罹患の状況（平成31年・令和元年、上皮内がんを含む）

性別	0-14歳	15-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳	80歳以上
男性	第1位	白血病	白血病	大腸	大腸	大腸	胃	胃
	第2位	口腔・咽頭 肝臓	甲状腺	口腔・咽頭	胃	胃	大腸	肺
	第3位	腎臓、脳 悪性リンパ腫	皮膚	腎臓 悪性リンパ腫	腎臓	肺	前立腺	肺
女性	第1位	白血病	子宮	子宮	乳房	乳房	大腸	大腸
	第2位	脳 悪性リンパ腫	甲状腺	乳房	子宮	大腸	大腸	乳房
	第3位		卵巣	甲状腺	大腸	子宮	肺	肺

付表1. 市町村別罹患数； 部位別、性別（上皮内がんを含まない）

平成31年・令和元年

市町村	全部位 C00-C96			胃 C16			大腸(結腸・直腸) C18-C20			肝および肝内胆管 C22			肺 C33-C34			乳房 C50			子宮 C53-C55	子宮頸部 C53	子宮体部 C54
	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	女	女	女
	宮城県	10,514	8,013	18,527	1,904	858	2,762	1,606	1,251	2,857	407	176	583	1,600	815	2,415	9	1,758	1,767	434	142
仙台市	4,277	3,485	7,762	733	329	1,062	670	531	1,201	168	70	238	638	345	983	3	860	863	199	58	138
石巻市	819	552	1,371	147	53	200	119	85	204	36	11	47	147	54	201	1	122	123	30	11	18
塩竈市	303	231	534	45	23	68	56	44	100	9	4	13	53	26	79	0	37	37	17	7	10
気仙沼市	314	238	552	65	36	101	58	42	100	20	9	29	48	19	67	1	54	55	6	3	3
白石市	171	128	299	29	11	40	26	26	52	2	2	4	16	8	24	0	25	25	11	4	7
名取市	310	193	503	59	21	80	48	27	75	12	4	16	47	20	67	0	47	47	8	5	3
角田市	163	121	284	28	14	42	24	20	44	6	3	9	30	13	43	0	18	18	6	2	4
多賀城市	284	225	509	48	22	70	31	39	70	16	5	21	46	28	74	0	45	45	11	4	7
岩沼市	208	144	352	38	16	54	28	20	48	10	4	14	33	11	44	0	39	39	5	2	3
登米市	414	310	724	73	31	104	61	48	109	13	4	17	75	33	108	1	47	48	11	3	8
栗原市	386	309	695	79	39	118	47	48	95	10	10	20	50	32	82	0	55	55	10	4	6
東松島市	210	124	334	37	14	51	30	25	55	8	2	10	37	11	48	0	30	30	4	3	1
大崎市	651	481	1,132	119	68	187	123	71	194	20	11	31	98	53	151	1	87	88	36	12	24
富谷市	170	153	323	29	7	36	30	20	50	8	5	13	19	15	34	0	45	45	9	2	7
刈田郡 蔵王町	76	55	131	20	7	27	12	5	17	0	0	0	11	6	17	0	15	15	3	0	3
刈田郡 七ヶ宿町	10	4	14	1	1	2	1	0	1	0	0	0	1	1	2	0	0	0	1	0	1
柴田郡 大河原町	94	85	179	19	13	32	8	14	22	2	1	3	14	11	25	0	14	14	11	4	7
柴田郡 村田町	74	52	126	18	5	23	7	4	11	3	4	7	13	3	16	0	11	11	2	1	1
柴田郡 柴田町	199	137	336	42	11	53	28	15	43	5	3	8	31	16	47	0	32	32	6	2	4
柴田郡 川崎町	50	40	90	8	4	12	6	9	15	3	2	5	9	4	13	1	4	5	5	1	4
伊具郡 丸森町	89	44	133	16	3	19	11	6	17	2	0	2	16	7	23	0	8	8	1	0	1
亶理郡 亶理町	164	127	291	37	17	54	19	20	39	6	5	11	14	12	26	0	30	30	7	2	5
亶理郡 山元町	75	53	128	18	6	24	12	15	27	4	2	6	12	3	15	0	5	5	3	0	3
宮城郡 松島町	87	58	145	20	14	34	14	5	19	5	1	6	12	9	21	0	8	8	3	1	2
宮城郡 七ヶ浜町	114	80	194	22	11	33	14	12	26	5	3	8	15	11	26	0	15	15	4	1	3
宮城郡 利府町	171	118	289	25	18	43	21	25	46	12	1	13	19	10	29	1	23	24	5	2	2
黒川郡 大和町	105	78	183	21	9	30	15	14	29	2	1	3	17	9	26	0	13	13	5	2	3
黒川郡 大郷町	47	34	81	5	6	11	7	6	13	2	1	3	8	4	12	0	5	5	2	1	1
黒川郡 大衡村	27	18	45	9	1	10	5	4	9	4	2	6	2	0	2	0	2	2	0	0	0
加美郡 色麻町	35	31	66	8	4	12	5	5	10	0	1	1	4	4	8	0	7	7	0	0	0
加美郡 加美町	139	80	219	39	12	51	17	13	30	3	0	3	23	7	30	0	13	13	4	2	2
遠田郡 涌谷町	82	58	140	13	6	19	18	9	27	3	3	6	14	6	20	0	10	10	3	0	3
遠田郡 美里町	116	83	199	20	15	35	20	12	32	6	0	6	17	8	25	0	19	19	5	2	3
牡鹿郡 女川町	28	37	65	5	3	8	4	4	8	1	0	1	3	11	14	0	7	7	0	0	0
本吉郡 南三陸町	52	47	99	9	8	17	11	8	19	1	2	3	8	5	13	0	6	6	1	1	0
宮城県内市町村不定	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

総数は男女および性別不詳の合計

(令和4年10月集計)

付表2. 市町村別罹患数； 部位別、性別（上皮内がんを含む）

平成31年・令和元年

市町村	全部位 C00-C96 D00-D09			大腸(結腸・直腸) C18-C20 D010-D012			肺 C33-C34 D021-D022			乳房 C50 D05			子宮 C53-C55 D06		子宮頸部 C53 D06
	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	女	女	
	宮城県	11,575	9,161	20,736	2,153	1,560	3,713	1,606	834	2,440	10	2,008	2,018	772	480
仙台市	4,688	4,006	8,694	862	637	1,499	639	347	986	3	999	1,002	367	226	
石巻市	910	652	1,562	174	119	293	150	54	204	1	140	141	58	39	
塩竈市	339	262	601	78	53	131	53	27	80	0	41	41	23	13	
気仙沼市	355	262	617	90	55	145	48	20	68	1	63	64	6	3	
白石市	184	149	333	33	32	65	16	8	24	0	28	28	16	9	
名取市	339	224	563	65	36	101	47	21	68	0	59	59	15	12	
角田市	174	136	310	34	24	58	30	15	45	0	19	19	11	7	
多賀城市	306	260	566	37	51	88	46	28	74	0	48	48	26	19	
岩沼市	230	169	399	43	29	72	33	12	45	0	42	42	13	10	
登米市	458	360	818	92	69	161	75	34	109	1	52	53	22	14	
栗原市	420	337	757	62	53	115	50	33	83	0	60	60	20	14	
東松島市	228	139	367	35	29	64	37	11	48	0	34	34	10	9	
大崎市	706	527	1,233	147	86	233	99	54	153	1	92	93	51	27	
富谷市	187	178	365	37	30	67	19	15	34	0	54	54	11	4	
刈田郡 蔵王町	85	64	149	18	7	25	11	6	17	0	18	18	6	3	
刈田郡 七ヶ宿町	10	5	15	1	1	2	1	1	2	0	0	0	1	0	
柴田郡 大河原町	100	99	199	13	18	31	14	11	25	0	19	19	13	6	
柴田郡 村田町	84	55	139	13	6	19	13	4	17	0	11	11	2	1	
柴田郡 柴田町	229	159	388	47	24	71	31	17	48	1	36	37	9	5	
柴田郡 川崎町	56	48	104	10	11	21	9	5	14	1	4	5	10	6	
伊具郡 丸森町	93	56	149	13	10	23	16	10	26	0	9	9	4	3	
亶理郡 亶理町	187	145	332	36	26	62	15	14	29	0	30	30	14	9	
亶理郡 山元町	85	59	144	15	16	31	12	3	15	0	5	5	4	1	
宮城郡 松島町	100	65	165	21	8	29	12	9	21	0	9	9	4	2	
宮城郡 七ヶ浜町	120	85	205	16	12	28	15	11	26	0	16	16	7	4	
宮城郡 利府町	194	137	331	31	28	59	19	10	29	1	28	29	13	10	
黒川郡 大和町	117	87	204	20	16	36	17	9	26	0	14	14	6	3	
黒川郡 大郷町	55	38	93	12	8	20	8	4	12	0	5	5	4	3	
黒川郡 大衡村	31	19	50	8	4	12	2	0	2	0	2	2	0	0	
加美郡 色麻町	38	34	72	5	5	10	4	4	8	0	7	7	2	2	
加美郡 加美町	154	86	240	22	13	35	23	7	30	0	14	14	7	5	
遠田郡 涌谷町	95	70	165	21	13	34	14	6	20	0	12	12	5	2	
遠田郡 美里町	125	96	221	23	16	39	17	8	25	0	22	22	8	5	
牡鹿郡 女川町	33	39	72	5	6	11	3	11	14	0	7	7	0	0	
本吉郡 南三陸町	60	54	114	14	9	23	8	5	13	0	9	9	4	4	
宮城県内市町村不定	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

総数は男女および性別不詳の合計

(令和4年10月集計)

付表3. 罹患数および年齢調整罹患率の推移（平成27年～令和元年）

性別	部位	ICD-10	罹患数					年齢調整罹患率（人口10万対、標準人口は世界人口）				
			平成27	28	29	30	平成31・令和1	平成27	28	29	30	平成31・令和1
男	全部位	C00-C96	9,604	10,089	10,096	10,129	10,514	327.2	328.0	323.1	314.5	319.7
	全部位*	C00-C96 D00-D09	10,499	11,039	11,047	11,169	11,575	360.0	362.0	356.8	350.6	355.4
	口腔・咽頭	C00-C14	238	237	292	273	326	9.0	8.8	11.7	10.1	11.6
	食道	C15	424	451	417	410	450	13.8	13.9	12.9	12.8	13.7
	胃	C16	1,906	1,871	1,914	1,913	1,904	61.3	57.6	56.7	55.8	52.8
	大腸（結腸・直腸）	C18-C20	1,455	1,639	1,510	1,589	1,606	51.8	56.1	51.5	52.6	52.4
	大腸（結腸・直腸）*	C18-C20 D010-D012	1,967	2,122	2,047	2,158	2,153	71.7	74.4	71.6	73.5	72.3
	結腸	C18	893	1,037	948	1,001	1,004	30.2	33.2	30.3	31.2	29.5
	直腸	C19-C20	562	602	562	588	602	21.5	22.8	21.3	21.5	22.9
	肝および肝内胆管	C22	421	433	407	418	407	13.9	13.5	12.7	12.7	11.5
	胆のう・胆管	C23-C24	215	204	252	231	262	5.8	5.7	6.5	5.2	6.3
	膵臓	C25	381	389	405	392	428	12.6	12.0	12.3	12.1	12.1
	喉頭	C32	78	76	85	80	85	2.4	2.6	2.9	2.5	2.4
	肺	C33-C34	1,444	1,494	1,513	1,460	1,600	44.6	43.7	44.5	41.1	43.9
	肺*	C33-C34 D021-D022	1,451	1,498	1,516	1,467	1,606	44.9	43.8	44.6	41.4	44.1
	皮膚	C43-C44	156	231	202	209	239	4.5	6.7	5.9	5.4	6.5
	乳房	C50	13	18	11	11	9	0.4	0.5	0.3	0.3	0.3
	乳房*	C50 D05	13	18	11	11	10	0.4	0.5	0.3	0.3	0.3
	前立腺	C61	1,341	1,441	1,458	1,494	1,476	41.4	42.2	40.7	41.7	40.8
	膀胱	C67	253	290	268	274	277	7.6	8.0	7.3	7.4	7.6
	腎・尿路（膀胱除く）	C64-C66 C68	341	339	364	351	371	12.9	12.5	13.4	11.7	13.4
	脳・中枢神経系	C70-C72	61	55	63	57	46	3.5	3.3	3.5	3.2	2.5
	甲状腺	C73	88	83	76	80	73	4.4	4.2	3.9	3.6	3.6
	悪性リンパ腫	C81-C85 C96	283	298	288	325	346	11.4	11.4	10.6	11.8	11.6
	多発性骨髄腫	C88-C90	63	64	70	71	55	2.0	1.8	2.2	2.3	1.3
	白血病	C91-C95	127	115	124	122	150	7.7	6.9	6.1	5.5	7.8
	女	全部位	C00-C96	7,243	7,625	7,895	7,978	8,013	250.6	260.8	267.9	266.7
全部位*		C00-C96 D00-D09	8,264	8,782	9,016	9,192	9,161	304.2	324.2	328.6	330.7	322.4
口腔・咽頭		C00-C14	127	116	124	141	127	4.2	3.9	3.9	4.7	4.2
食道		C15	85	81	96	106	105	2.3	1.9	2.5	2.9	3.4
胃		C16	834	846	853	900	858	21.3	20.7	20.9	22.0	19.1
大腸（結腸・直腸）		C18-C20	1,179	1,267	1,298	1,193	1,251	32.0	33.3	34.5	31.6	32.5
大腸（結腸・直腸）*		C18-C20 D010-D012	1,443	1,549	1,564	1,478	1,560	40.9	42.5	43.9	40.5	42.2
結腸		C18	869	926	942	899	877	21.8	22.5	22.5	22.4	20.8
直腸		C19-C20	310	341	356	294	374	10.2	10.8	12.1	9.3	11.7
肝および肝内胆管		C22	201	235	197	182	176	3.7	4.7	3.6	4.1	3.0
胆のう・胆管		C23-C24	206	213	202	185	221	3.9	3.8	3.0	3.2	3.3
膵臓		C25	333	359	391	400	415	7.6	7.2	9.1	8.7	8.4
喉頭		C32	11	6	4	9	10	0.4	0.2	0.1	0.3	0.4
肺		C33-C34	653	719	760	752	815	17.0	19.4	19.2	17.7	19.7
肺*		C33-C34 D021-D022	654	721	761	765	834	17.0	19.4	19.2	18.1	20.5
皮膚		C43-C44	170	206	208	190	233	4.3	4.8	3.7	4.1	5.2
乳房		C50	1,567	1,655	1,758	1,822	1,758	72.3	77.1	79.9	80.2	79.5
乳房*		C50 D05	1,781	1,915	2,034	2,085	2,008	83.3	91.1	94.9	93.5	92.8
子宮		C53-C55	457	444	429	462	434	22.7	22.6	21.3	23.2	21.9
子宮*		C53-C55 D06	820	869	819	900	772	51.4	56.8	52.6	58.7	49.3
子宮頸部		C53	169	149	138	155	142	10.0	8.1	7.3	8.8	7.2
子宮頸部*		C53 D06	532	574	528	593	480	38.7	42.4	38.6	44.2	34.6
子宮体部		C54	269	289	280	302	287	12.4	14.3	13.5	14.3	14.6
卵巣		C56	206	254	260	273	283	9.9	13.5	13.8	14.4	14.6
膀胱		C67	104	115	102	113	103	1.9	2.4	1.9	1.7	1.5
腎・尿路（膀胱除く）		C64-C66 C68	148	174	175	192	169	4.2	4.4	4.9	5.5	4.7
脳・中枢神経系		C70-C72	41	53	47	55	42	2.9	3.0	3.4	2.3	2.3
甲状腺	C73	270	236	231	220	194	16.4	13.1	12.5	12.1	10.1	
悪性リンパ腫	C81-C85 C96	245	266	277	249	304	8.6	9.4	10.1	7.8	9.8	
多発性骨髄腫	C88-C90	70	54	67	70	72	1.6	1.3	1.9	1.7	1.6	
白血病	C91-C95	85	85	94	101	93	5.2	4.9	4.6	4.6	5.0	

* 上皮内がんを含む

（令和4年10月集計）

集計結果は宮城県ホームページに掲載しています。URL：<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kensui/gantouroutop.html>

宮城県のがん罹患（令和4年11月）
 発行：宮城県保健福祉部健康推進課
 編集：宮城県立がんセンター 宮城県がん登録室
 〒981-1239 宮城県名取市愛島塩出字野田山47-1
 TEL：022-796-3624
 E-mail：registry@miyagi-pho.jp

新型コロナウイルス感染症の影響調査 集計結果

2023年1月18日

宮城県がん診療連携協議会
がん登録部会

データ集計
宮城県立がんセンター研究所
がん疫学・予防研究部
金村 政輝
kanemura@med.tohoku.ac.jp

1

調査の方法

- 目的
新型コロナウイルス感染症の影響により、どの程度の診断・治療の遅れが生じたのかを明らかにする。
- 実施時期
2022年9月28日依頼
2022年10月24日提出期限
- 調査対象
2017～2021年診断症例（国立がん研究センターに提出した症例）
- 調査項目
右に示す24項目
- 集計・分析
年別・月別の登録数と治療開始までの日数を集計・分析（全施設合計・施設別集計）
* 部位の区分については、がん検診の対象部位（胃、大腸、肺、乳房、子宮頸部）とし、原発部位の局在コードと形態コードを使い、全国集計と同様の方法で分類

	項目名
1	性別
2	診断時年齢
3	原発部位《局在コード》
4	原発部位《形態コード》
5	診断日
6	診断施設
7	治療施設
8	症例区分
9	来院経路
10	発見経緯
11	進展度（治療前）
12	進展度（術後病理学的）
13	外科的治療の有無
14	外科的治療の施行日（自施設）
15	鏡視下治療の有無
16	鏡視下の施行日（自施設）
17	内視鏡的治療の有無
18	内視鏡的の施行日（自施設）
19	放射線療法の有無
20	放射線療法の施行日（自施設）
21	化学療法の有無
22	化学療法の施行日（自施設）
23	内分泌療法の有無
24	内分泌療法の施行日（自施設）

2

収集症例数

	2017	2018	2019	2020	2021	総計
宮城県立がんセンター	1,907	2,001	1,983	1,993	2,032	9,916
東北大学病院	3,533	3,633	3,999	3,651	4,016	18,832
東北労災病院	1,200	1,279	1,199	1,150	1,215	6,043
仙台医療センター	1,825	1,816	1,894	1,814	1,910	9,259
東北医科薬科大学病院	1,272	1,430	1,446	1,497	1,741	7,386
大崎市民病院	1,968	1,970	2,023	1,992	2,122	10,075
石巻赤十字病院	1,975	2,047	1,976	2,061	1,959	10,018
みやぎ県南中核病院	802	882	984	852	927	4,447
総計	14,482	15,058	15,504	15,010	15,922	75,976

3

収集症例数と責任症例数

収集症例数

	2017～2019年 平均	2020年	2021年
症例数	15,015	15,010	15,922
前年との差	—	-5	907
差%	—	-0.03%	6.08%

責任症例数

…自施設診断で自施設治療開始または治療継続
もしくは、他施設診断で自施設治療開始または治療継続の症例
以下、この責任症例を対象として集計

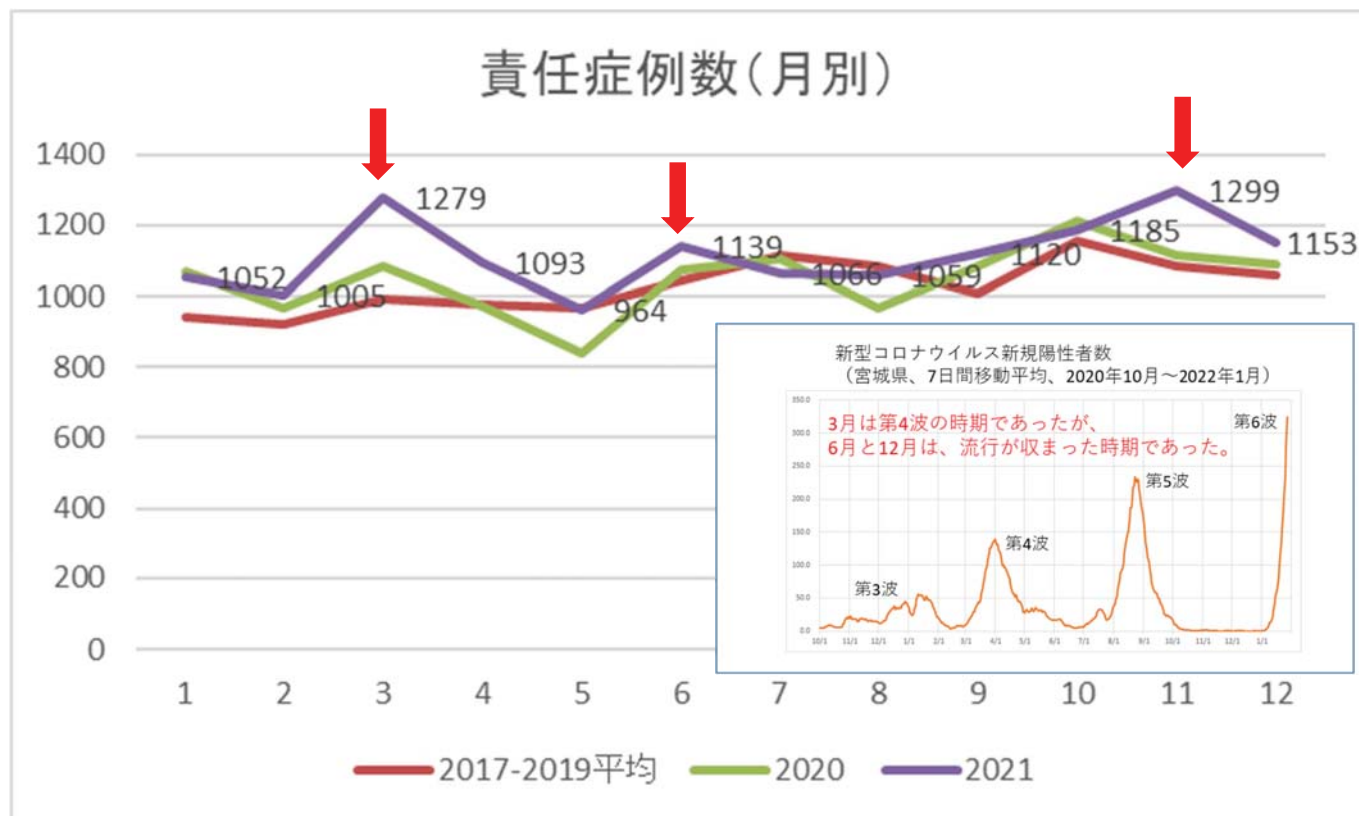
	2017～2019年 平均	2020年	2021年
症例数	12,352	12,573	13,414
前年 との差	0	221	841
差%	0	1.79%	6.69%

コロナの流行にも関わらず、がん登録の症例は増加

4

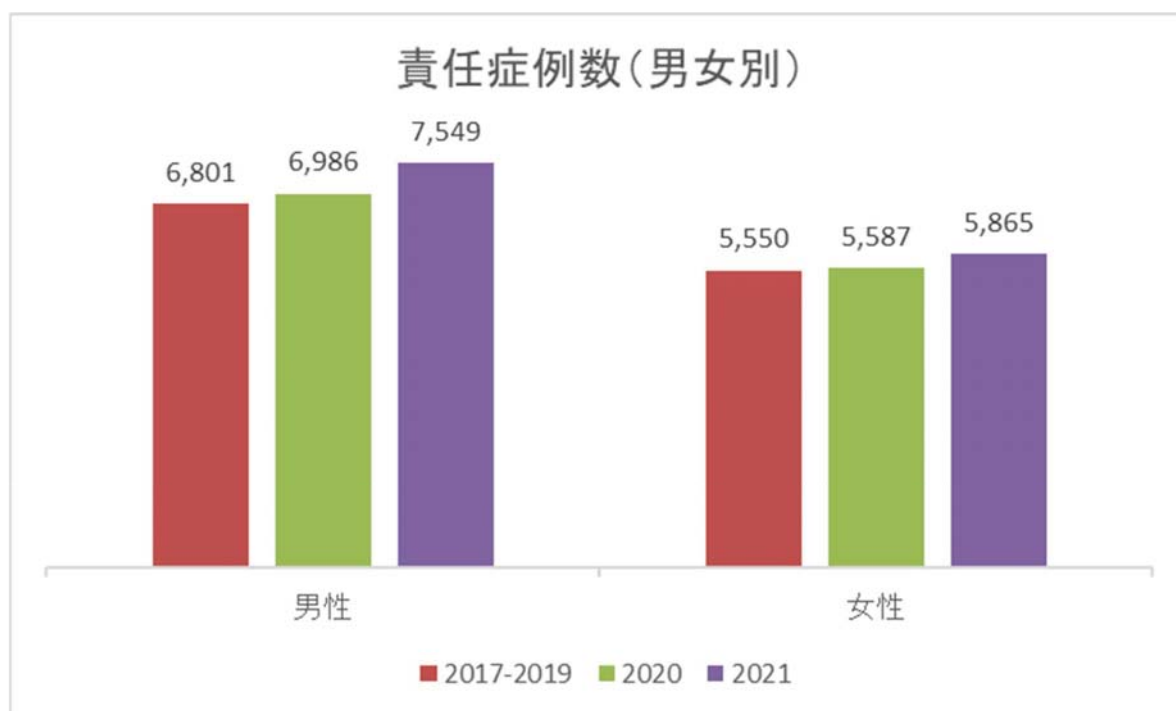
1 全施設合計・責任症例数

3月、6月、11月の3つのピークがあった。
このことが全体の増加につながった。



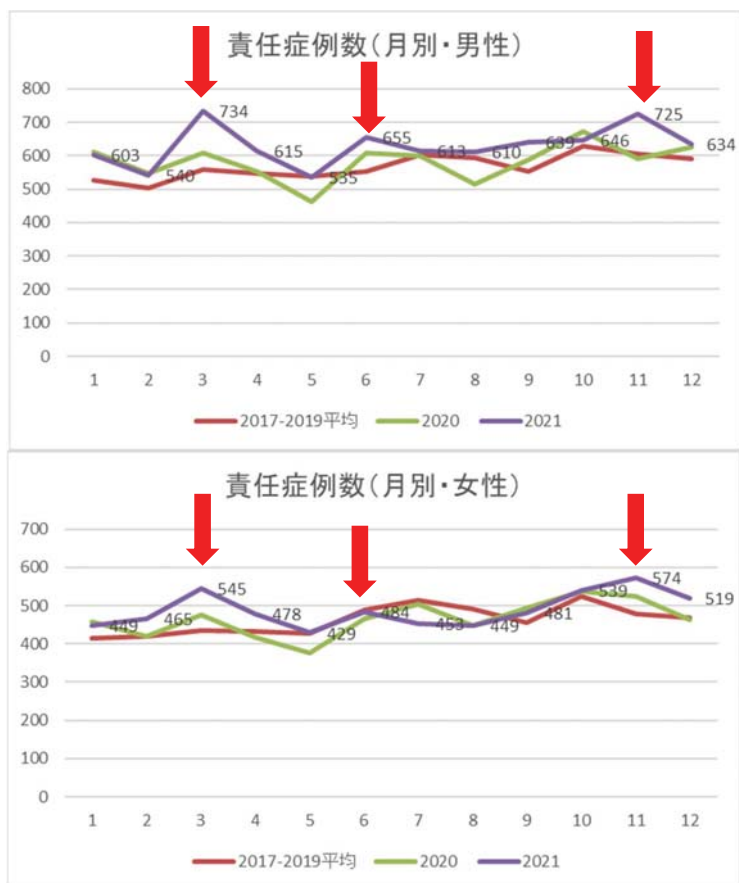
1 全施設合計・責任症例数・男女別

男女ともに2021年は増加した。



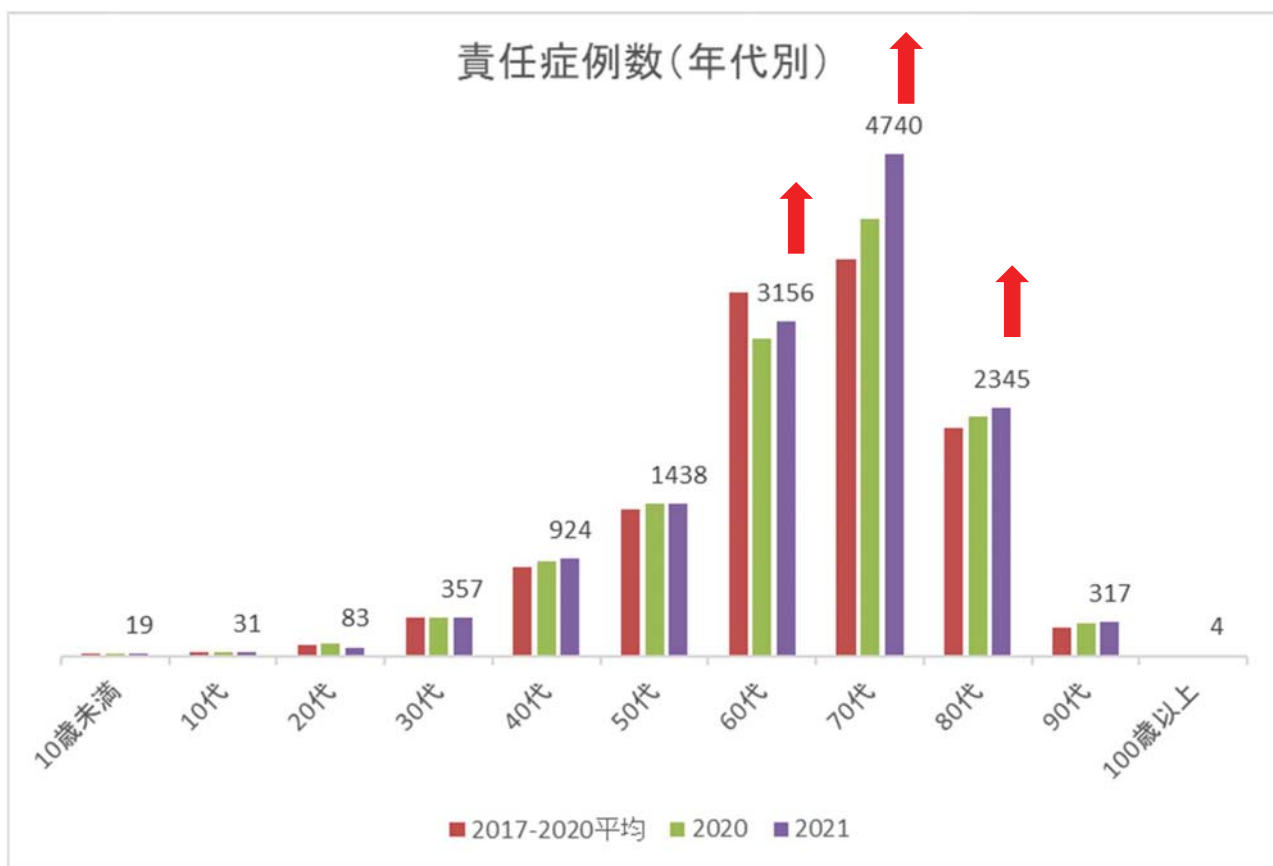
1 全施設合計・責任症例数・男女別

男女別でも、3月、6月、11月の3つのピークがあり、性別による違いはなかった。男性では7~9月も高い値を維持した。



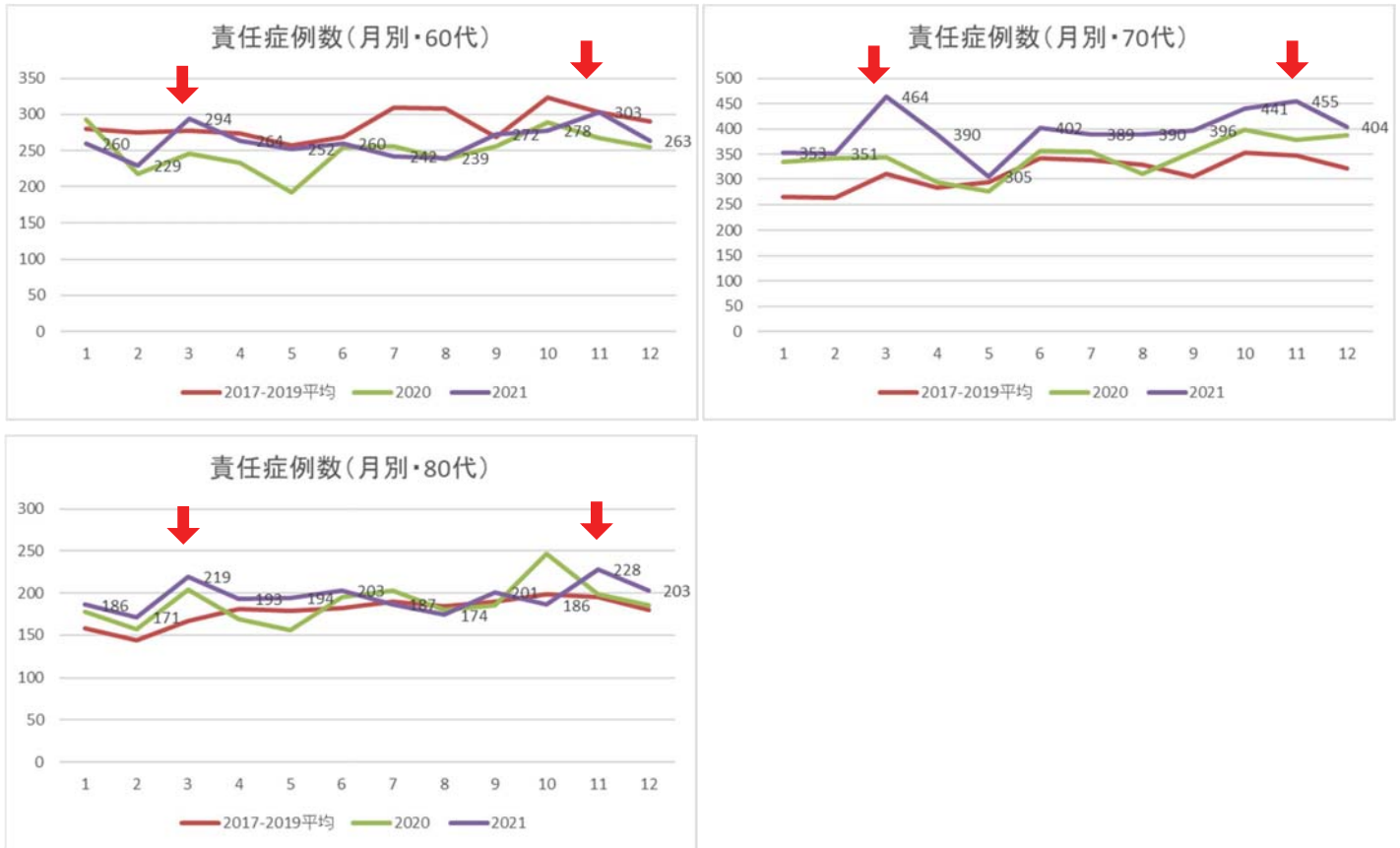
1 全施設合計・責任症例数・年代別

年代別では、60代~80代での増加が、全体の増加に寄与。



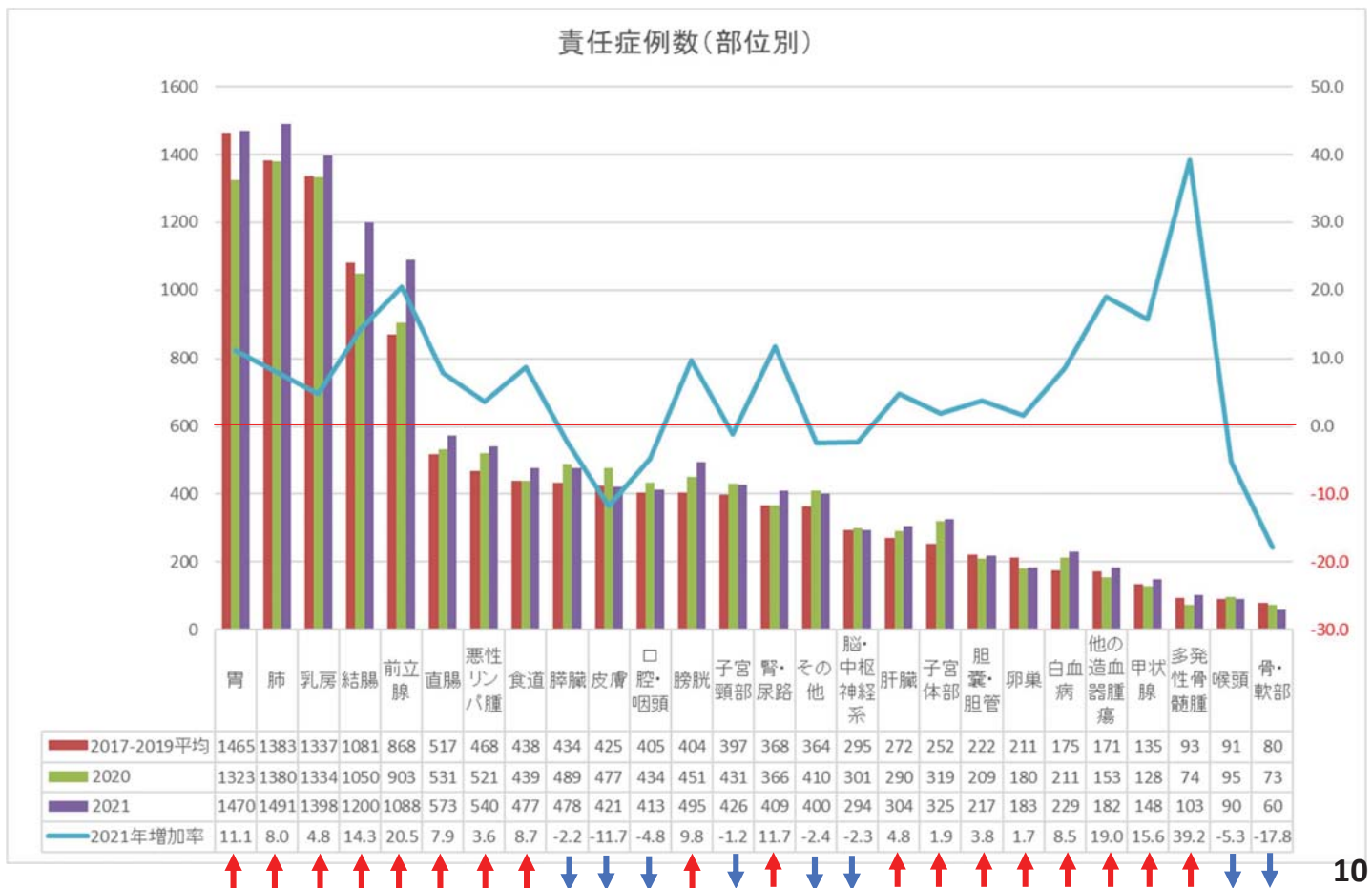
1 全施設合計・責任症例数・年代別

増加した60代~80代を月別で見ると、3月~5月、11月に増加。
70代では、すべての月で増加していた。



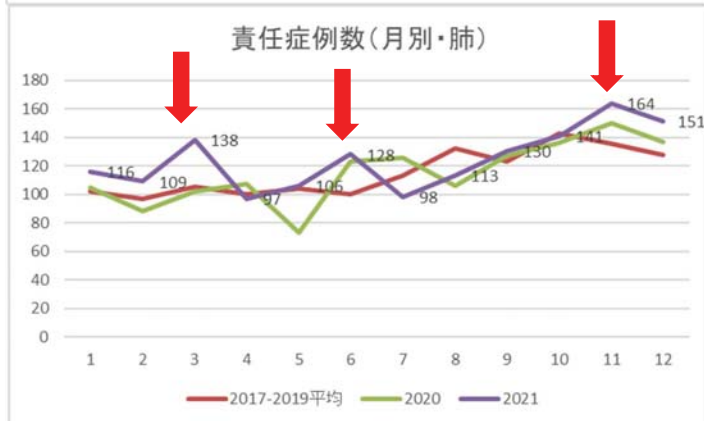
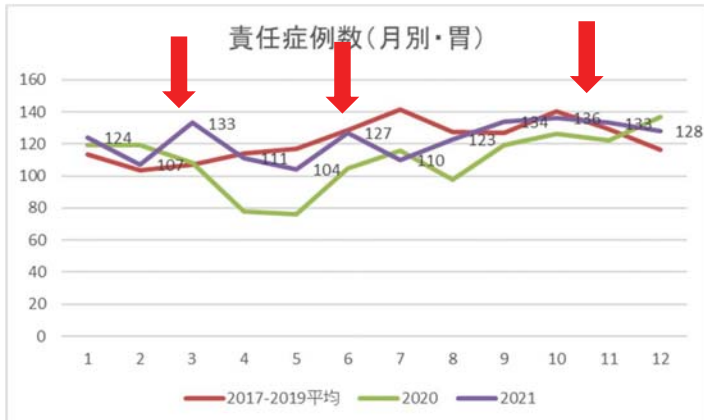
1 全施設合計・責任症例数・部位別

26部位中18部位で増加、8部位で減少。
がん検診実施部位の中では、子宮頸部がわずかに減少した。



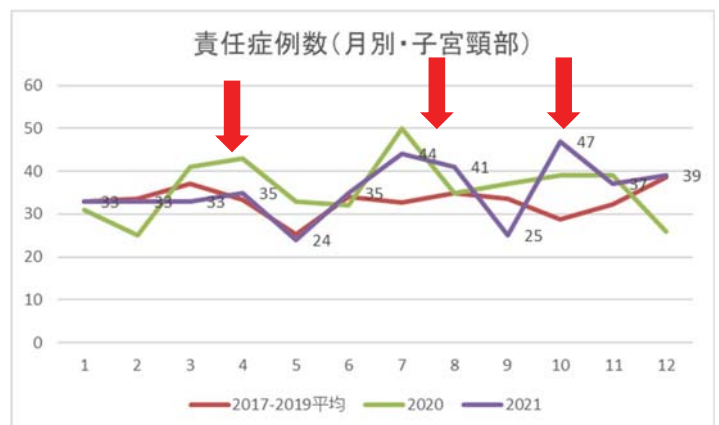
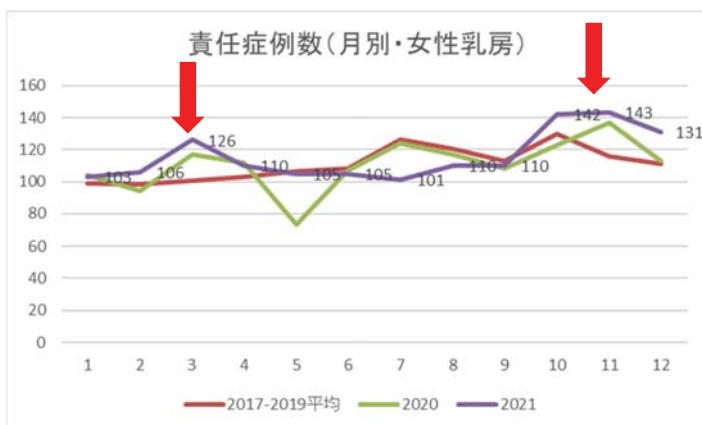
1 全施設合計・責任症例数・部位別

胃、大腸、肺は3月、6月、10～11月にかけて3～4回のピーク。



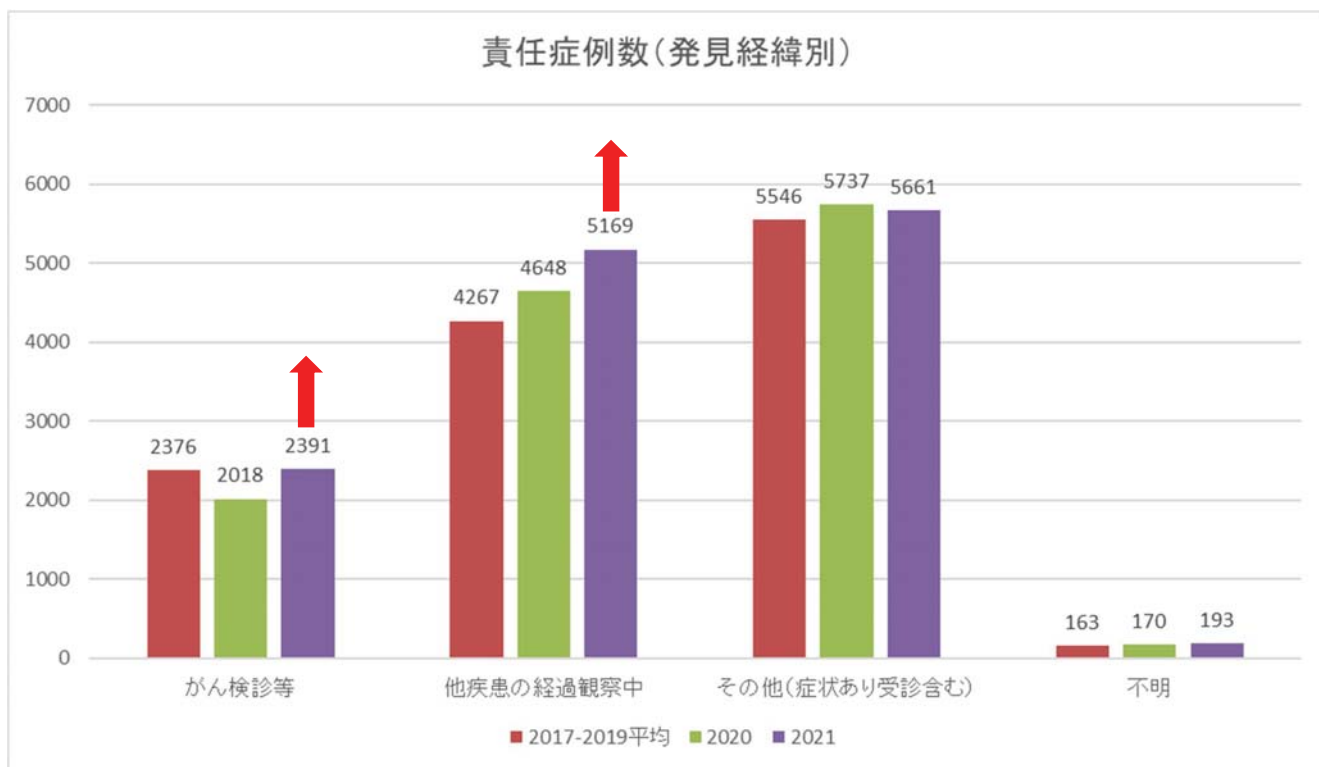
1 全施設合計・責任症例数・部位別

乳房と子宮頸部も、3～4月、7～8月、10～11月にかけて2～3回のピーク。



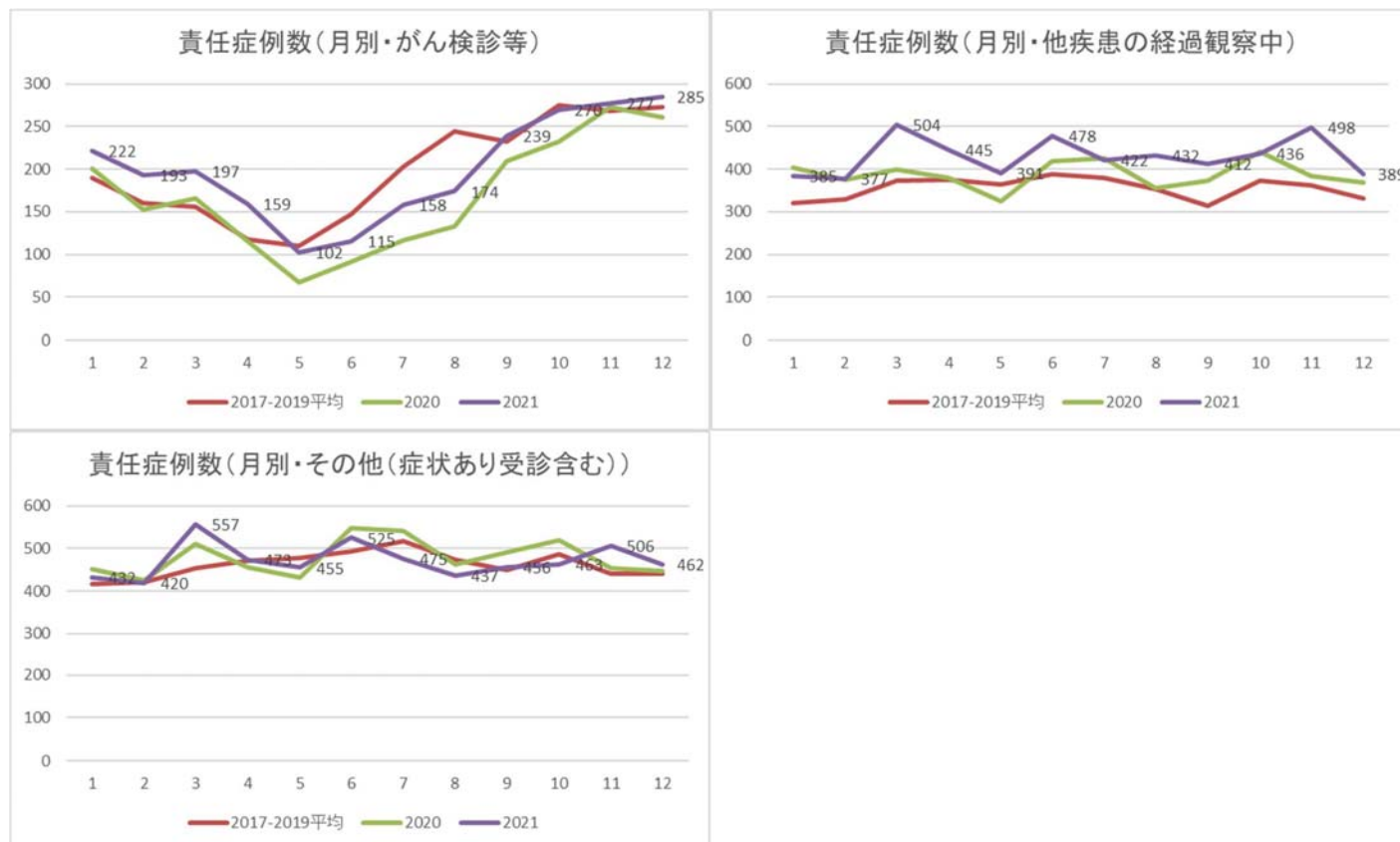
1 全施設合計・責任症例数・発見経緯別

がん検診等（健康診断、人間ドックを含む）は増加し、2017-2019年を上回り、他疾患の経過観察中の発見は、2年連続で増加。
 その他（症状ありでの受診含む）は減少。



1 全施設合計・責任症例数・発見経緯別

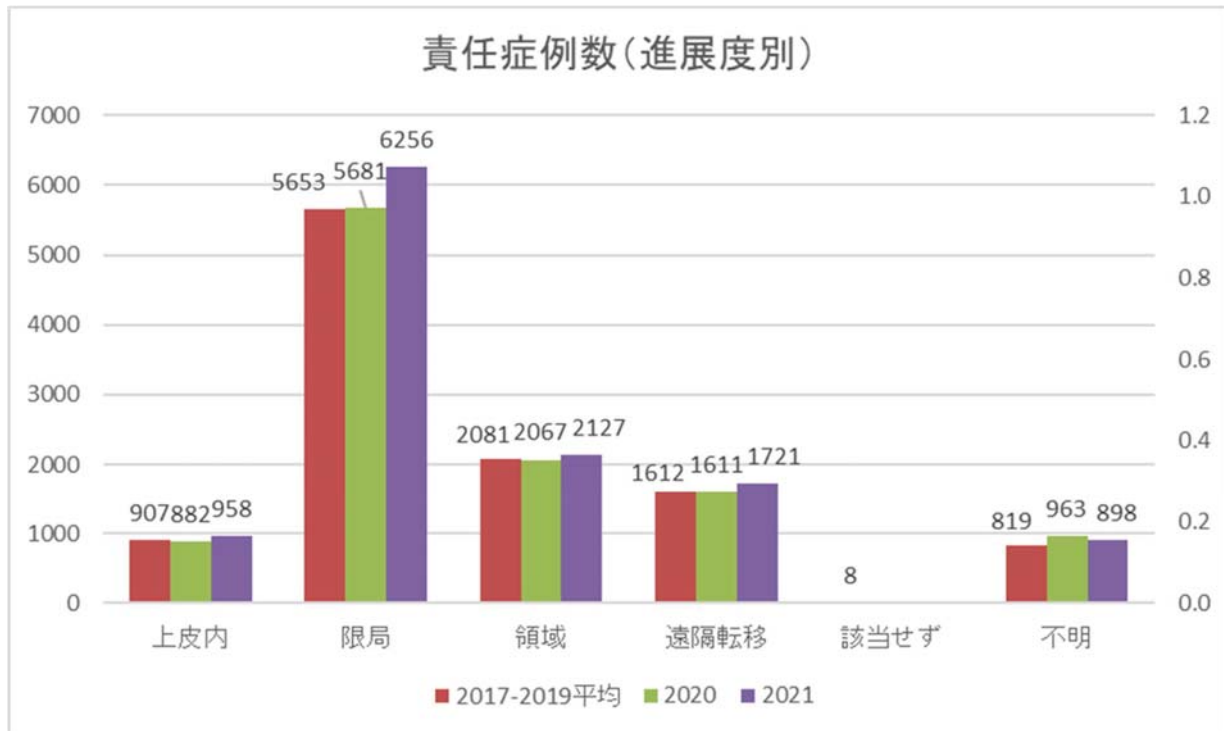
がん検診等は、1~4月が増加し、5~8月が減少し、他疾患の経過観察中の発見は、年間を通じて増加。その他（症状あり受診を含む）は6~10月で減少。



1 全施設合計・責任症例数・進展度別

上皮内、限局、領域、遠隔転移のすべてが増加し、いずれも2017～2019年を上回った。

2017～2019年、2020年、2021年の各年での全体に占める遠隔転移の割合は、それぞれ14.5%、14.4%、14.4%であり、大きな違いはなかった。

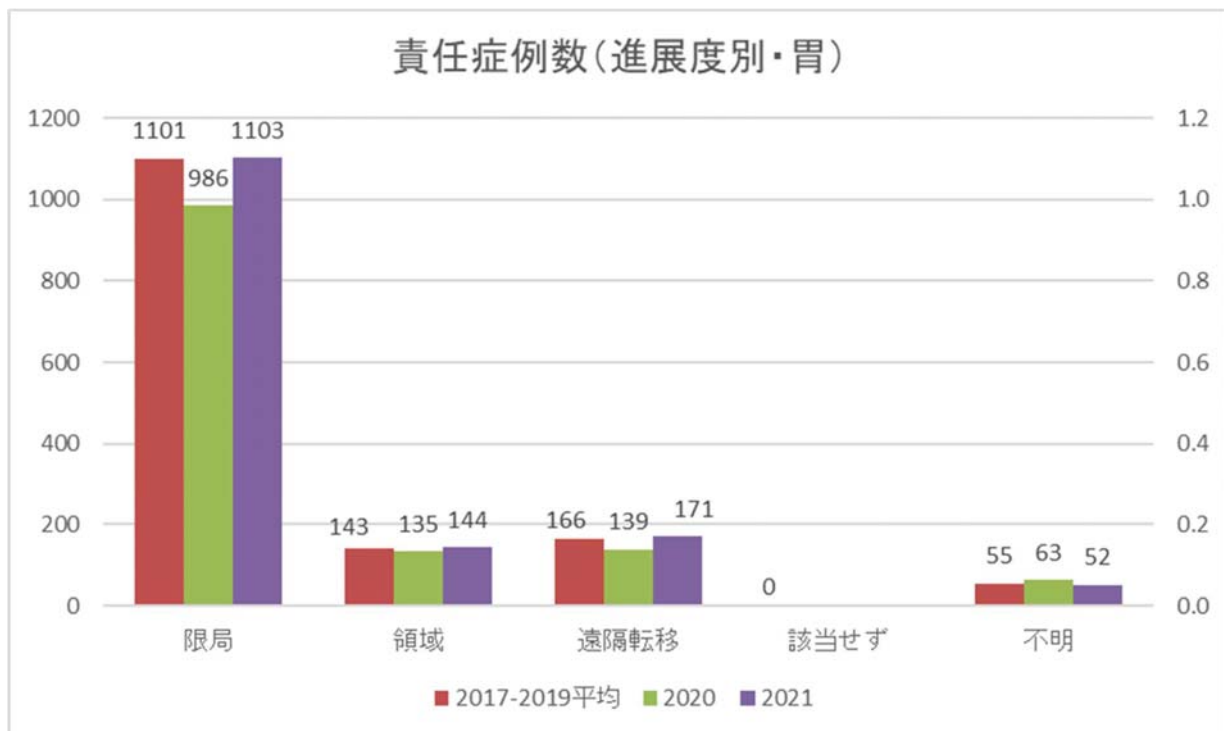


悪性リンパ腫、多発性骨髄腫、白血病、他の造血器腫瘍を除いて集計

1 全施設合計・責任症例数・進展度別

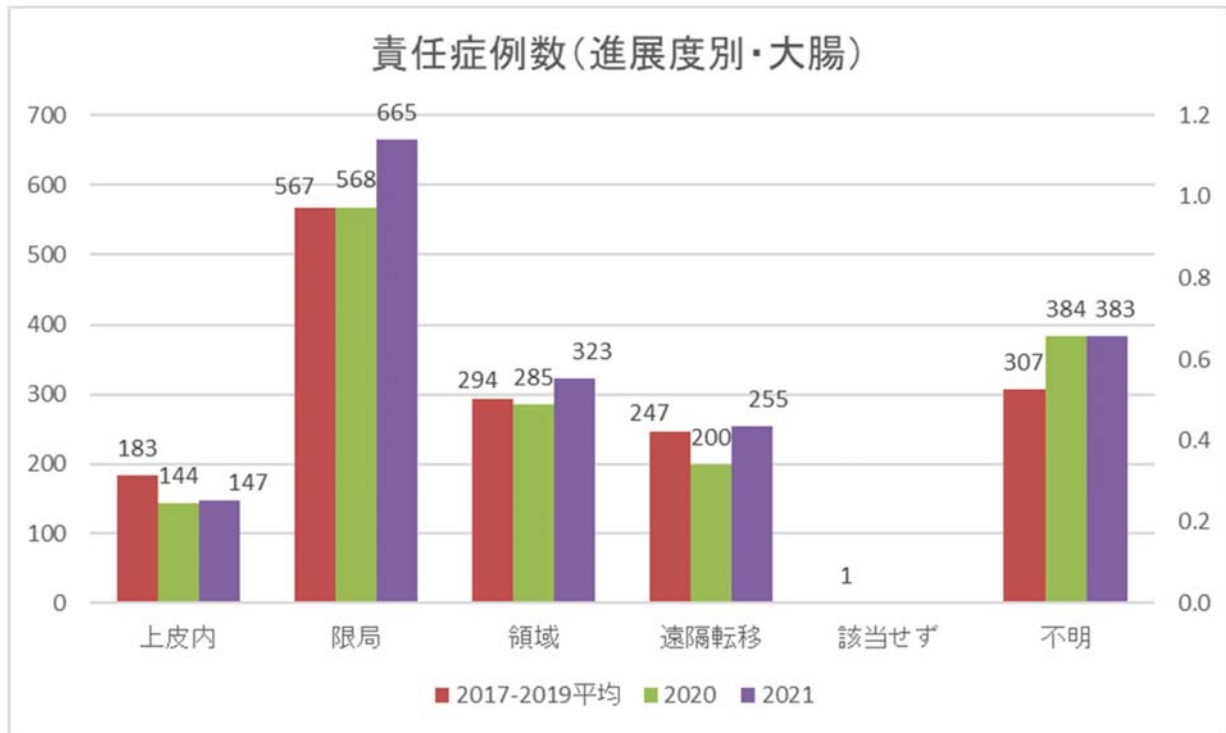
がん検診実施部位のうち、胃では、限局、領域、遠隔転移のすべてが増加し、いずれも2017～2019年を上回った。

2017～2019年、2020年、2021年の各年での全体に占める遠隔転移の割合は、それぞれ11.3%、10.5%、11.6%であり、いったん減少し、増加していた。



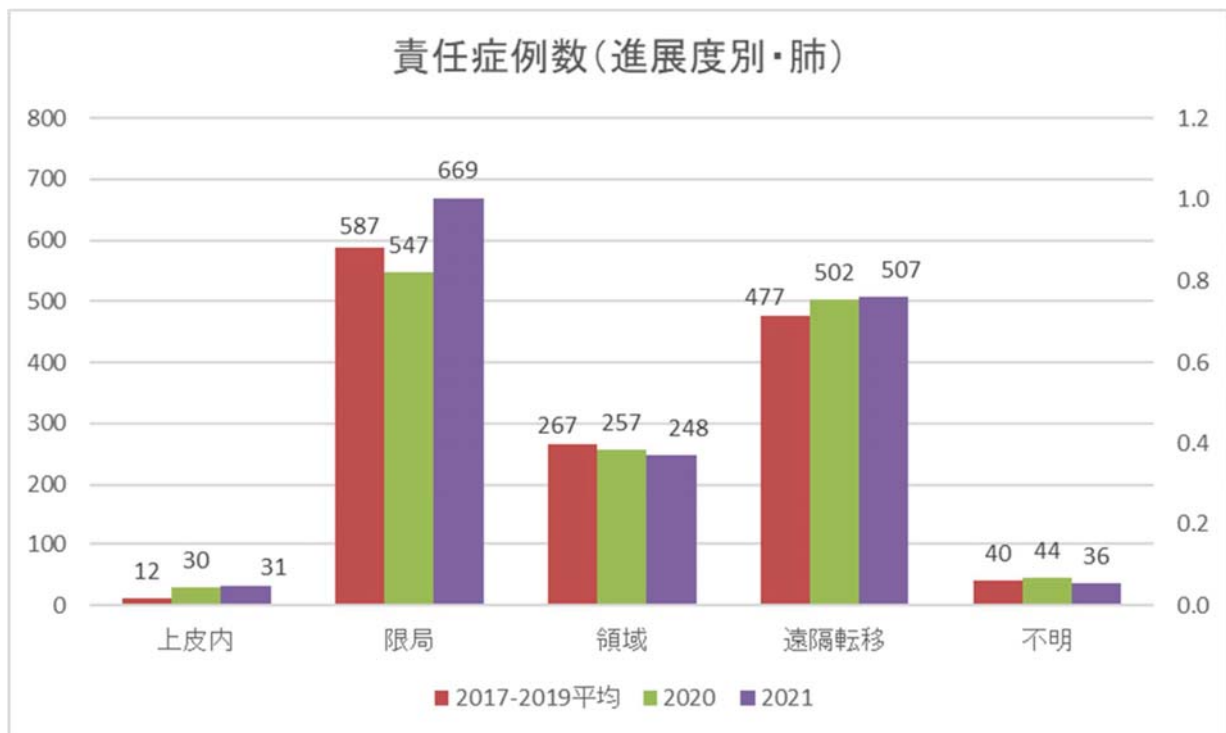
1 全施設合計・責任症例数・進展度別

上皮内、限局、領域、遠隔転移のすべてが増加し、上皮内以外は2017～2019年を上回った。
 2017～2019年、2020年、2021年の各年での全体に占める遠隔転移の割合は、それぞれ15.5%、12.7%、14.4%であり、いったん減少し、増加していた。



1 全施設合計・責任症例数・進展度別

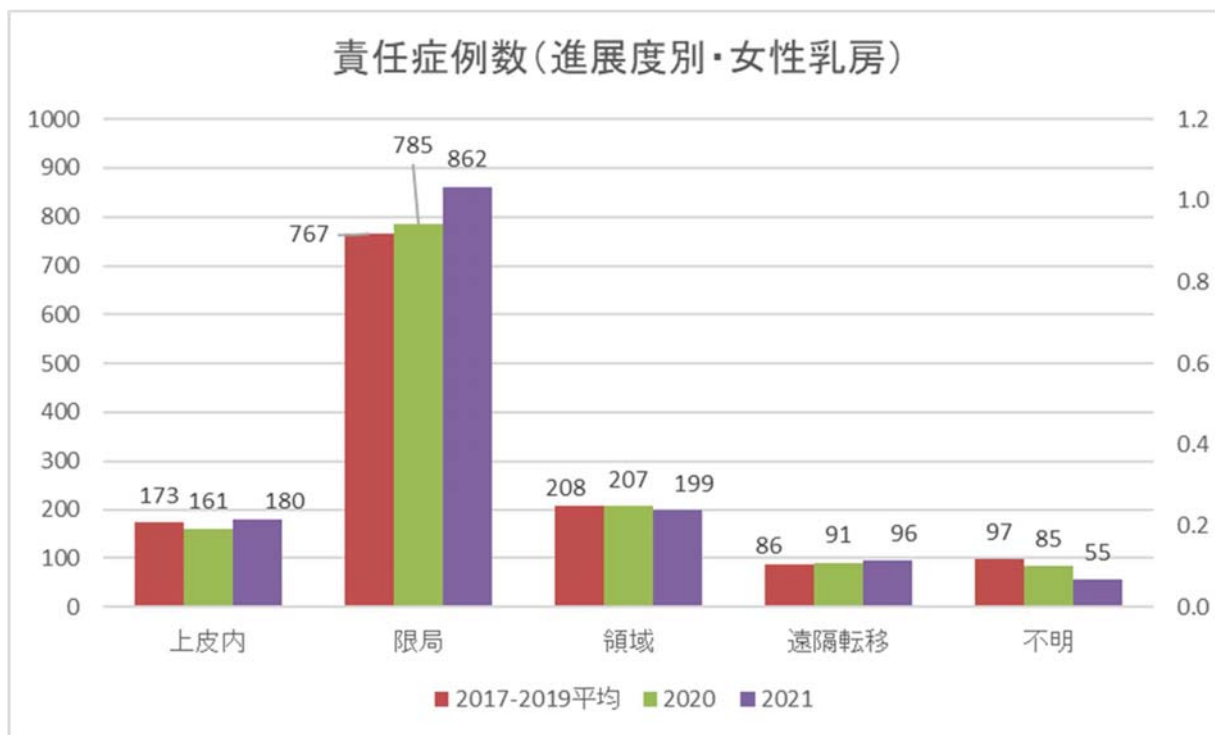
上皮内、限局、遠隔転移が増加し、いずれも2017～2019年を上回った。
 2017～2019年、2020年、2021年の各年での全体に占める遠隔転移の割合は、それぞれ19.3%、18.6%、16.6%であり、減少傾向にあった。



1 全施設合計・責任症例数・進展度別

上皮内、限局、遠隔転移が増加し、いずれも2017～2019年を上回った。

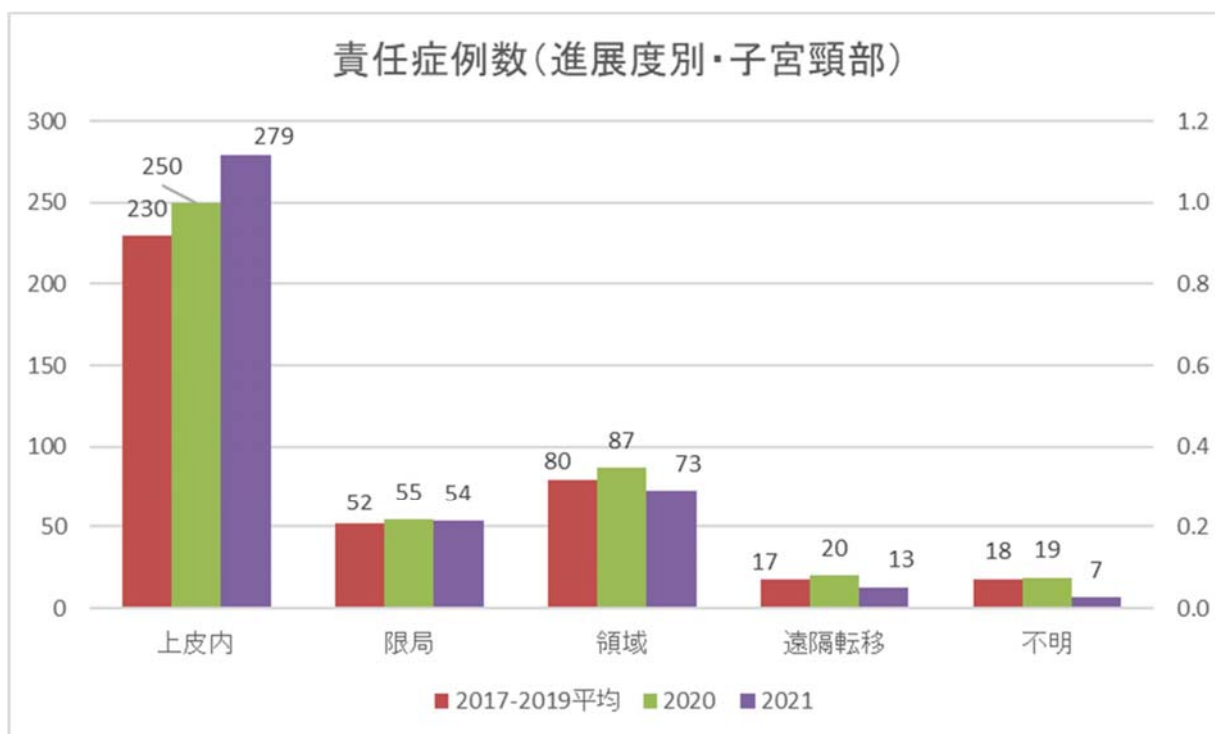
2017～2019年、2020年、2021年の各年での全体に占める遠隔転移の割合は、それぞれ15.6%、15.6%、14.3%であり、横ばいから減少傾向にあった。



1 全施設合計・責任症例数・進展度別

上皮内のみが増加し、2017～2019年を上回った。

2017～2019年、2020年、2021年の各年での全体に占める遠隔転移の割合は、それぞれ20.1%、20.2%、17.1%であり、横ばいから減少傾向にあった。



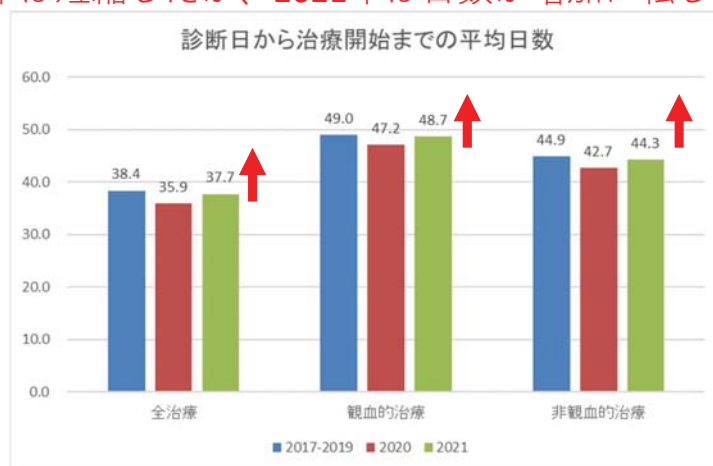
まとめ1 全施設での症例数

- 診断・治療を担った責任症例は、2017-2019年の平均と比較すると、2020年は1.79%の増加に対し、2021年は6.69%の増加。
- 月別では、3月、6月、11月の3つのピークがあった。
- 男女別で違いはなく、60代～80代での増加が全体の増加に寄与していた。
- 26部位中18部位で増加。がん検診実施部位の中では、子宮頸部がわずかに減少した。
- がん検診等による発見は2020年よりも増加し、2017-2019年の平均を上回った。
- 進展度別では、上皮内、限局、領域、遠隔転移のすべてが増加し、いずれも2017～2019年を上回ったが、がん検診実施部位で見ると、胃及び大腸では、遠隔転移の増加率がいったん減少し、増加していた。
- 2021年は、症例数が増加していた。がん検診実施部位の中で、胃及び大腸では、遠隔転移の増加率の変動があった。今後の動向に注意する必要があると考えられた。

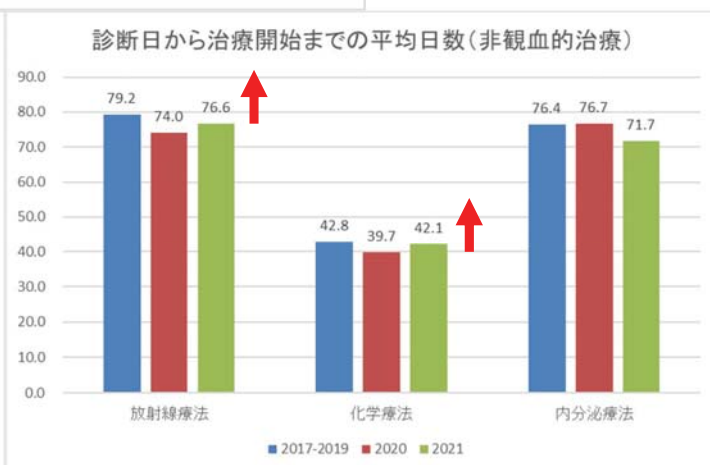
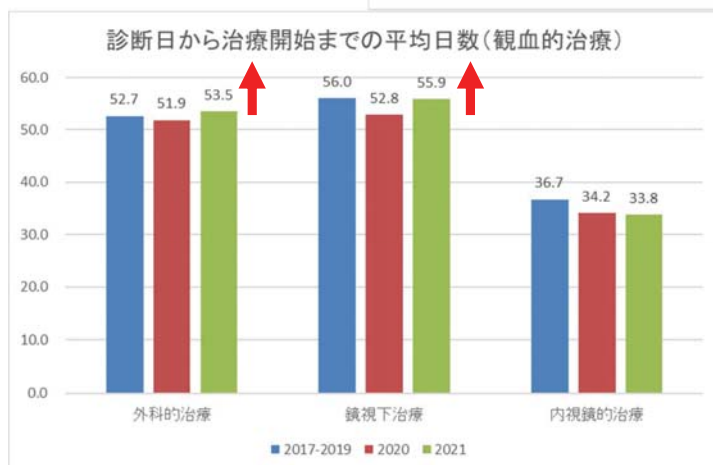
21

2 全施設合計・診断から治療開始までの日数

予想に反して2020年は短縮したが、2021年は日数が増加に転じた。



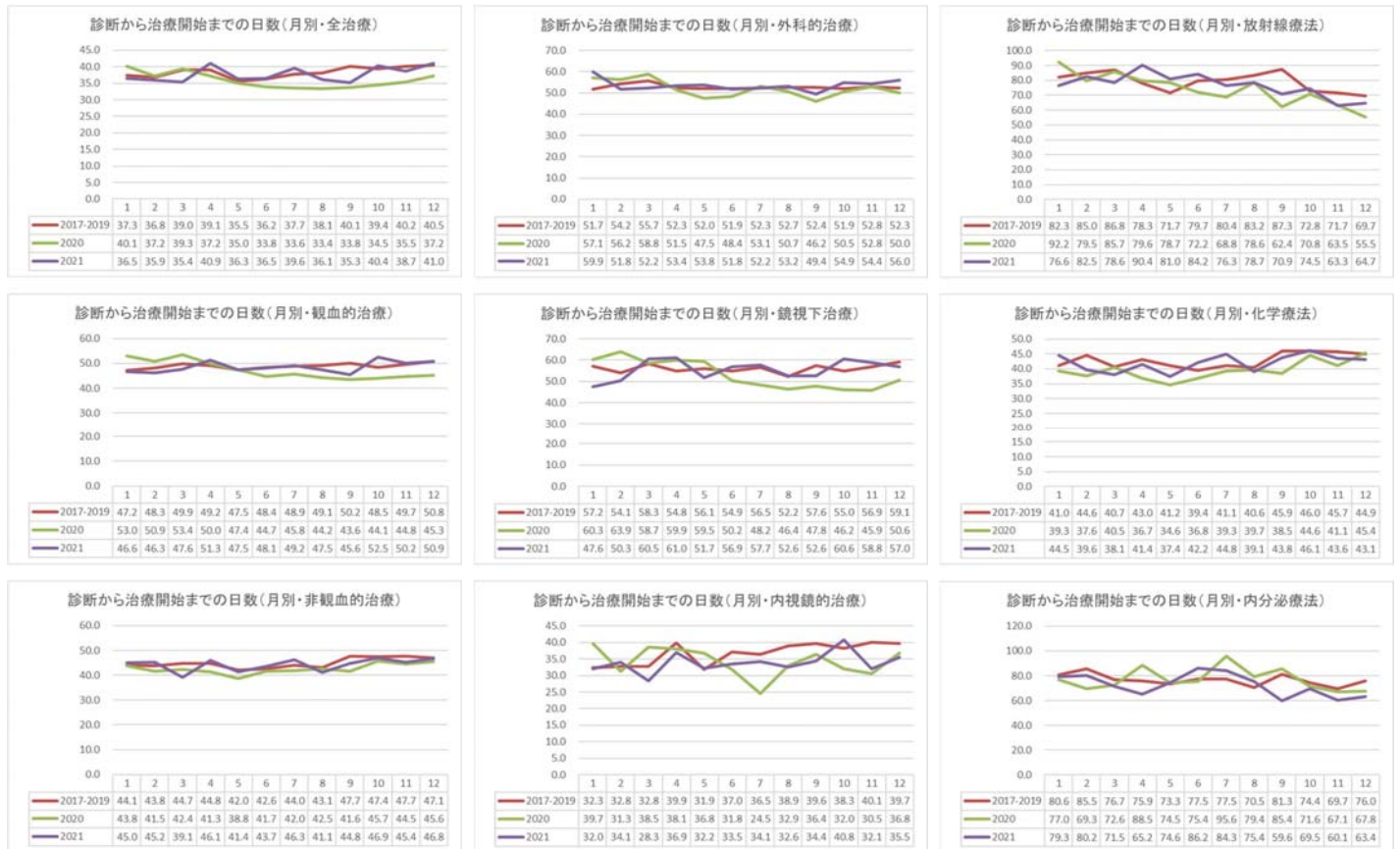
○全治療
...観血的治療または非観血的治療のいずれかを実施したもの。
○観血的治療
...外科的治療、鏡視下治療、内視鏡的治療のいずれかを実施したもの。
○非観血的治療
...放射線療法、化学療法、内分泌療法のいずれかを実施したもの。



22

2 全施設合計・診断から治療開始までの日数

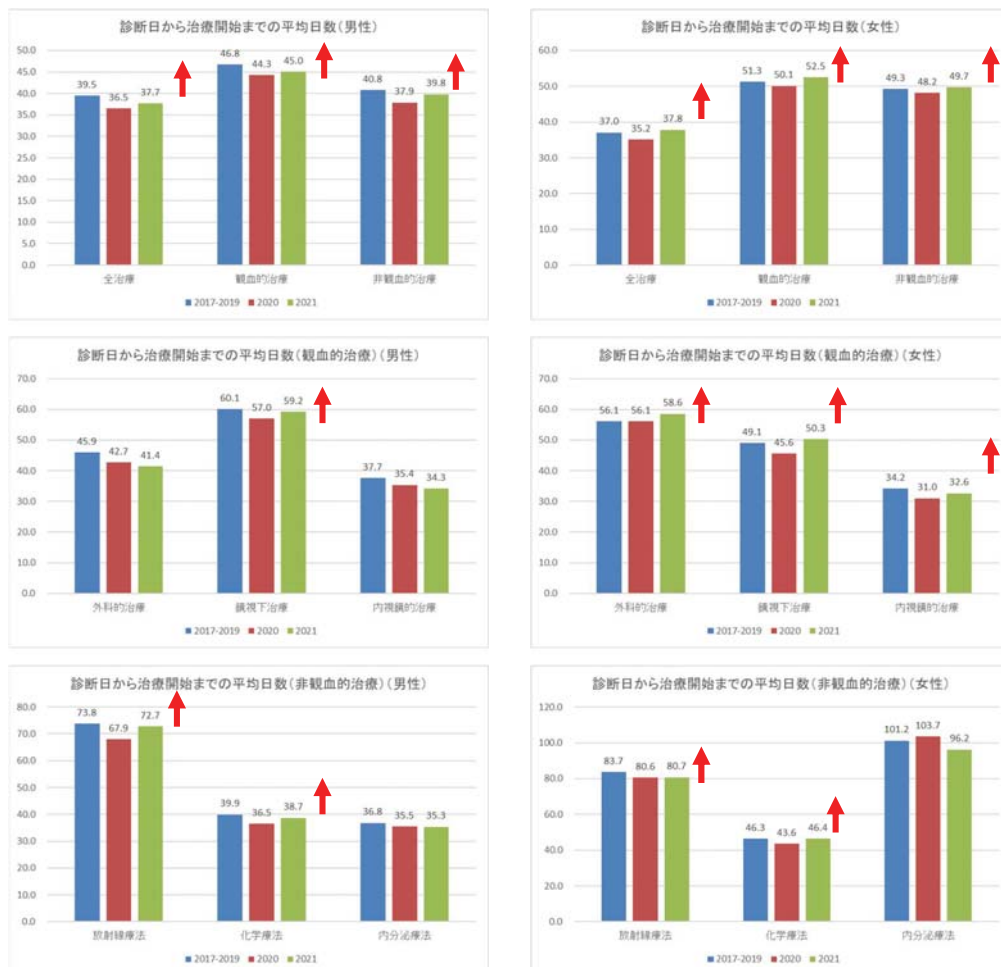
月別に見ると、4月以降増加し、2017-2019年と近い値で推移していた。
内視鏡的治療と内分泌療法は、低めの値で推移した。



23

2 全施設合計・診断から治療開始までの日数

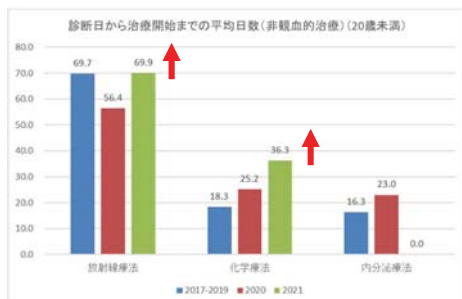
男女別では、男女とも多くの治療で日数は増加



24

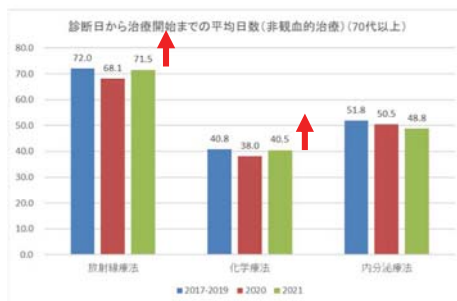
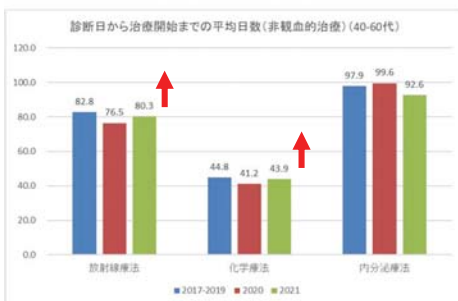
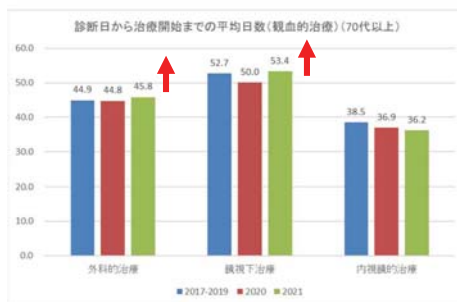
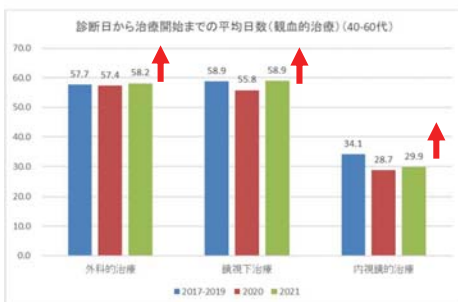
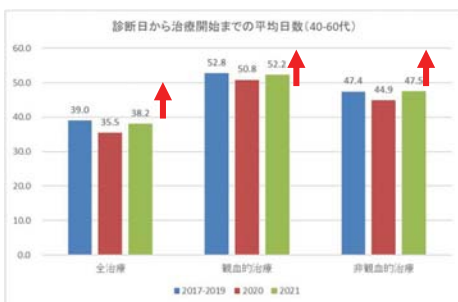
2 全施設合計・診断から治療開始までの日数

年代別では、20歳未満で、非観血的治療（放射線療法、化学療法）で増加。
20～30代では、観血的治療（外科的治療、鏡視下治療）、放射線療法で増加。



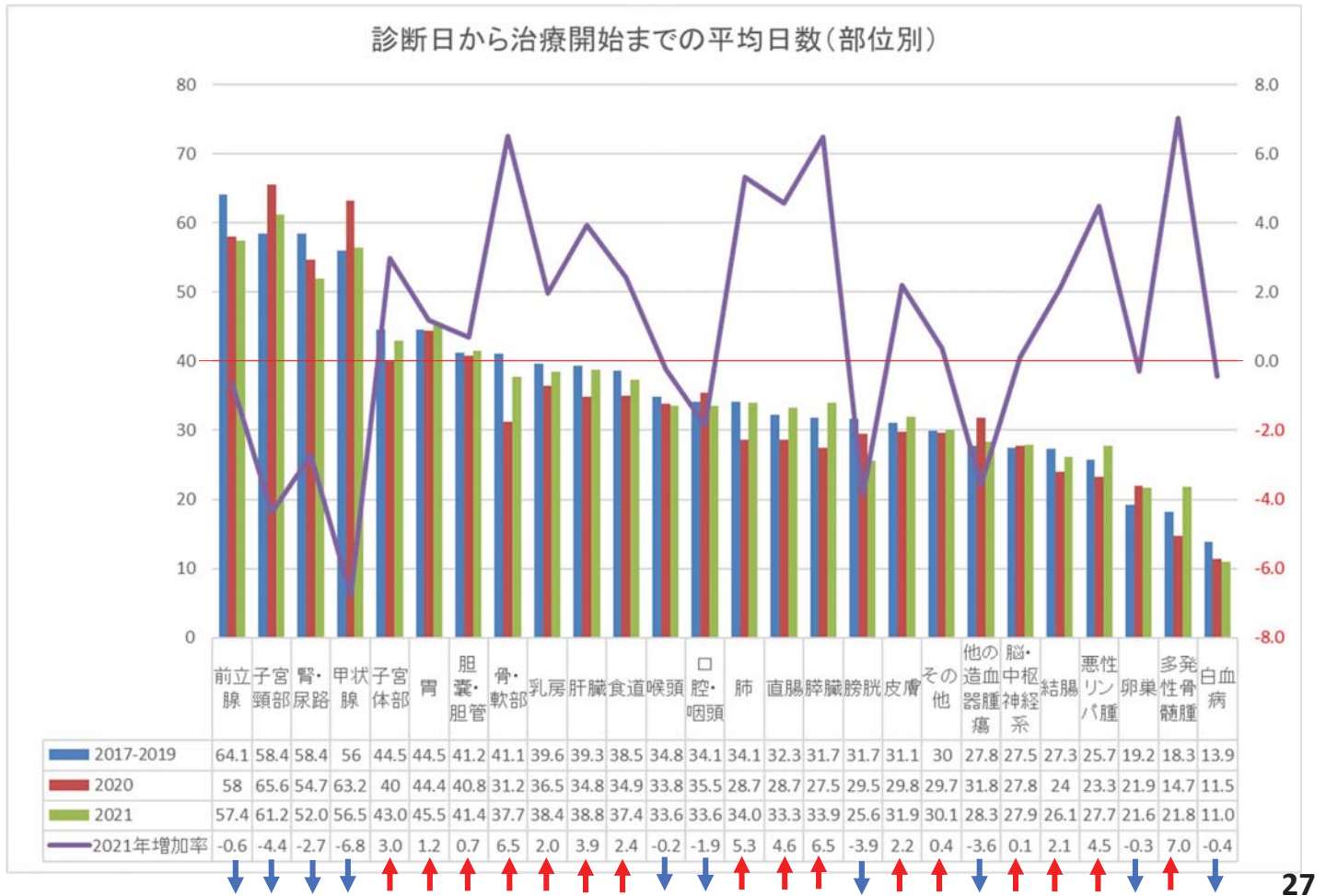
2 全施設合計・診断から治療開始までの日数

40～60代では、内分泌療法を除くすべての治療で増加。
70代では、内視鏡的治療と内分泌療法を除くすべての治療で増加。



2 全施設合計・診断から治療開始までの日数

26部位中16部位で2020年よりも増加し、10部位で減少した。



27

まとめ2 全施設での治療開始までの日数

- 予想に反して2020年は短縮したが、2021年は日数が増加に転じた。
- 治療法別では、内視鏡的治療と内分泌療法を除き、増加した。
- 月別に見ると、4月以降増加し、2017-2019年の平均と近い値で推移していた。
- 男女別では、違いはなかった。
- 年代別では、各年代で日数が増加している治療が確認され、次のような違いがあった。
 - 20歳未満...非観血的治療で2017-2019年よりも日数が増加
 - 20代以上...観血的治療などで2017-2019年よりも日数が増加
- 26部位中16部位で2020年よりも増加していた。
- 2021年は、治療開始までの日数は増加傾向にあることが確認された。コロナの流行により、がんの治療開始に遅れが出ている可能性が考えられた。

28

市町村による 全国がん登録 情報の活用を **支援します！**

宮城県立がんセンターにご相談ください。

「全国がん登録」って何？ 何がわかるの？ と思った方、まず宮城県立がんセンター 宮城県がん登録室にご連絡ください。各自治体の目的にあった形でご利用いただけるようお打ち合わせをさせていただきます。

がんセンターが支援

市町村では



利用申請手続き

がん登録データを利用するためには宮城県に申請しなければなりません。受託者として申請手続きを行います。

安全管理措置

国のマニュアルが求める高いレベルでデータを適正に管理できます。



データの集計・分析

がん登録特有のルールや大量のデータを扱うのは大変です。専門のスタッフがリクエストに応じた集計や分析を行います。

我がまちの状況把握・がん検診の精度管理

がんの罹患に関する情報を集計・分析することで我がまちながんの実態を知り、がん検診の受診勧奨や地域保健活動に役立てることができます。

がん登録データを活用することでがん検診の精度を評価することができます。結果を検診の現場へフィードバックすることで精度の向上に役立てることができます。



お問い合わせ先

宮城県立がんセンター 研究所

事業実施者：がん疫学・予防研究部長 金村政輝

相談窓口：宮城県がん登録室

佐藤優希・佐藤洋子(副室長)

電話：022-796-3624

E-mail：registry@miyagi-pho.jp

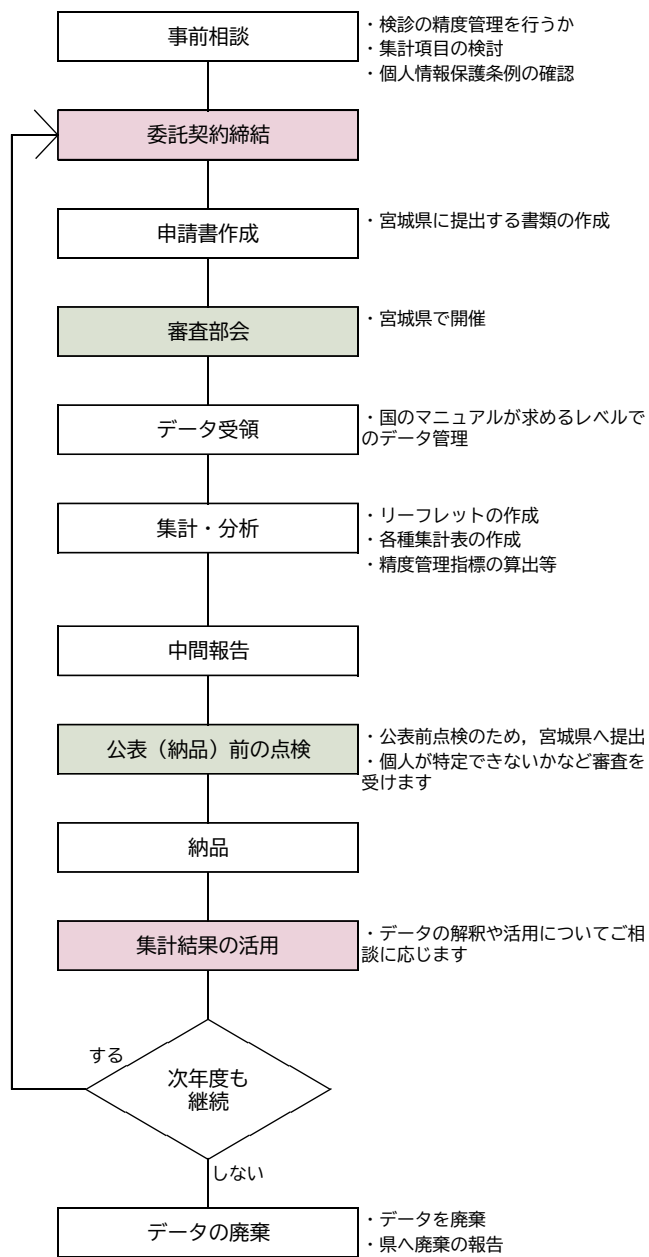
令和4年度モデル事業(無料)

全国がん登録が開始され、がん登録情報を活用したがん対策を推進することが可能となりました。しかし、がん登録情報の活用のためには、いくつかの困難を伴います。

そこで、宮城県立がんセンター研究所では、これまでがん登録業務で培ったがん登録に関する知識、研究所がもつデータの集計・分析のスキル、さらに、がん検診やがん対策に関する専門的な知見やネットワークを最大限に活用し、市町村によるがん登録情報の活用を支援する事業です。

宮城県立がんセンターから「全国がん登録データ活用支援事業」のお知らせ

活用支援事業の契約からデータ活用までの流れ



●全国がん登録とは

日本でがんと診断されたすべての人の情報を、国で1つにまとめて集計・分析・管理する仕組みです。各都道府県に設置された「がん登録室」を通じて集められ、国のデータベースで一元管理されています。

がん登録推進法が平成28年に施行され、全ての病院と指定された診療所は各都道府県に登録室へがん患者さんの罹患情報を届出していただくことになりました。

●何がわかるの？

がんの罹患数や罹患率、生存率など、がん対策の基礎となるデータを把握することができます。

がん対策を推進するためには、正確ながんの実態把握が必要であり、その中心的な役割を果たしています。

●市町村が直接、申請できないの？

できます。がん登録推進法に基づき宮城県が定めた手続きで利用を行うことになっています。

しかし、がん登録情報活用のためのハードルは高く、なかなか利用に至らないのが実情です。

1) 利用申請手続き

申請書類が膨大で煩雑

2) 安全管理措置

データの管理には高いレベルの安全管理措置が必要

3) データの集計・分析

データセットの集計・分析には知識とスキルが必要

●がん検診の精度管理

検診の精度(感度・特異度)を評価し、がん検診が適切に運用されているか判断することは、がん検診をマネジメントする上でとても重要なことです。がん登録情報を活用することで、偽陰性率、感度、特異度などの精度指標による評価が可能となります。また、結果を検診の現場にフィードバックすることも重要です。検診の受託者に診断委員会や精度管理委員会を設置し、フィードバックが適切に行われるよう精度管理の実施状況の評価、助言、指導を行います。

●費用

令和4年度は、無料のモデル事業として実施します。

私達は、宮城県内全市町村で活用いただくことを目指しており、将来的には、本格的な事業を継続的に実施するために必要な費用を算出し、有料化したいと考えています。

令和3年度の実績

2市3町と契約し集計分析を行いました。うち1市においては、精度管理も実施しております。大変ご好評をいただき、この2市3町においては、令和4年度も契約の準備を進めております。今年度は、10市町村での事業実施を予定しています。

現状から見える課題と指導事項（案）

発症登録の状況	死亡の状況
<p><急性心筋梗塞（令和3年）>【資料3】</p> <p>○発症登録数：1,329人（男性988人、女性339人）※不明2人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発症者の76.4%が高血圧を有している。 ・喫煙は40代以下の発症者の68.3%が有しており、全年齢で見ると若いほど割合が高くなる傾向にある。 ・発症者の39.7%が高コレステロール血症、22.8%が高LDLコレステロール血症を有しており、50代をピークに年齢が若くなるほど有する割合が高くなる傾向にある。 <p><脳血管疾患（令和3年）>【資料4】</p> <p>○脳内出血登録数（県内） 1,043人（男性544人、女性499人）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発症年齢中央値は72歳 <p>○脳梗塞登録数（県内） 3,828人（男性2,195人、女性1,633人）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発症年齢中央値は75歳 ・脳梗塞はくも膜下出血、脳内出血に比べ、後期高齢者（75歳以上）の総数・割合がともに高い。 <p>○くも膜下出血登録数（県内）376人（男性124人、女性252人）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発症年齢中央値は66歳 <p><がん（令和元年）>【資料5】</p> <p>○がん罹患数 総数 18,527件（男性10,514件、女性8,013件）</p> <p>○部位別罹患割合（上皮内がんを含まない）</p> <p>男性 胃18.1%、大腸15.3%、肺15.2%</p> <p>女性 乳房21.9%、大腸15.6%、胃10.7%</p>	<p><心疾患>【資料2】</p> <p>令和2年の年齢調整死亡率（平成27年モデル人口により算出）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男性 196.7（全国190.1） ・女性 109.9（全国109.2） ・死亡内訳では男女ともに心不全が最も多い。 ・全国と比較して不整脈及び伝導障害の割合が男女ともに高い。 <p><脳血管疾患>【資料2】</p> <p>令和2年の年齢調整死亡率（平成27年モデル人口により算出）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男性 110.7（全国93.8） ・女性 71.0（全国56.4） ・全国と比較して脳内出血の割合が男女ともに高い。 <p><がん>【資料2】</p> <p>・令和2年の年齢調整死亡率（平成27年モデル人口により算出） 男性 394.4（全国394.7） 女性 196.0（全国196.4）</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>75歳未満年齢調整死亡率（平成27年モデル人口により算出） 男性 156.7（全国161.9） 女性 87.2（全国94.0）</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・部位別死亡割合（上位3位） 男性 肺がん 24.9%、胃がん 12.0%、大腸がん 11.9% 女性 大腸がん 15.4%、肺がん 13.5%、膵臓がん 12.7%



課題	強化すべき分野	環境整備	市町村等への指導事項（案）
<p><心疾患></p> <ul style="list-style-type: none"> ・年齢調整死亡率は男女共に全国値を上回っている。 ・喫煙は40代以下の発症者の約7割が有しており、全年齢で見ると若いほど割合が高くなる傾向にある。 ・発症者の約4割が高コレステロール血症、約2割が高LDLコレステロール血症を有しており、50代をピークに年齢が若くなるほど有する割合が高くなる傾向にある。 <p><脳血管疾患></p> <ul style="list-style-type: none"> ・年齢調整死亡率は男女共に全国値を大きく上回っている。 <p><がん></p> <ul style="list-style-type: none"> ・がん検診の精度管理指標は市町村によりばらつきが大きい。令和2年度以降はがん検診担当者会議を開催できていない。 ・がん登録データ活用については、市町村による利用が年々増加しているが、研究者による利用が年度によって増減がある。 	<p>○生活習慣の改善（運動・栄養・たばこ）</p> <p>○社会環境の整備</p> <p>○生活習慣病の早期発見・早期治療のための普及啓発</p>	<p>境 ポ ビ ユ レ シ ョ ン ア プ ロ ー チ と 連 動 し た 保 健 指 導 と 環 境 整 備</p> <p>力 会 環 向 上 の た め の 支 援</p> <p>誰 も が 自 然 と 健 康 に な れ る 社 会 環 境 の 整 備</p>	<p>【適正体重維持のための身体活動・運動の推進】</p> <p>メタボリックシンドロームの予防や生活習慣病の発症・重症化予防のため、身体活動・運動に関する知識の普及や運動しやすい環境整備に努めること。</p> <p>【減塩対策】</p> <p>塩分の過剰摂取は高血圧や心疾患、脳血管疾患、胃がんなどの大きな発症要因であることから、減塩教育や減塩食品の普及、野菜摂取量の増加などの保健指導と環境整備の強化に努めること。</p> <p>【たばこ対策】</p> <p>喫煙が健康へ及ぼす影響について、特に若い世代からの普及啓発を一層推進するとともに、禁煙希望者へは禁煙支援マニュアルに基づき保健指導を行うこと。</p> <p>また、受動喫煙防止の啓発及び環境整備の強化に努めること。</p> <p>【データの活用】</p> <p>がん登録データやKDBデータの活用を更に進め、を効果的に活用し、地域の特性を踏まえた保健事業等の効果的な実施に努めること。</p> <p>【誰もが自然と健康になれる社会環境の整備】</p> <p>住民が自然と健康的な行動をとることができ、地域全体で誰もが健康づくりに取り組めるような社会環境整備を推進すること。</p> <p>【セルフ管理能力向上のための支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・早期治療により救命可能な疾患の兆候と対応について住民に普及啓発を行うこと。 ・自身の体調に関心を持ち、主体的に健康づくりに取り組めるよう、あらゆる機会を通じてセルフチェックの必要性を普及啓発すること。 ・気になる症状が続く場合は、次の健診・検診を待たずに受診することの周知啓発を行うこと。
<p><新型コロナウイルス感染症の影響></p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナの影響による身体活動量の不足や食生活の偏り、受診控えの懸念 	<p>○コロナ禍での健康づくり 新しい生活様式を踏まえた対策</p>	<p>援 未 た 健 康 づ くり 支 援</p> <p>小 生 活 様 式 の 新 し い 支 援</p>	<p>【コロナ禍】新型コロナウイルス感染症の影響による身体活動量の不足や食生活の偏り、不適切な受診控えが生じないよう、新しい生活様式を踏まえた健康づくりについての知識の普及と環境整備に努めること。</p>